

南部子ども第三の居場所（仮称）改修工事

2022/10

株式会社 kyma

図 面 目 録

表紙共 90 枚

意 匠				構 造		電 気 設 備		機 械 設 備	
A001	図面目録	A101	【解体】1、2階平面図	S001	【補強】基礎伏図	E001	特記仕様書（1）	M001	特記仕様書（1）
A002	特記仕様書 1			S002	【補強】1階床伏図・1階壁伏図	E002	特記仕様書（2）	M002	特記仕様書（2）
A003	特記仕様書 2			S003	【補強】2階床伏図 1階小屋伏図・2階壁伏図	E003	配置図	M003	衛生器具表、機器表、樹リスト
A004	特記仕様書 3			S004	【補強】2階小屋伏図 1	E004	引込盤・電灯盤図	M004	給排水設備 1、2階平面図
A005	特記仕様書 4			S005	【補強】2階小屋伏図 3	E005	動力盤図	M005	厨房設備 厨房機器リスト
A006	特記仕様書 5	A201	【既存】1、2階平面図	S006	基礎配筋詳細図	E006	幹線・動力・空調電源設備 1・2階平面図	M006	厨房設備 厨房機器配置図
A007	特記仕様書 6	A202	【既存】立面図			E007	厨房機器電源設備 平面図	M007	空調機器表
A008	特記仕様書 7	A203	【既存】断面図 1	別紙	耐震補強解説	E008	照明器具姿図	M008	換気機器表
A009	【改修】面積表	A204	【既存】断面図 2			E009	電灯設備 1・2階平面図	M009	厨房フードリスト
A010	【改修】仕上表	A205	【既存】断面図 3			E010	受口設備 1・2階平面図	M010	冷暖房設備 1、2階平面図
A011	【改修】付近見取図・配置図	A206	【既存】天井伏図			E011	非常照明・誘導灯設備 1・2階平面図	M011	換気設備 1、2階平面図
A012	【改修】1、2階平面図	A207	【既存】基礎伏図			E012	弱電設備 系統図		
A013	【改修】屋根伏図	A208	【既存】土台伏図			E013	弱電設備 1・2階平面図		
A014	【改修】立面図	A209	【既存】1階床伏図			E014	自動火災報知設備 1・2階平面図		
A015	【改修】断面図	A210	【既存】2階床伏図 1階小屋伏図			E015	音響設備 平面図・仕様書		
A016	【改修】天井伏図	A211	【既存】2階小屋伏図 1						
A017	【改修】断面詳細図 1	A212	【既存】2階小屋伏図 2						
A018	【改修】断面詳細図 2	A213	【既存】2階小屋伏図 3						
A019	【改修】断面詳細図 3	A214	【既存】小屋軸組図						
A020	【改修】断面詳細図 4								
A021	【改修】断面詳細図 5								
A022	【改修】部分詳細図 1								
A023	【改修】部分詳細図 2								
A024	【改修】1階平面詳細図								
A025	【改修】2階平面詳細図								
A026	【改修】展開図 1								
A027	【改修】展開図 2								
A028	【改修】展開図 3								
A029	【改修】展開図 4								
A030	【改修】展開図 5								
A031	【改修】展開図 6								
A032	【改修】展開図 7								
A033	【改修】建具家具配置図								
A034	【改修】建具表 1								
A035	【改修】建具表 2								
A036	【改修】建具表 3								
A037	【改修】家具表								
A038	【改修】屋外付帯配置図								
A039	【改修】屋外付帯詳細図								
A040	【参考図】クド-ル窯詳細図（別途工事）								
A041	【参考図】シャウ-ユニット詳細図 1								
A042	【参考図】シャウ-ユニット詳細図 2								

⑨

電子納品

○行う(「電子納品仕様書」による。)
・行わない
電子納品仕様書

1 電子納品とは、出来形管理資料と工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。
ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領(案)等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

名 称	拠 要
建築C A D 図面作成要領(案)	平成1 4 年1 1 月
営繕工事電子納品要領(案)	平成3 0 年2 月
工事写真の撮り方(改訂第二版)・建築版	
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン(案)	令和元年1 0 月

基準・要領類のダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_cals_cals.htm

2 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にC D・Rで1部納品する。
なお、工事写真については、カラープリンターで出力したものでよい。

3 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。
工事関係書類内の、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。

4 発注者が行うC A L S / E C 電子納品に関する調査について協力を行うものとする。

5 工事完成図書の提出の際は、以下の項目を確認するものとする。
1) 電子成果物作成支援・検査システムによるチェックを行い、エラーがないことを確認すること。
入手先 http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_cals_supportsys.htm
2) 最新のウイルスチェックソフトで、提出物にウイルスが混合していないことを確認すること。

6 電子納品の媒体は、C D・Rを利用することとする。

⑩

騒音振動の防止

低騒音(図)、低振動型建設機械を使用する。

31

隣接建物又は
工作物の調査

・敷地境界から m
土地家屋調査士による調査

・行う(範囲及び調査内容は図示による)

行わない

⑩

敷地の状況確認

着工に先立ち地下に埋設されたガス管、電話ケーブル、給排水管及び架設物がないか関係機関の協力を得て確認し、報告するとともに事故を未然に防ぐよう留意する。

⑩

ダンプトラック
等による過積載
等の防止

①) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込みず、また積み込ませないこと。
②) さし枠装着車、不表示車等に土砂を積み込みず、また積み込ませないこと。
③) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
④) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
⑤) 建設発生土の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
⑥) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(昭和42年8月2日法律第131号、以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
⑦) 1から6につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

34

景観への配慮

当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。

35

近接工事の
諸経費調整

この工事の受注者が、近接する区域(概ね100m)において、工期が重複する石川県土木部発注の工事を受注している場合には、全工事との合計額により定まる率によって諸経費を再計算し、これにより変更契約(減額)する。
「工期が重複する」とは、開礼日が近接する工事の完成届を受理した日以前の場合をいう。

36

住宅瑕疵担保
履行法に基づく

本建物の住宅瑕疵担保履行法に基づく資力確保措置は、本工事に含める。

2 章 仮 設 工 事

項 目 特 記 事 項

① 監督職員事務所
(現場事務所)

設ける ・設けない (2.3.1)
監督職員事務所の規模(単位:m)

種別号	・1号	・2号	・3号	・4号	・5号
面積程度	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

監督職員事務所に設ける備品等
○保護欄 ○安全帯 ○長靴 ○羽羽 ○A1×2部 A3×5部(一部カラー出力)
机 椅子 懐中電灯 ・書棚 ・黒板 ・寒暖計 ○監督員の指示するもの
○現場から映像通信可能な環境を整えること

② 工事用水

③ 工事用電力

4 指定仮設

仮囲いは、下記により強風に対して倒壊、飛散しない堅固な構造とし、事前に施工図を提出して監督員の承諾を受ける。
イ)材料 ・鋼板 ・亜鉛波形鉄板 ・ハ)塗装 ・する ・しない
ロ)高さ ・1.8m ・2m ・3m ニ)延長 m

⑤ 工事用道路

工事用道路は、良好なる維持管理を行い、使用後は請負者にて速やかに原形に復旧すること。

⑥ 足場

1)足場
枠組本足場(手すり先行足場) (2.2.4)
足場を設ける場合は、「(手すり先行工法に関するガイドライン)について」(厚生労働省 平成21年4月)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり振置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

②)建枠・布枠

建 枠	・1,200枠	○900枠	・600枠
布 枠	500布枠×2枚	○500+240布枠 ・500布枠×1枚	500布枠×1枚

③)防護シート等による養生
設置する ネット状養生シート又は養生シート
・設置しない ・防音パネル なお、出入口等上部は必要に応じて防護網を設ける。
シンナー等有機溶剤を使用する場合は、特に火災及び盗難について管理を徹底する。(2.3.2)

3 章 土 工 事

項 目 特 記 事 項

① 埋戻し及び盛土

(3.2.3)(表3.2.1)

種別	・A種	B種	・C種	D種	・建設汚泥から再生した処理土[G] なお、処理に当たっては「建設発生土情報交換システム」等を活用する。
----	-----	----	-----	----	--

②

建設発生土の処理

・現場内で処理
・構内指示の場所に堆積
・構内指示の場所に敷き均し
○構外搬出適正処理 (「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと)
・指定(想定)搬出先
受入時間帯: 時 分～ 時 分
置き等:
○自由処分 (「建設発生土情報交換システム」等を活用する)
(1)「六価クロム溶出試験」の対象工事の有無
・有
・無
(2)本工事が「六価クロム溶出試験」の対象工事である場合は、下記の要領で「六価クロム溶出試験」を実施し、厚生労働省の定める指針値(0.05mg/l)以下であることを確認し、試験結果(計量証明書)を提出すること。
参照:「セメント及びセメント系固相材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領(案)」(国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課ほか H13.4.20改正)
1)「六価クロム溶出試験」対象工種名及び検体数
イ) 工 工法
・配合設計段階 検体
ロ) 工 工法
・配合設計段階 検体
2)タンクリーテング試験対象工種名及び検体
イ) 工 工法
ロ) 工 工法
・存置する ○存置しない

③

六価クロム溶出試験

④

山留め

4 章 地 業 工 事

項 目 特 記 事 項

1 既製コンクリート杭地業

種類 (4.3.1)(4.3.2)
遠心力高強度コンクリート杭
・S001,S015参照
杭長(mm) 杭長(m)及び種別 継手数 セット数 備考
試験杭
本 杭
杭頭の処理 切断しない (4.3.7)
先端部形状 開放形 ・閉そく平たん形 (4.3.2)
杭の継手 ・アーク溶接 ・無溶接継手 (4.3.6)
(4.2.3～4.2.5)
施 工 法
・特定埋込み杭工法(杭材料条件に適合するもの)
・打込み工法
2 場所打ちコンクリート杭地業
コンクリートの種別及び設計基準強度 (4.5.3)(表4.5.1)
()種かつ()N/mm²以上
鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4.5.3)
掘削工法 ・アースドリル工法(・安定液使用 ・無水掘削) (4.5.4)
・リバース工法
・オルケーシング工法(孔内の水漲 ・行う ・行わない)
(4.5.5)
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
・掘削杭工法(安定液使用 ・)
セメントの種類 高炉セメントB種[G] (4.5.3)
孔壁測定 ・行う() ・行わない (4.5.4)
再生クラッシュラン[G] ・切込み砂利及び切込み砕石 (4.6.3)
施工箇所 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)(4.6.5)

③

砂利地業

④

床下防湿層

5 章 鉄 筋 工 事

項 目 特 記 事 項

① 鉄筋の種類

種類の記号 呼 び 名(mm)
・SD295A D16以下 構造図参照
・SD345 D19以上 構造図参照
② 溶接金剛

綱目の形状、寸法等 ○構造図参照 (5.2.2)
形状、寸法等(縦×横)(mm) 鉄線の径又は呼び名(mm) 規 格
100×100 6.0 JIS G 3551による
③ 鉄筋の継手

呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ガス圧接 ○重ね継手 (5.3.4)
鉄筋及び溶接金剛の最小かぶり厚さは目地底から算定する。 (5.3.5)
④ 鉄筋の最小かぶり厚さ
被害を受ける恐れのある部分等、耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。
施 工 箇 所 「標仕」表5.3.6の値に加える寸法(mm)
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面 10・20・25
5 既製コンクリート杭の杭頭補強

6 帯筋

H形 ・S P形 (別図2.2)

7 最上階柱頭補強

行う ・行わない (別図2.1)

8 壁開口部の補強

一般壁 A形 ・B形 ・図示 (別図4.2)(別表4.3)(別表4.4)

耐震壁 図示

H形 ・MH形 ・M形 (別図7.1)(別表7.1～別表7.3)

⑨ 梁貫通孔の補強形式

10 圧搾完了後の試験

超音波探傷試験 ・引張試験 (5.4.9)

11 機械用吊り上げ用フック

・A種 ・B種 ・C種
箇所数 ケ 所 (別図7.3)

6 章 コンクリート工事

項 目 特 記 事 項

① コンクリートの使用骨材による種類及び強度等

普通コンクリートの設計基準強度 (6.1.3)(6.1.4)(6.14.3)
設計基準強度Fc(N/㎡) スランプ(cm) 施工箇所
構造図参照
軽量コンクリートの設計基準強度(6.1.4)(6.11.1)(表6.11.1)(6.11.3)
設計基準強度Fc(N/㎡) 種 別 施工箇所
・21 ・21 ・1種・2種
2 コンクリートの使用材料、施工条件、要求性能等による種類
種 類 (6.1.3)(6.12.1～6.16.6)
・寒中コンクリート (適用期間)
・マスコンクリート
・高炉セメントB種 [G]
・中熱ポルトランドセメント
・無筋コンクリート
・流動化コンクリート
③ レディーミクストコンクリートの類別
種 別 (6.1.5)(6.4.1)(6.4.2)(表6.1.1)
JIS表示認定工場の対象として、改正工業標準化法(平成16年6月9日公布)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により認定を受けた工場(JISマーク表示認証工場)を含むものとする。
(6.3.2)(表6.3.1)
④ セメントの種類
普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種(マスコンクリートを除く)
・高炉セメントB種 [G]
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。
水 和 熱 7d:352J/g以下 28d:402J/g以下
⑤ 骨材の品質
アルカリシルカ反応性による区分 (6.3.3)(6.5.4)
A
・B(コンクリート中のアルカリ総量Rt≧3.0kg/m以下)
⑥ 混和材料の種類
混和剤 ・混和材 (6.3.5)(6.4.8)
⑦ 構造体強度補正值
構造体強度補正值の決定に用いる「予想平均気温」は、気象庁発表の過去の平均値より決定する。
(6.4.5)(監理指針 表6.12.2)
⑧ 型枠(せき板)の種類
塗装の有無 無 ○有
打放し仕上げの種類 (表6.2.3)
種 別(表面の仕上り程度) 材 料(せき板) 塗装 施工箇所
○A種
目違い、不陸等の極めて少ない良好な面とする
厚さ12mmのJAS規格品による表面加工品又は同等と見なせる程度のもの
○有・無
立上り打放し面
・B種
目違い、不陸等の極めて少ない良好な面とし、グラインダー掛け等により平滑に調整されたものとする
厚さ12mmのJAS規格品によるB・C又は同等と見なせて、ほとんど損傷のないもの
・有・無
・C種
打放しのままで、目違いばらいを行ったもの
厚さ12mmのJAS規格品によるB・C又は同等と見なせて、使用上差支えのない程度のもの
・有・無
9 コンクリートの打増し
仕上げその他の納まりによる打増しは下記による。
打増し(mm) 材 料
施工箇所
10 断熱材兼用型枠
適用箇所及び品質等は19章15断熱材による
(6.9.3)
11 コンクリート躯体の表面処理
外装タイル後張り面の躯体表面の処理
MCR工法又は15.2.4(0)による目荒らし工法とする。なお、目荒らし工法の場合は、モルタルの接着に適した粗面に仕上げる工法を、1.2.2「施工計画」による品質計画で定める。また、粗面の状態は、監督職員の承諾を受ける。
適用範囲は11章タイル工事 3コンクリート素地面の処理による
コンクリートの増打り厚さ 20mm

7 章 鉄 骨 工 事

項 目 特 記 事 項

1 鉄骨の製作工場

・監督職員の承諾する製作工場 (7.1.3)
建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた株式会社鉄骨評価センター又は(社)全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下記グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。
・Hグレード以上 ・Mグレード以上 ・Rグレード以上
適用する (7.1.3)(7.1.4)(7.6.2)(7.12.2)
2 施工管理技術者

鋼材の材質 (7.2.1)(7.2.10)(表7.2.1)

3 鋼材の材質

種類の記号 使 用 箇 所 規格等
構造図S004参照 JIS規格による
JIS規格による
JIS規格による
JIS規格による
JIS規格による
4 普通ボルト

ボルトの径、縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 図示 (7.2.3)(7.3.2)

5 高力ボルト

ボルトの区分 (7.2.2)(7.3.2)(7.4.1～7.4.9)
トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト
ボルトの径、縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 図示
すべり係数試験 行わない ・行う 試験方法等()

6

溶融亜鉛めっき高力ボルト

7

溶接面の試験

8

耐火被覆

9

アンカーボルトの保持及び埋込み工法

10

柱底均しモルタル工法

11

溶融亜鉛めっき工法

12

スクラップ

13

溶接条件

14

仮組

15

錆止め塗装

8 章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

項 目 特 記 事 項

1 建築用コンクリートブロック

補強コンクリートブロック造 (8.2.2)
断面形状及び圧縮強さによる区分 厚さ(mm) 適用箇所
・空洞ブロック16
・空洞ブロック16-W
コンクリートブロック幅壁及び隅「標仕」表8.3.1及び下表による。(8.3.2)
適用箇所 厚さ(mm)
・外壁
・間仕切壁
・地下二重壁
・塀 高さ 2m以下 ・120
2mを超える ・150
・衛生設備配管用覆積みブロック ・100

株式会社

kyma

一級建築士事務所 石川県知事登録 13898号
一級建築士 第343196号 土用下淳也

担当 J.Yanamoto

年月日 2022/10

訂正

工事番号 22-12

工事名 南部子ども第三の居場所(仮称)改修工事

図面名 特記仕様書

2

縮尺

-

A003

2	ALCパネル	(8 . 4 . 2 ~ 8 . 4 . 6) (表 8.4.3) (表 8.4.4)				6	防水工事保証年限	防水工事は責任施工とし、下記により保証書を提出する。				【12章 木工事 樹種等詳細は 建築工事仕様書 7参照】				④	とい	(イ)産地 県内産 ・ 県外産 (ロ)下地コンクリートの場合の特種モルタル (1)材料の使用量(1㎡当たり)セメント480kg、川砂0.45㎡、水280kg 特殊バーライト560㎡(メーカ仕様による) (2)水セメント比60%、スランプ15cm (3)4週保釘力40kg/本以上					
		種 類	単位荷重 (N / m ²)	厚さ (mm)	取付け工法種別等			施工箇所	種 別	保証年限	備 考	項 目	特 記 事 項					材 種	(13 . 5 . 2) (表13.5.1) ・ 配管用銅管 ・ 硬質塩化ビニル管 ・ 排水用リサイクル硬質塩化ビニル管 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ 銅管製といの防露 「標仕」表13.5.4による (13 . 5 . 2) (表13.5.3) (表13.5.4) 防露材のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 ・ 第三種 掃除口 有り ・ 無し				
3	押出成形セメント板 (E C P)	(8 . 5 . 2 ~ 8 . 5 . 5) (表 8.5.1) (表 8.5.2)				①	天然石張り	10 章 石 工 事				1	あと施工アンカーの引抜き耐力試験	14 章 金 属 工 事									
		施工箇所	表面形状	厚さ (mm)	幅 (mm)			凹凸の充填	工法	耐火性能	項 目			特 記 事 項			種 類	施 工 箇 所					
4	外壁パネル工法	(8 . 4 . 3) (8 . 5 . 3)				2	テラゾ張り	11 章 タ イ ル 工 事				3	集成材 ㊦	集	成	材	4	鉄鋼の垂鉛めっき	(14 . 2 . 2) (表14.2.1)				
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理								項 目	特 記 事 項			種 別
5	外壁パネル工法	(9 . 4 . 2) (9 . 4 . 3) (表 9.4.1)				3	壁の石張り工法	12 章 屋 根 及 び 工 事				4	床張り用合板 ㊦	床	張	り	5	軽量鉄骨天井下地	(14 . 4 . 2) (表14.4.1)				
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理								項 目	特 記 事 項			種 別
6	外壁パネル工法	(9 . 3 . 2) (9 . 3 . 3) (表 9.3.1)				4	床及び階段の石張り	13 章 屋 根 及 び 工 事				5	防	腐	防	虫	処理	6	金属成形板張り	(14 . 4 . 2) (表14.4.1)			
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理									項 目	特 記 事 項		
7	外壁パネル工法	(9 . 4 . 2) (9 . 4 . 3) (表 9.4.1)				5	床及び階段の石張り	14 章 金 属 工 事				6	防	腐	防	虫	処理	7	アルミニウム製笠木	(14 . 7 . 2) (表14.7.1)			
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理									項 目	特 記 事 項		
8	外壁パネル工法	(9 . 5 . 2) (9 . 5 . 3) (表 9.5.1) (表 9.5.2)				6	壁の石張り工法	15 章 土 工 事				7	手すり及びタラップ	16 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
9	外壁パネル工法	(9 . 6 . 2) (表 9.6.1)				7	コンクリート素地の処理	17 章 土 工 事				8	フッ素樹脂焼付塗装銅板	18 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
10	シーリング	(9 . 6 . 5)				8	陶磁器質タイル型枠先付け工法	19 章 土 工 事				9	体育館の鋼製床下地	19 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
11	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				9	コンクリート素地の処理	20 章 土 工 事				10	体育館の鋼製床下地	20 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
12	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				10	コンクリート素地の処理	21 章 土 工 事				11	体育館の鋼製床下地	21 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
13	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				11	コンクリート素地の処理	22 章 土 工 事				12	体育館の鋼製床下地	22 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
14	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				12	コンクリート素地の処理	23 章 土 工 事				13	体育館の鋼製床下地	23 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
15	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				13	コンクリート素地の処理	24 章 土 工 事				14	体育館の鋼製床下地	24 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
16	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				14	コンクリート素地の処理	25 章 土 工 事				15	体育館の鋼製床下地	25 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
17	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				15	コンクリート素地の処理	26 章 土 工 事				16	体育館の鋼製床下地	26 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
18	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				16	コンクリート素地の処理	27 章 土 工 事				17	体育館の鋼製床下地	27 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
19	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				17	コンクリート素地の処理	28 章 土 工 事				18	体育館の鋼製床下地	28 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
20	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				18	コンクリート素地の処理	29 章 土 工 事				19	体育館の鋼製床下地	29 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
21	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				19	コンクリート素地の処理	30 章 土 工 事				20	体育館の鋼製床下地	30 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
22	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				20	コンクリート素地の処理	31 章 土 工 事				21	体育館の鋼製床下地	31 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
23	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				21	コンクリート素地の処理	32 章 土 工 事				22	体育館の鋼製床下地	32 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
24	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				22	コンクリート素地の処理	33 章 土 工 事				23	体育館の鋼製床下地	33 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
25	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				23	コンクリート素地の処理	34 章 土 工 事				24	体育館の鋼製床下地	34 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
26	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				24	コンクリート素地の処理	35 章 土 工 事				25	体育館の鋼製床下地	35 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
27	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				25	コンクリート素地の処理	36 章 土 工 事				26	体育館の鋼製床下地	36 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
28	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				26	コンクリート素地の処理	37 章 土 工 事				27	体育館の鋼製床下地	37 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
29	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				27	コンクリート素地の処理	38 章 土 工 事				28	体育館の鋼製床下地	38 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
30	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				28	コンクリート素地の処理	39 章 土 工 事				29	体育館の鋼製床下地	39 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
31	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				29	コンクリート素地の処理	40 章 土 工 事				30	体育館の鋼製床下地	40 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
32	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				30	コンクリート素地の処理	41 章 土 工 事				31	体育館の鋼製床下地	41 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
33	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				31	コンクリート素地の処理	42 章 土 工 事				32	体育館の鋼製床下地	42 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
34	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				32	コンクリート素地の処理	43 章 土 工 事				33	体育館の鋼製床下地	43 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
35	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				33	コンクリート素地の処理	44 章 土 工 事				34	体育館の鋼製床下地	44 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
36	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				34	コンクリート素地の処理	45 章 土 工 事				35	体育館の鋼製床下地	45 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
37	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				35	コンクリート素地の処理	46 章 土 工 事				36	体育館の鋼製床下地	46 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
38	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				36	コンクリート素地の処理	47 章 土 工 事				37	体育館の鋼製床下地	47 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
39	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				37	コンクリート素地の処理	48 章 土 工 事				38	体育館の鋼製床下地	48 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
40	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				38	コンクリート素地の処理	49 章 土 工 事				39	体育館の鋼製床下地	49 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
41	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				39	コンクリート素地の処理	50 章 土 工 事				40	体育館の鋼製床下地	50 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
42	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				40	コンクリート素地の処理	51 章 土 工 事				41	体育館の鋼製床下地	51 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
43	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				41	コンクリート素地の処理	52 章 土 工 事				42	体育館の鋼製床下地	52 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
44	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				42	コンクリート素地の処理	53 章 土 工 事				43	体育館の鋼製床下地	53 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
45	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				43	コンクリート素地の処理	54 章 土 工 事				44	体育館の鋼製床下地	54 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
46	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				44	コンクリート素地の処理	55 章 土 工 事				45	体育館の鋼製床下地	55 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の品質			樹種名	品 名	表面の品質	防火処理			項 目	特 記 事 項			種 別	施 工 箇 所				
47	外壁パネル工法	(9 . 6 . 5)				45	コンクリート素地の処理	56 章 土 工 事				46	体育館の鋼製床下地	56 章 土 工 事									
		種 別	施 工 箇 所	品 名	見付け材面の																		

		15 章 左 官 工 事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
--	--	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

③	アクリルシリコン樹脂クリア塗り	適用範囲　コンクリート及び押出成形セメント板素地面	工　程			塗料その他			塗付け量（kg/m ² ）														
			1	素地ごしらえ	乾燥、汚れ、付着物除去																		
			2	下塗り（１回目）	浸透性吸水防水材（シラン系）				0.08														
			3	下塗り（２回目）	浸透性吸水防水材（シラン系）				0.08														
			4	中塗り	アクリルシリコン樹脂ワニス				0.10														
			5	上塗り	アクリルシリコン樹脂ワニス				0.10														
	4	常温乾燥形ふっ素樹脂クリア塗り	適用範囲　巾木モルタル面			塗料その他			塗付け量（kg/m ² ）														
			1	素地ごしらえ	乾燥、汚れ、付着物除去																		
			2	下塗り（１回目）	浸透性吸水防水材（シラン系）				0.08														
			3	下塗り（２回目）	浸透性吸水防水材（シラン系）				0.08														
			4	中塗り	常温乾燥形ふっ素樹脂ワニス				0.10														
			5	上塗り	常温乾燥形ふっ素樹脂ワニス				0.10														
	7	錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りは、下記による。								（表18.3.3）												
			（イ）鉄面錆止め塗料塗り　見掛け部分A種　見隠れ部分B種 （ロ）亜鉛メッキ面錆止め塗料塗り　鋼製の建具A種　その他B種								（表18.3.4）												
19 章 内 装 工 事																							
項　目　　　　　　　　　　　特　記　事　項																							
①	接着剤	（19.2.2）（19.3.3）（19.5.6）（19.7.2）（19.8.2） 壁紙施工用でん粉系接着剤、クリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量 規制対象外　・第三種 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。																					
		（19.2.2）																					
②	ビニル床シート張り	種　類	J I S の記号		色　柄		厚さ（mm）																
			NC　・		無地　・マーブル		2.5																
	・発泡層のないもの	発泡層のあるもの	柄物　・無地		・2.8		○2.0																
			○単層																				
	・	再生ビニル樹脂系材料の合計重量が、製品の総重量比で15%以上使用されていること。 （P F の場合を除く） 工法　熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　）（19.2.3）																					
3	ビニル床タイル張り	種　類	J I S の記号		厚さ（mm）		寸法（mm）		備　考														
			C T		2.0　・		・300×300 ・450×450																
	・コンボジションビニル床タイル（半硬質） 〔接着形〕	・コンボジションビニル床タイル（軟質） 〔接着形〕	C T S		2.0　・		・300×300 ・450×450																
			H T		2.0　・		・300×300 ・450×450																
	・置敷きビニル床タイル 〔置敷形〕	再生ビニル樹脂系材料の合計重量が、製品の総重量比で15%以上使用されていること。	H T L		・		・500×500																
4	帯電防止床タイル張り	種　類	厚さ（mm）		性　能																		
			2		体積抵抗値（J I S K 6 9 1 1 による）																		
	・ホモジニアスビニル床タイル	・	4.0 又は 5.0		1.0 × 1 0 ⁹ 以下、または、																		
			・		漏洩抵抗値（J I S A 1 4 5 4 による）																		
	・	・	・		1.0 × 1 0 ¹⁰ 未満																		
5	ビニル幅木	高さ（mm）　60　・75　・40																					
		（19.2.2）																					
6	カーベット敷き	防火性能は、消防法で定める防火性能を有し、登録されているものとする。（19.3.2） ・織じゅうたん（19.3.3）（19.3.4）（表19.3.1）																					
	種　別	織り方		バイル形状		色柄等		帯電性															
		・ウィルトンカーベット		・カットバイル		単一色（無地）		人体帯電圧															
	・B 種	・ダブルフェースカーベット		・ループバイル		・柄物（標準色）		3kv以下															
		・アキスミンスターカーベット		・カット、ループ併用		・																	
	・タフテッドカーベット	（19.3.3）（19.3.4）（表19.3.2）																					
		バイル形状		バイル長（mm）		工　法		帯電性															
	・カットバイル	5～7　・		全面接着工法		・グリッパー工法		人体帯電圧 3kv以下															
		・マルチレベルループ																					
	・レベルループバイル	4　・																					
		・カット、ループ併用		・																			
	・ニードルパンチカーベット 厚さ(mm)	（19.3.3）																					
		・帯電性　人体帯電圧　3kv以下　備考																					
	・タイルカーベット	（19.3.3）																					
	種　別	バイル形状		寸法(mm)		総厚さ(mm)		帯電性		備考													
		ループバイル		500×500		6.5		人体耐電圧 3kv以下															
	・第二種	・カットバイル		・		・																	
		・カット/ループ併用		・																			
16 体育館のフローリング張り																							
17 浴室天井材																							
④	合成樹脂塗り床	種　別	（19.4.2）（表19.4.1～表19.4.7）																				
			仕上りの種類																				
			・弾性ウレタン塗り床材　平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ																				
			・エポキシ樹脂塗り床材　薄膜流し展べ仕上げ　・厚膜流し展べ仕上げ（　平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（　平滑　・防滑） ・防滑仕上げ																				
	8	床用塗料塗り	材質　ウレタン樹脂系塗料（　標準色　・　） 仕上り種別　平滑仕上げ　・防滑仕上げ 塗布量　プライマー塗のうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/m ² 以上とする。																				
			材質　ケイ酸塩系コンクリート表面強化剤（　標準色　・　） 仕上り種別　浸透系コーティング（ローラー刷毛塗り） 塗布量　総塗布量は0.075kg/m ² 以上とする。																				
			（19.5.2～19.5.7）（表19.5.1～表19.5.4）																				
	⑤	防塵用塗料塗り																					
⑥	フロアリング張り	品　名	樹　種		工　法		種　別		仕上塗装等														
			天然木化粧複合フローリング		なら　・ひのき　・図示		釘どめ工法（根太張用） ・接着工法（直張用）		C 種　　塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート														
			・単板フローリング		かば　・		・		・無塗装品														
			○無垢フローリング		○スギ		・		○OSM塗														
	⑪	畳敷き	（19.6.2）（表19.6.1）																				
⑦	ポリスチレンフォーム床下地材	種　別	厚さ（mm）　40　・65　・80 フロアリング類下地　厚さ（mm）　80　・95																				
	13	特殊合板等の種類	特殊合板の仕上りの種類などは、下記による。（19.7.2）																				

○県産材の使用
○木材は工事費に影響のない範囲で極力地元産材を使用すること。

①ホルムアルデヒド放散量
JAS又はJIS等の材料規格で規定されているものとする。
性能区分がFのものとする。発散量が0.005mg/mh以下のものとして認定されたものとする。

②木材含水率
現場における含水率の測定は、次による。
()測定は、高周波水分計による。
()測定箇所は、異なる2面について、両小口から300mm以上離れた箇所及び中央部の計6箇所とする。
()材の含水率は、6箇所の平均値とする。
()構造材及び下張材の工事現場搬入時の含水率は、20%以下とする。
造作材の工事現場搬入時の含水率は、15%以下とする。

③表面仕上
見え掛り面は、原則として、かんな削り仕上げとし、表面の仕上げの程度は次を標準とする。
()内部造作は超自動機械かんな掛け仕上げ。
()外部造作は中自動機械かんな掛け仕上げ。
()下地は自動機械かんな掛け仕上げ。

④構造軸組
加工方法 (○在来 プレカット)

⑤木材
部材ごとの樹種

5-1構造材の樹種等 (集成材を含む) は 構造図に特記なき限り 次による。

	部 材 名 称	樹 種 等
軸組	土台(火打土台含む)	○ひのき ○ひば ・から松 ・あて ○米ヒバ
	柱類(通し柱)	・ひのき ○杉 ・ひば ・あて ・米ひ ・米杉 ・米つが ・
	桁類(敷桁・軒桁・間仕切桁等)	・杉 ・赤松 ・ひのき ・あて ○米松 ・米杉 ・
	胴差・胴つなぎ	○杉 ・赤松 ・ひのき ・あて ○米松 ・
	筋かい・貫	・杉 ・ひば ・ひのき ・あて ○米松 ・
	間柱・まぐさ・窓台・その他	○杉 ・あて ○米松 ・
小屋	小屋梁類(丸太)	・杉 ・赤松 ・あて ○米松 ・
	小屋梁類(ひき角)	・杉 ・赤松 ・あて ○米松 ・米つが ・
	小屋束・火打梁	○杉 ・ひのき ・ひば ・あて ○米松 ・
	筋かい類・振れ止め	・杉 ・ひのき ・赤松 ・あて ○米松 ・
	棟木・母屋・隅木・谷木	・杉 ・ひば ・ひのき ・あて ○米松 ・米つが ・
	垂木・垂木掛	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米松 ・米つが ・
屋根等	鼻隠・破風板 広小舞・登り よど・野地板	化粧の場合 見え隠れの場合 ○杉 ・ひのき ・あて ・米松 ・米杉 ・米ひば ・ ○杉 ・赤松 ・から松 ・
	床梁類(大梁・小梁)	・杉 ・赤松 ・ひば ・ひのき ・あて ・から松 ○米松 ・
床組	火打梁・床束・大引(転ばし大引)	・杉 ・赤松 ・ひば ・ひのき ・あて ・から松 ○米松 ・米ひば ・米ひ
	大引受・根太掛・根太	・杉 ・赤松 ・ひば ・ひのき ・あて ・から松 ○米松 ・
	構造材の継手添え板	・赤松 ・ひば ・ひのき ・あて ○米松 ・米ひ ・
栓・くさび・だば・どっこ		・かし ・けやき ・なら ○母材同材
○見え掛かり構造材は小節以上		・見え隠れ構造材は特一等以上

5-2造作材及び下地材の樹種等 (集成材を含む) は次による。

	部 材 名 称	樹 種 等
窓・出入口・出枠	たて枠・上枠・下枠・額縁	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・タモ ○米ひば ・
	ぜん板	・杉 ・ひば ・ひのき ・あて ○タモ ○けやき ○ピーラ ○地松
	敷居類(一筋・中敷居・無目含む)	→杉→ひば ・ひのき ・あて ○さくら ・米ひば ○ピーラ ○地松
	鴨居類(一筋・中鴨居・無目含む)	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ○ピーラ ○地松
	畳寄せ・付鴨居・戸当り・方立	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ○ピーラ ○地松
	長押	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ○ピーラ ○地松
床板張り	縁甲板・床板	→杉→ひば ・ひのき ・あて ・ぶな ・かば ・チーク ・米ひば ○ピーラ ○米松
	上り框	・杉 ・ひのき ・あて ・けやき ・米ひば ○タモ ○ピーラ ○地松
内外壁・天井・下地	壁胴縁・ラス下地板・塗込め貫	○杉 ・あて ・えぞ松 ○から松 ・べに松 ・米ひば ・ヒノキ
	野縁受・野縁・板野縁・吊木 吊木受	○杉 ・あて ・えぞ松 ○から松 ・べに松 ・米ひば ・ヒノキ
外天井・板内張り	外 雨押え・下見板・押縁	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・米杉 ・
	壁 見切り縁	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・米杉 ・
	内 見切り縁・笠木	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・米杉 ○タモ ○ピーラ ○地松
	壁 横羽目板・縦羽目板	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・米松 ・
	天 回り縁・二重回り縁・さお縁	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・米松 ・
	井 天井板	○杉 ・ひのき ・けやき ○ラワン合板(図示部分)
吹 階 抜 段	側桁・段板・け込み板	・ひば ・ひのき ・あて ・赤松 ・米ひば ・米松 ・
	親柱・手すり子・手すり笠木	・杉 ・ひば ・ひのき ・米ひば ・米松 ○タモ ○ピーラ ○地松
押 入	中欄・天袋欄受けかまち 天井回り縁・天井板	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・
	根 太 掛	化粧の場合 見え隠れの場合 ○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・ ○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ○米松
ひ さ し	陸 持出し板	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・
	ひ 鼻隠・広小舞化粧の場合	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・米杉 ・ピーラ ・
	さ 雨押え 見え隠れの場合	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・米杉 ・ピーラ ・
	し 化粧天井板	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・
	霧除けひさし持送り板・ひさし板	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・
	腕木・出し桁・垂木掛・垂木	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・ピーラ ・
腕木ひさし	野 地 板 化粧の場合	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・ピーラ ・
	雨 押 え 見え隠れの場合	○杉 ・赤松 ・から松 ○米ひば ・
	破風板(垂木形)・広小舞 登りよど・えぶり板・笠木	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・ピーラ ・

5-3集 成 材
○造作用集成材
使用箇所(図示 ・)
等級(・1等 ・2等)、樹種名:タモ
見付け材面及び寸法(図示 ・)

・化粧梁造作用集成材
使用箇所(図示 ・)
等級(・1等 ・2等)、樹種名:(心材 ・化粧薄板)
化粧薄板の厚さ()、見付け材面及び寸法(図示 ・)

・化粧梁構造用集成柱
樹種名:(心材 ・化粧薄板)、化粧薄板の厚さ()
見付け材面及び寸法(図示 ・)

・構造用面材
使用部位、材料種別、寸法等(図示 ・)

⑥接合具及び接合金物の工法等
接合金物:Zマーク表示金物、又は同等品による。

6-1柱頭・柱脚の接合方法
・告示(平12建告第1460号)の仕様 ・N値計算法 ・許容応力度計算法

6-2構造材及び下地材に対する釘の打込み本数等(図示による ・)
ボルトの径(図示 ・)
ボルトが受ける応力の種類
・引張りを受けるボルト(図示 ・)
・せん断を受けるボルト(図示 ・)
接合金物を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数
(○図示による ・)

6-3接合具及び接合金物
(1)釘は、JIS A 5508(くぎ)により、材質は鉄(鋼)又はステンレスとし、接合する材料及び部位に適したものとする。
又、長さ表示のない場合の釘の長さは、打ち付ける板厚の2.5倍以上を標準とする。
()釘打ちは、下地材と構造材が交差する箇所に打つ。
()造作材が下地材と平行する場合は、間隔300～450mm程度とする。
()板類で幅の広いもので、両耳及びその中間は、間隔100mm程度とする。
()造作材化粧面の釘打ち。
・隠し釘打ち ○釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち及び釘頭現し
適用範囲は図示又は監督員の指示による。図示又は指示がなければ、 釘頭埋め木とする。

(2)かすがい、羽子板ボルト、ひら金物等の種類は接合する部材の大きさ、接合方法等により適切なものとする。
()かすがい、ボルト等は必要に応じて、木部に彫込みとし、表面より沈める。

⑦仕 上 材 料
7-1化粧野地板 (・厚さ6mm/m ○図示による)

7-2天然木化粧合板(図示による ・)

7-3 特殊加工化粧合板
(図示による ・)

7-4 フローリング ・単層フローリング
(・無垢フローリング ・フローリングボード ・フローリングブロック ・モザイクパーケット)
使用範囲、材料、寸法等(図示 ・)
・複合フローリング(・複合1種 ・複合2種 ・複合3種)
使用範囲、材料、寸法等(図示 ・)

7-4-1 フローリング張りの工法(・釘留め工法 ・接着工法 ・)

7-4-2 フローリング張りの塗装の種類
ウレタン樹脂ワニス塗り ・油性ステイン塗り ・生地そのままワックス塗り ・生地そのまま自然塗料塗り

7-5 造 作
造作各部位において、しゃくりを必要に応じて設ける。(有 ・無)

7-6 押 入
中段(○有 ・無) 、 枕櫓(○有 ・無) 、 天袋(・有 ○無)

⑧せっこうボード、その他のボード類の種類、厚さ等は、次による。
○図示による

名 称	種 類	厚さ(mm)	品 質 等	
・せっこうボード製品				
・木毛セメント板				
・繊維強化セメント板				
・吸音材料				
・ラスボード				
合 板	・普通	ラワン	6mm	JAS防虫処理合板
	・難燃			
	・特殊			
・天井バスリブ				
M D F	巾木、廻縁、枠			
	カーテンボックス等			

⑨工 法
合板類の張付けの種類(・A種 B種)○接着剤留めの上フィニッシュネイル
せっこうボードの目地処理の種類等
(・目透し工法 ・突付け工法 ・突付けV目地工法 ○継目処理工法)

○再生部分の解体は 手こわし で行うこと。
○再利用できるものは損傷の無いよう解体し、番付の上保管する。(監理者が指示)
○既存材の柱、梁、造作材等の全てを出来るだけ転用もしくは加工して再利用を徹底すること。
○既存部分の造作材の損傷は既存合わせて補修すること
○既存再生部分で損傷が発見された部材の処理は監理者の指示に依ること。(柱下部の損傷は根継又は交換)
○防虫防蟻処理は土壌において専門業者の施工を行い、必要に応じて建築内部においても行う。

○白アリ等による広域な損傷は施主、監理者、施工者の協議により費用負担を決めることとする。

株式会社kyma

一級建築士事務所 石川崇知事登録 13898号
一級建築士 第343196号 土用下淳也

担当
J.Yanamoto

年月日
2022/10

訂正

工事番号
22-12

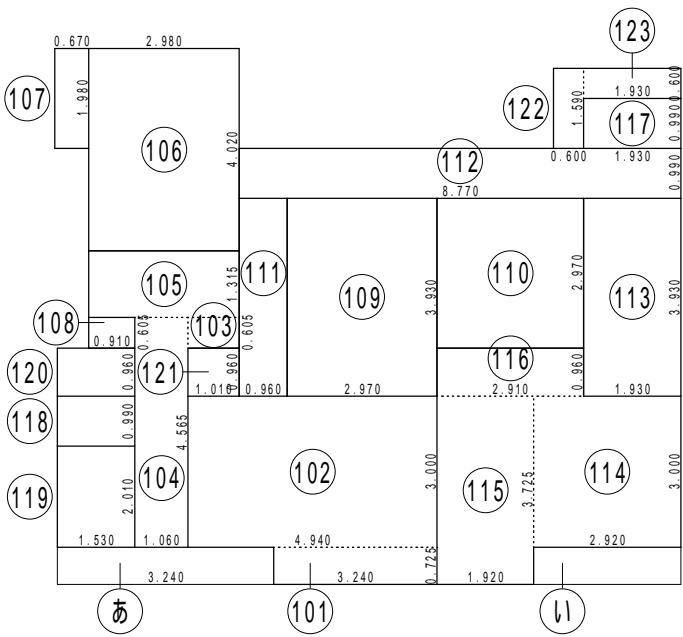
工事名
南部子ども第三の居場所(仮称)改修工事

図面名

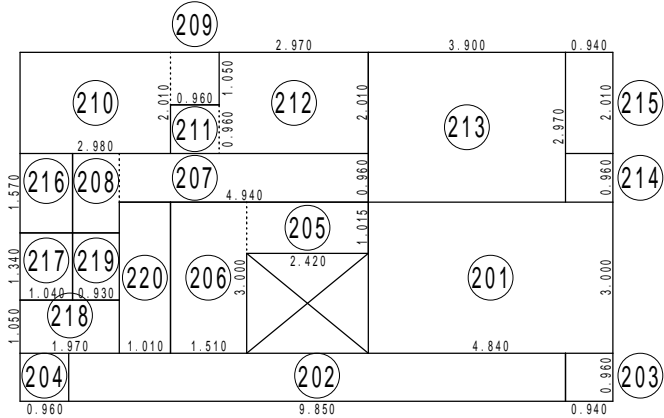
縮尺

特記仕様書 7

A008



1階



2階

1階

	記号	計算式 (m)	小計 (㎡)	面積 (㎡)
土間1	101	3.240 x 0.725	2.349	17.169
	102	4.940 x 3.000	14.820	
通り土間	103	1.010 x 0.605	0.611	9.369
	104	1.060 x 4.565	4.839	
	105	2.980 x 1.315	3.919	
	106	4.020 x 2.980		
土間2	107	1.980 x 0.670		1.327
収納1	108	0.910 x 0.605		0.551
広間1	109	3.930 x 2.970		11.672
広間2	110	2.970 x 2.910		8.643
廊下1	111	0.960 x 3.930		3.773
廊下2	112	8.770 x 0.990		8.682
下置スペース	113	1.930 x 3.930		7.585
厨房	114	2.920 x 3.000	8.760	18.706
	115	1.920 x 3.725	7.152	
	116	2.910 x 0.960	2.794	
パントリー	117	1.930 x 0.990		1.911
洗面1	118	1.530 x 0.990		1.515
WC1	119	1.530 x 2.010		3.075
WC2	120	1.530 x 0.960		1.469
階段	121	1.010 x 0.960		0.970
プロバン 室外機置場	122	0.600 x 1.590	0.954	2.112
	123	1.930 x 0.600	1.158	
	合計面積			110.50㎡

2階

	記号	計算式 (m)	小計 (㎡)	面積 (㎡)
ロビー	201	4.840 x 3.000		14.520
廊下3	202	9.850 x 0.960		9.456
収納3	203	0.940 x 0.960		0.902
洗濯	204	0.960 x 0.960		0.922
廊下4	205	2.420 x 1.015	2.456	6.986
	206	1.510 x 3.000	4.530	
個室前廊下	207	4.940 x 0.960	4.742	6.202
	208	0.930 x 1.570	1.460	
個室1	209	0.960 x 1.050	1.008	6.998
	210	2.980 x 2.010	5.990	
個室2	211	0.960 x 0.960	0.922	6.892
	212	2.970 x 2.010	5.970	
個室3	213	2.970 x 3.900		11.583
収納4	214	0.960 x 0.940		0.902
収納5	215	2.010 x 0.940		1.889
脱衣	216	1.040 x 1.570		1.633
シャワー	217	1.040 x 1.340		1.394
洗面2	218	1.970 x 1.050		2.069
WC3	219	0.930 x 1.340		1.246
階段	220	1.010 x 3.000		3.030
	合計面積			76.62㎡

収容人員算定面積の計
39.99㎡

あ	3.240 x 0.725	2.349	4.46㎡
い	2.920 x 0.725	2.117	

延床面積	
1階床面積	110.50
2階床面積	76.62
延床面積	187.12

建築面積	
建築面積 = 1階床面積 + あ + い	114.96

消防項判定・収容人員算定

1階：6項（ハ） スタッフ+就労支援利用者の数で算定 = スタッフ：6名+利用者：4名 = 10名
2階：5項（イ） 利用居室 1人 / 3㎡ で算定 = 39.99 / 3 11名
複合用途：16項（イ）

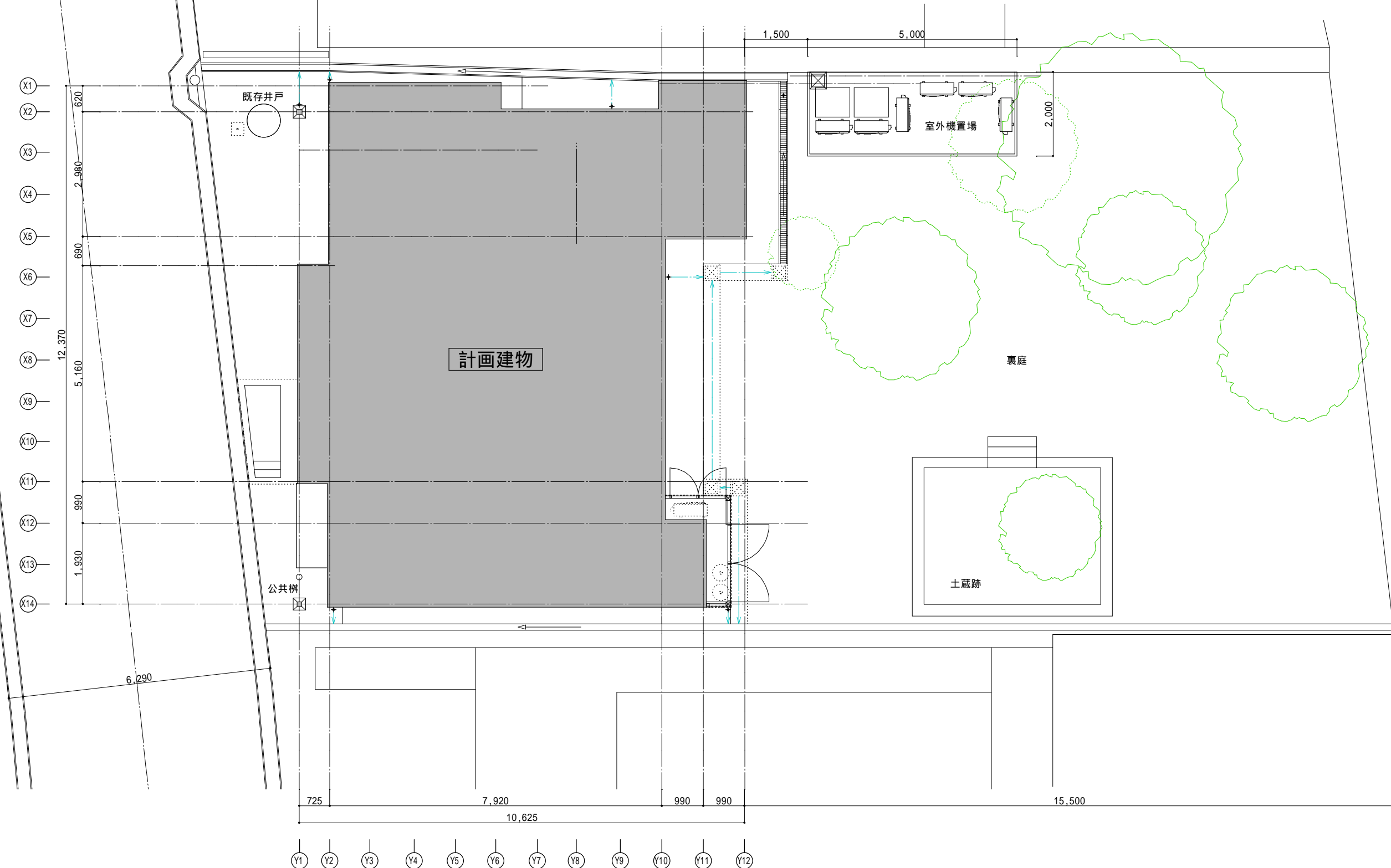
収容人員計：21名

外部仕上表		特記なき限り新設									
屋根 A	屋根材：軽重量セメント瓦（【ケイミュー】R00GA「雅」） 隅 先：高層仕様・既存瓦瓦 美装再設置、換瓦役物 軒 先：広小舞仕様 防 水：屋根用遮熱、透湿、防水シート 野地板：構造用合板 t 9 【既存のまま】外部化粧野地板 スギ板張り（腐食部のみ取り換え） 垂 水：【既存のまま】55×60@320（一部取り換え） 登り定：広小舞：スギ130 OSW塗 破風板：【既存のまま】：スギ130x350 壁取合い：平のし仕様 雪止め：RG雪止め金具2列（屋根同色） 瓦メーカー指定金物一式	屋根 B	屋根材：【既存のまま】瓦葺き（のし瓦不陸調整） 化粧野地板：【既存のまま】杉板 破風板：【既存のまま】スギ	外壁 B	外壁材：【既存のまま】土壁の上塗り塗装、一部サイディング（又はスギ板）張り	水切	カラー S G L 鋼板 t 0.4曲げ加工（防虫通気材）				
							巾木 A	コンクリート 打放シ カラークリア塗			
							巾木 B	【既存のまま】緑シ			
							犬走 A	土間コンクリート金ゴチ押入 t 100、 ワイヤーメッシュ φ1507x2y30、再生砕石 t 100転圧			
屋根 C		外壁 A	軒天 A	軒天 B	【既存のまま】化粧野地板 杉板 t 15（腐食部取り換え）	犬走 B	【既存のまま】モルタル塗り				
								種 A	軒樋：ガルバリウム製 半丸 120、壁樋：ガルバリウム製 60 、一部縦樋		
								種 B	軒樋：塩ビ製 半丸 120、 軒樋：塩ビ製 60		

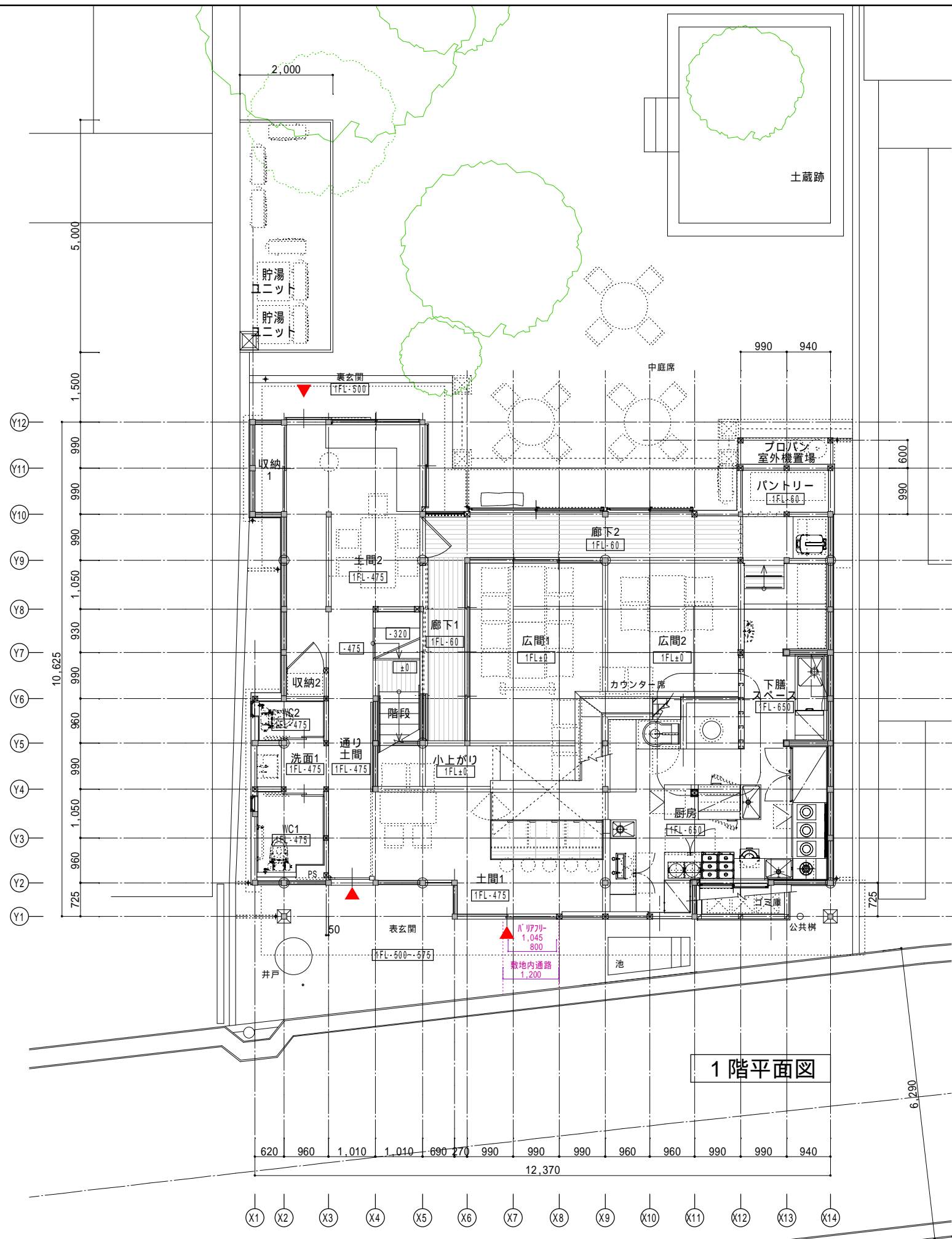
内部仕上表		特記なき限り新設																		
階数	室名	天井高 (F.Lより)	床	下地	仕上高 (F.Lより)	巾木又は腰	腰高さ 巾木高さ	壁	下地	断熱 吸音	天井	下地	廻縁	断熱 吸音	R S B O X	カーテン ロールスクリーン (別図)	サッシ 鎖鎌	消火器 B O X	内装 制限	備考
1	土間 1	3130 (直天)	コンクリート金鍍仕上げ 防塵塗装	C	-475	【既存】敷石H30の上 土台H80 床立上りH30の上 土台H80	-	下がり壁：スギ羽目板 t9 W120 OSW塗 【既存のまま】壁、下がり壁：土壁（一部ボード？）の上横縦壁 塗装	雑壁 既存	-	ラワン合板 t15 現し OSW塗 【既存のまま】梁現し 上階縁甲板現し	W	-	-	-	D-4279-7	A	-	突張り 下地不燃	カウンター・棚、腰壁、スマートボール台
	小上がり	2655 (直天)	【既存のまま】縁甲板（一部移設）	W1	± 0	【既存】敷居 畳寄せ：スギ OSW塗	6 0 -	-	-	-	ラワン合板 t15 現し OSW塗 【既存のまま】梁現し	-	-	-	-	-	-	-	-	
	通り土間	3130 (直天)	コンクリート金鍍仕上げ 防塵塗装	C	-475	【既存】敷石H30の上 土台H80 床立上りH30の上 土台H80	-	荒壁パネル 土壁中塗り仕上げ 【既存のまま】壁、下がり壁：土壁（一部ボード？）の上横縦壁 塗装	荒壁 既存	-	ラワン合板 t15 現し OSW塗 【既存のまま】梁現し	-	-	-	-	-	-	-	-	
	土間 2	2295～3130 (直天)	コンクリート金鍍仕上げ 防塵塗装	C	-475	【既存】敷石H30の上 土台H80 床立上りH30の上 土台H80	-	壁、下がり壁：構造用合板 t9下地 GB・Lt12.5 土壁中塗り仕上げ 【既存のまま】壁、下がり壁：土壁の上木板張り、一部漆喰壁	合板 既存	-	【既存のまま】年縁天井 梁、荒板、墨木現し 個室1床下の荒板は腐食のためラワン合板 t15に交換 O S M塗	-	-	-	-	-	A	-	-	【既存のまま】台所水回り
	収納 1	1335	既存版の上ラワン合板 t12張り U C塗	W1	+140	-	-	【既存のまま】木板張り	-	-	構造用合板 t12 現し 【既存のまま】墨木 現し	-	-	-	-	-	-	-	-	【既存のまま】棚板
	収納 2	2300	コンクリート金鍍仕上げ 防塵塗装	C	-475	【既存】敷石H30の上 土台H80 床立上りH30の上 土台H80	-	構造用合板 t9 素地 荒壁パネル 素地	合板 荒壁	-	ラワン合板 t6 OSW塗	W	目スカシ	-	-	-	-	-	-	棚板
	広間 1、2	2330	タタミ t60	W1	± 0	【既存】敷居 畳寄せ	-	壁：荒壁パネル 土壁中塗り仕上げ 770・880縁間部分：LGS下地 GB・Lt12.5 土壁中塗り仕上げ（一部不燃矽化紙板 t3張り） 【既存のまま】下がり壁：土壁の上横縦壁 塗装	荒壁 L G S	-	【既存のまま】年縁天井	-	-	-	-	-	-	-	-	
	廊下 1、2	2390	【既存のまま】縁甲板	-	-60	【既存】敷居 巾木：スギ OSW塗	6 0 6 0	壁：荒壁パネル 土壁中塗り仕上げ 【既存のまま】壁、下がり壁：土壁の上横縦壁 塗装	合板 既存	-	【既存のまま】年縁天井	-	-	-	-	-	-	-	-	【既存のまま】上部棚板
	下膳スペース	2515	長尺塩ビシート（A） ラワン合板 t15下地 長尺塩ビシート（B）	C	-650	床立仕上げ（端部溶接） ソフト巾木	1 0 0 5 0	ケイカル板 t6 EP-G塗	荒壁 L G S	-	ケイカル板 t6 EP-G塗	W	塩ビB	-	-	-	-	-	-	棚板
	厨房	2515	長尺塩ビシート（A）	C	-650	床立仕上げ（端部溶接）	1 0 0	ケイカル板 t6 EP-G塗	合板 既存	-	ケイカル板 t6 EP-G塗	W	塩ビB	-	-	D-4279-7	-	-	-	
	パントリー	1910～ 2320	ラワン合板 t15（4×8板） U C塗	-	-60	巾木：スギ OSW塗	6 0	構造用合板 t9下地 770合板 t6 OSW塗	合板	G124 50	ラワン合板 t6 OSW塗	W	目スカシ	-	-	-	-	-	-	
	洗面 1	2200	コンクリート金鍍仕上げ 防塵塗装	C	-475	床立上りH30の上 土台H80	-	荒壁パネル 770合板 t6 OSW塗 構造用合板 t9下地 770合板 t6 OSW塗	合板 荒壁	-	ラワン合板 t6 OSW塗	W	目スカシ	-	-	-	-	-	-	洗面770材、変見、A'-A'-縁ダ
	Ⅲ C 1	2200	コンクリート金鍍仕上げ 防塵塗装	C	-475	不燃矽化紙板 t3張り	-	荒壁パネル 770合板 t6 OSW塗 構造用合板 t9下地 770合板 t6 OSW塗	合板 荒壁	G124 50	ラワン合板 t6 OSW塗	W	目スカシ	G124 100	-	-	-	-	-	【設備工事】便器、紙巻き器
	Ⅲ C 2	2200	コンクリート金鍍仕上げ 防塵塗装	C	-475	不燃矽化紙板 t3張り	- 8 8 0	荒壁パネル 770合板 t6 OSW塗 構造用合板 t9下地 770合板 t6 OSW塗	合板 荒壁	G124 50	ラワン合板 t6 OSW塗	W	目スカシ	G124 100	-	-	-	-	-	ライニング 【設備工事】便器、紙巻き器、L型手すり
2	ロビー	3365～4620 (直天)	タタミ t60 一部 スギフローリング OSW塗	W1	± 0	巾木：スギ OSW塗 雑巾張り：スギ OSW塗（床の間）	6 0 1 0	防火上主要間仕切：GB・Rt12.5+9.5 ビニルU2（A） 【既存のまま】既存土壁	合板 既存	-	既存墨木、既存荒板の上構造用合板素地 【既存のまま】梁現し	-	-	-	-	-	-	-	-	
	廊下 3	2580	【既存のまま】縁甲板	-	-60	【既存】敷居	6 0	【既存のまま】下り壁：土壁の上横縦壁 塗装	既存	-	【既存のまま】年縁天井	-	-	-	-	-	-	-	-	
	収納 3	2580	ラワン合板 t15（4×8板） U C塗	-	-60	巾木：スギ OSW塗	6 0	構造用合板 t9下地 GB・Rt12.5 ビニルU2（A） 【既存のまま】既存土壁	既存	-	【既存のまま】年縁天井	-	-	-	-	-	-	-	-	
	洗濯	1930	ラワン合板 t15下地 長尺塩ビシート（B）	W2	-60	巾木：スギ OSW塗	6 0	壁：構造用合板 t9下地 GB・Rt12.5 ビニルU2張り 既存土壁補修	合板 既存	-	ラワン合板 t6 素地	W	目スカシ	-	-	-	-	-	-	【設備工事】洗濯機パン 給水配管露出
	廊下 4	3365～4620 (直天)	ラワン合板 t15（4×8板） U C塗	-	-60	巾木：スギ OSW塗	6 0	【既存のまま】壁、下り壁：土壁の上横縦壁 塗装	既存	-	既存墨木、既存荒板の上構造用合板素地	-	-	-	-	-	-	-	-	収納
	個室前廊下	2580	ラワン合板 t15（4×8板） U C塗	-	-60	巾木：スギ OSW塗	6 0	防火上主要間仕切：構造用合板 t9下地 GB・Rt12.5+9.5 ビニルU2（A） GB・Rt12.5 ビニルU2（A） 【既存のまま】下り壁：土壁の上横縦壁 塗装	合板 既存	-	ラワン合板 t6 OSW塗	W	目スカシ	-	-	-	-	-	-	洗面770材、変見、A'-A'-縁ダ 【既存のまま】階段手摺
	個室 1、2、3	2550	タタミ t60	W1	± 0	雑巾張り：スギ OSW塗	1 0	防火上主要間仕切：構造用合板 t9下地 GB・Rt12.5+9.5 ビニルU2（A） GB・Rt12.5 ビニルU2（A） 【既存のまま】下り壁：土壁の上横縦壁 塗装	合板 雑壁	G124 50	個室1,2：GB・Rt9.5 ビニルクロス（A） 個室3：ラワン合板 t6 OSW塗、【既存のまま】年縁天井	W	スギ 目スカシ	G124 100	-	カーテン	-	-	-	ハンガーボール
	収納 4	2100	ラワン合板 t15（4×8板） U C塗	-	± 0	雑巾張り：スギ OSW塗	1 0	防火上主要間仕切：構造用合板 t9下地 GB・Rt12.5+9.5 ビニルU2（A） 既存土壁補修	合板 既存	-	ラワン合板 t6 素地	W	目スカシ	-	-	-	-	-	-	
	収納 5	2100	ラワン合板 t15（4×8板） U C塗	-	± 0	雑巾張り：スギ OSW塗	1 0	【既存のまま】土壁の上木板張り	既存	-	ラワン合板 t6 素地	W	目スカシ	-	-	-	-	-	-	
	脱衣	2300	ラワン合板 t15下地 長尺塩ビシート（B）	W2	± 0	巾木：スギ OSW塗	6 0	防火上主要間仕切：構造用合板 t9下地 GB・Rt12.5+9.5 ビニルU2（A） GB・Rt12.5 ビニルU2（A）	合板 既存	-	ラワン合板 t6 OSW塗	W	目スカシ	-	-	-	-	-	-	棚板
	洗面 2	2300	ラワン合板 t15（4×8板） U C塗	-	± 0	巾木：スギ OSW塗	6 0	構造用合板 t9下地 GB・Rt12.5 ビニルU2（A） 既存土壁補修	合板 雑壁	-	ラワン合板 t6 OSW塗	W	目スカシ	-	-	-	-	-	-	洗面770材、上部吊戸棚、変見
	Ⅲ C 3	2300	ラワン合板 t15下地 長尺塩ビシート（B）	W2	± 0	不燃矽化紙板 t3張り	- 8 8 0	構造用合板 t9下地 GB・Rt12.5 ビニルU2（A）	雑壁	-	ラワン合板 t6 OSW塗	W	目スカシ	-	-	-	-	-	-	
	階段	2580	【既存のまま】既存階段 傾き調整	-	± 0	【既存のまま】ササラ	-	【既存のまま】横縦壁 塗装	-	-	ラワン合板 t6 OSW塗	W	目スカシ	-	-	-	-	-	-	
既存のままの部分は監督員と方法を協議の上、全てクリーニングとする																				

仕上特記事項		仕上仕様特記		防火材料特記事項 耐火・防火構造認定				壁記号凡例			
・室内の土に接する床スラブは、防潮ポリエチレンフィルム t 0 . 1 5 × スタイロフォーム 3 種B t 40敷込とする事。 ・床コンクリート全ゴテ押工は、1 0 mmポリシとする事。 ・コンクリート打放し仕上部分にジャンカ、コールドジョイント等不都合が生じigen場合は、監督員の指定する専門業者に依り補修する。 ・特記なき限り、外部コンクリート打放し仕上のコーナは、ピン角とする事。 ・打放し仕上部分型枠は、ウレタン塗装合板を使用する。コーナ一部には止水処理（シーリング）を施す。 ・ボード貼継ぎ目部分は全てジョイントボード目地処理工法とする。 ・ボード貼出隅は、コーナ保護金物（亜鉛鋼板 t 0 . 4）を取付、テープ処理を施す。 ・本工事で使用するステンレスは全て S U S 3 0 4 とする。 ・外部露出される鉄骨部分は全て溶融亜鉛メッキド付けとする。 ・天井点検口はアルミ枠 4 5 0 角既製品（目地タイプ）とし、天井同材仕上とする。 ・手摺、空調機、T V 等取付箇所は適切にコンパネ t 1 2 等で下地補強を行うこと。 ・木部あらわし部分は特記なき限りすべて 2 度塗とする。 ・グラスウール充填の内部間仕切は、ボードと共に屋根下地まで到達させる事。 ・建具・家具金物は美和ロック、ゴール、スガツネ L A M P 程度とする。		屋根 瓦葺き：【ケイミュー】R00GA「雅」 カラー G L 鋼板 t 0.4 縦葺：【セキノ興産】立平ロック25 働き巾333mm 同等品 外壁 スギ t 15 W150壁羽目板貼（実加工）：上小部以上 床 防塵塗装：【A B C 商会】セラミキュア 同等品 長尺塩ビシート（A）：【東リ】N S シート N S 4 4 0 0 アクアレッド t 2.0同等品（厨房廻り） 長尺塩ビシート（B）：【東リ】ヒトエ グランザ 同等品（水廻り） ラワン合板：J A S 材 防虫処理合板 2類以上 墨：スタイロタタミ t 60 スギフローリング：無垢材 t 15W120（実加工）上小部以上 壁・天井 ビニルクロス（A）：AA級程度 不燃メラミン化粧板：【770工業】770材 880 770材770材 同等品以上 OSW塗：【オスモ&エーデル】内外装木部用半透明カラー ワンコートオンリー 同等品 塗装 カラークリア塗：【エスケー化研】セラミクリートSi 3 分艶 同等品 断熱材等（天井厚込み、内壁）住宅用グラスウール（24K）t 50：【N 770材】【旭ファイバーグラス】同等品 （土間下）押出法ポリスチレンフォーム：【ダウ化工】スタイロエース 同等品 屋根用遮熱・透湿・防水シート：【フクビ】遮熱ルーフィングエアテックス 植受金物：壁横同色とする 軒樋 A：【タニタハウジングウェア】ガルバリウム製 スタンダード半丸120 同等品 軒樋 A：【タニタハウジングウェア】ガルバリウム製 たてとい 75 同等品 軒樋 B：【デンカ】トヨ雨樋 標準品 DK120 同等品 軒樋 B：【デンカ】トヨ雨樋 丸たてとい 60 同等品 鎖樋：【中継】ステンレス製 リング型 鎖樋 同等品 防虫通気材：【フクビ】防虫通気材 BT15K（軒裏） BT18K（外壁）同等品 カラム-B：（【タチカワ】V17 同等品） モリヤタカ：【BEAL】モリヤタカ- ビニル- 研磨 + 保護塗料塗 東石：柱石 角型（標準型）サビ石タタキ仕上げ カーテン：ポリエステル製、遮光（1級）、防炎・レースカーテン 天井点検口：4 5 0 角アルミ製（目地タイプ）		・ G B ・ R ・ ： せつこうボード t 9 . 5 × 1 2 . 5 準不燃 Q M ・ 9 8 2 8、不燃 N M ・ 8 6 1 9 ・ G B ・ S ・ ： シーリングせつこうボード t 9 . 5 × 1 2 . 5 準不燃 Q M ・ 0 8 9 8、不燃 N M ・ 9 6 3 9 ・ G B ・ L ・ ： 石膏ラスボード t 1 2 . 5 不燃 N M ・ 8 6 1 7 ・ ケイ酸カルシウム板 t 6 不燃 N M ・ 3 5 2 2 ・ ビニルクロス：AA程度 不燃 N M ・ 9 9 1 9 ・ 不燃メラミン化粧板 不燃 N M ・ 2 1 8 3 ・ S O P、E P、E P - G、U C 不燃 N M ・ 8 5 8 5 ・ 【防火上主要な間仕切壁】 ・ G B ・ R t 1 2 . 5 + 9 . 5（両面）木下地（国土交通省告示 1 3 5 8 号）告示仕様				【新設】壁 A 【防・合】構造用合板 t 9下地 GB-Rt12.5+9.5 びニロU2張り 【新設】壁 B 【防】GB-Rt12.5+9.5 びニロU2張り 【新設】壁 C 【合】構造用合板 t 9下地 GB-Lt12.5 土壁 中塗り仕上げ 【新設】壁 D 【合】構造用合板 t 9下地 GB-Rt12.5 びニロU2張り 【新設】壁 E 【合】構造用合板 t 9下地 770合板 t 6 OSW塗 【新設】壁 F 【合・土】既存土壁の上 構造用合板 t 9下地 770合板 t 6.0 EP-G塗 【新設】壁 G 【荒】荒壁パネル 土壁 中塗り仕上げ 【新設】壁 H 【荒】荒壁パネル 770合板 t 6 OSW塗 【新設】壁 I 【荒】荒壁パネル GB-Rt12.5 770合板 t 6.0 EP-G塗 【新設】壁 J 【LGS】GB-Lt12.5 土壁 中塗り仕上げ 【新設】壁 K 【LGS】GB-Rt12.5 770合板 t 6.0 EP-G塗 【新設】壁 L 【土】既存土壁 GB-Rt12.5 びニロU2張り 【新設】壁 M 【土】既存土壁 GB-Rt12.5 770合板 t 6.0 EP-G塗 【新設】壁 N 【土】既存土壁 770合板 t 6 OSW塗 【新設】壁 O GB-Rt12.5 びニロU2張り 【新設】壁 P GB-Rt12.5 770合板 t 6.0 EP-G塗 【新設】壁 Q GB-Lt12.5 土壁 中塗り仕上げ 【新設】壁 R 770合板 t 6 OSW塗 【新設】壁 S スギ羽目板 t 9 OSW塗 【新設】壁 T 不燃メラミン化粧板 t 3張り 【既存】壁 1 【土】【既存のまま】既存土壁 横縦壁 塗装 【既存】壁 2 【土】【既存のまま】既存土壁の上 木板張り 【既存】壁 3 【土】【既存のまま】既存土壁 荒壁仕上げ 【既存】壁 4 【土】【既存のまま】既存雑壁 横縦壁 塗装 壁【防・合】 【防火上主要間仕切】【合板耐力壁】構造用合板 t 9下地 GB-Rt12.5+9.5 壁【防】 【防火上主要間仕切】GB-Rt12.5+9.5 壁【合】 【合板耐力壁】構造用合板 t 9下地 壁【合・土】 【合板耐力壁】既存土壁の上 構造用合板 t 9下地 壁【荒】 【土壁耐力壁】荒壁パネル 壁【土】 【土壁耐力壁】【既存のまま】既存土壁			
シックハウス対策特記事項				記号凡例							
内部仕上・建具・造付家具：F 以上、天井裏：F 以上とする。 対象材料（合板、フローリング、集成材、木質建材、壁紙、接着材、保温材断熱材、塗料、塗壁） ・特記なき限り、内部仕上は低VOC（ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン）、鉛フリーとする。 ・内部塗装は水性・弱溶剤系とし、トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・鉛の含有しないもの、または含有量の極力少ないものとする。				床下地 - W1：既存荒板 t 15 W300程度（個室1床下地はラワン合板 t 15（4 × 8板）にやり替え） - W2：ラワン合板 t 15（段差調整） - C：コンクリート下地（ワイヤメッシュ 6 @ 1 5 0） 壁下地 - 雑壁：横鋼線 1 5 × 4 5 @ 3 0 3 - 荒壁：荒壁パネル受け 井桁組 相欠き 3 0 × 6 0 @ 6 0 0 以内（受け材仕様） - 合板：45 × 45 以上 @ 455 以内、水平継手 45 × 90（構造参照） - L G S：軽重量鉄骨下地 W 9 0 - 既存：【既存のまま】土壁 天井下地 - W：野縁 4 0 × 4 0 @ 4 5 5、野縁受 4 0 × 4 0 @ 9 1 0 廻 縁 - スギ：スギ 1 5 × 1 5 OSW塗 - 塩ビ A：塩ビ製（クロス用）【創建 V - 34074】隙間6mm - 塩ビ B：塩ビ製（コ型）【創建 T C - 9】 サッシ鎖鎌 - A：スギ OSW塗 - B：ボストフォーム VPAタイプ 塗装 O S M塗：オスモカラー外装用 W R ウォーターレベント（下地塗装）ワンコートオンリー 同等品 フッ素樹脂 C L 塗：N A D 系フッ素樹脂塗装 着色透明（関西ペイント アレスガード N F 同等品） E P：合成樹脂エマルション塗料（低VOC） E P - G：つや有り合成樹脂エマルション塗料（低VOC） S O P：合成樹脂調合ペイント U C：1 液型油性変性ポリウレタンワニス（弱溶剤）							

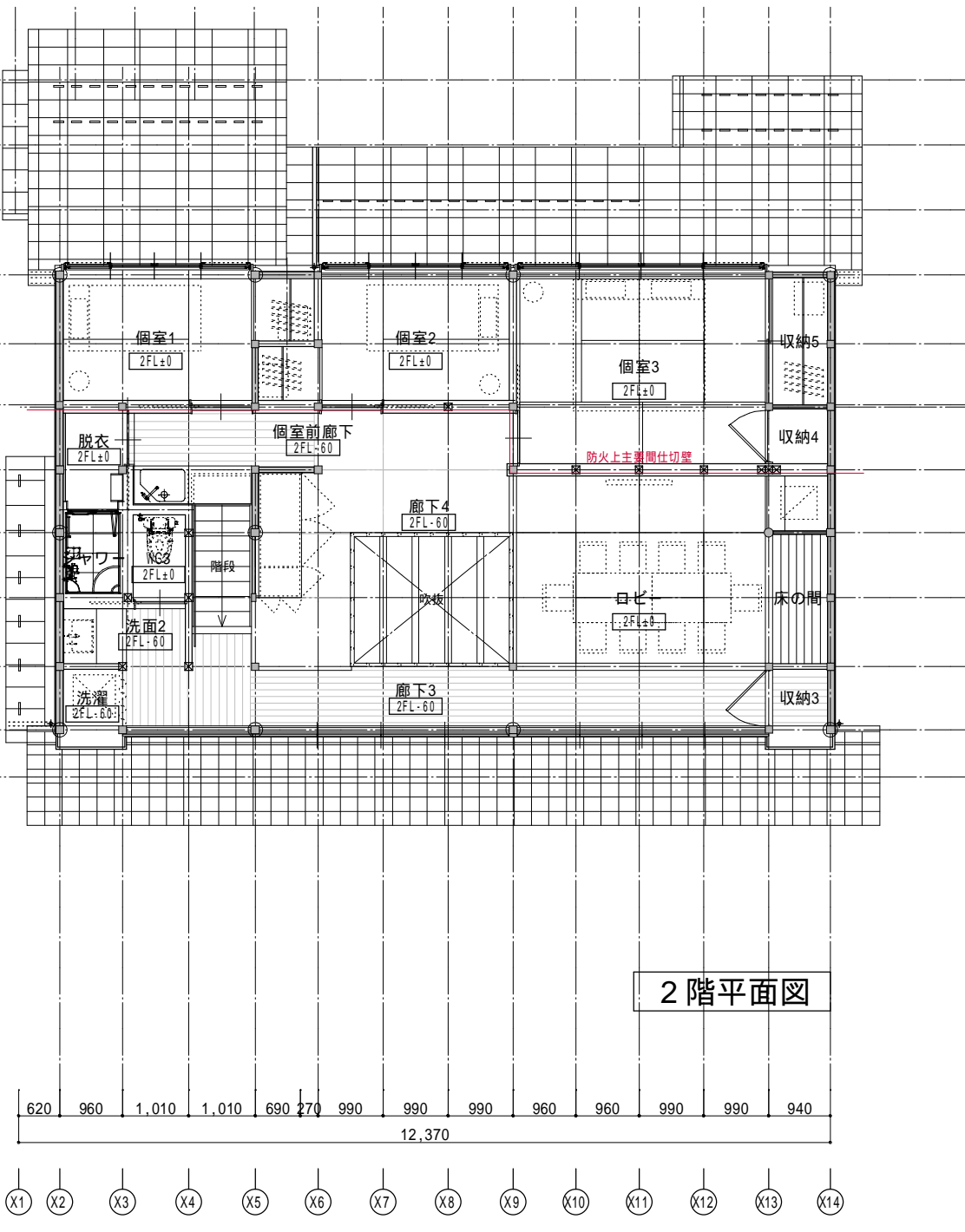
計画敷地：鳥取県西伯郡南部町法勝寺 5 0 7



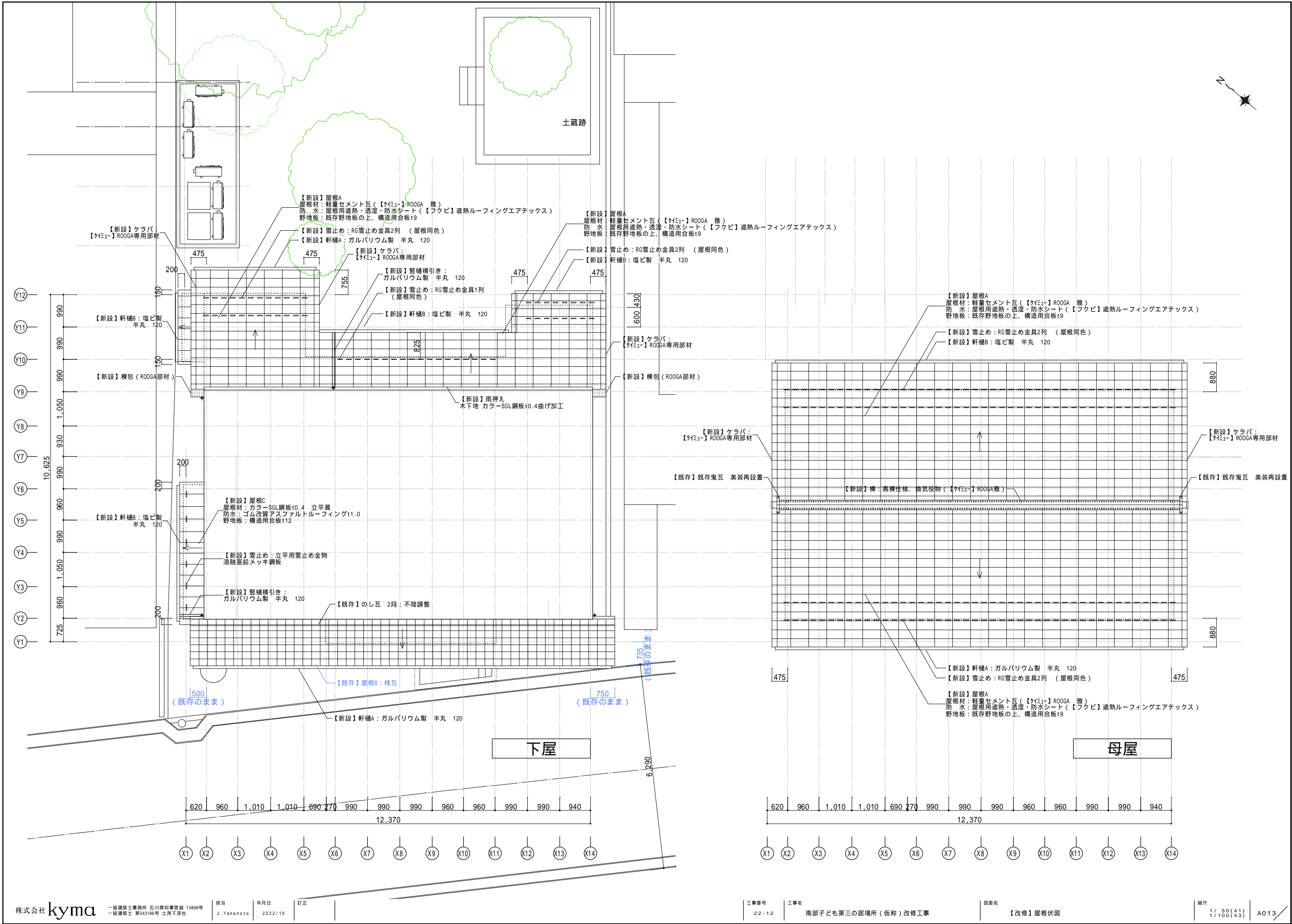
■ 既存柱・壁位置を示す

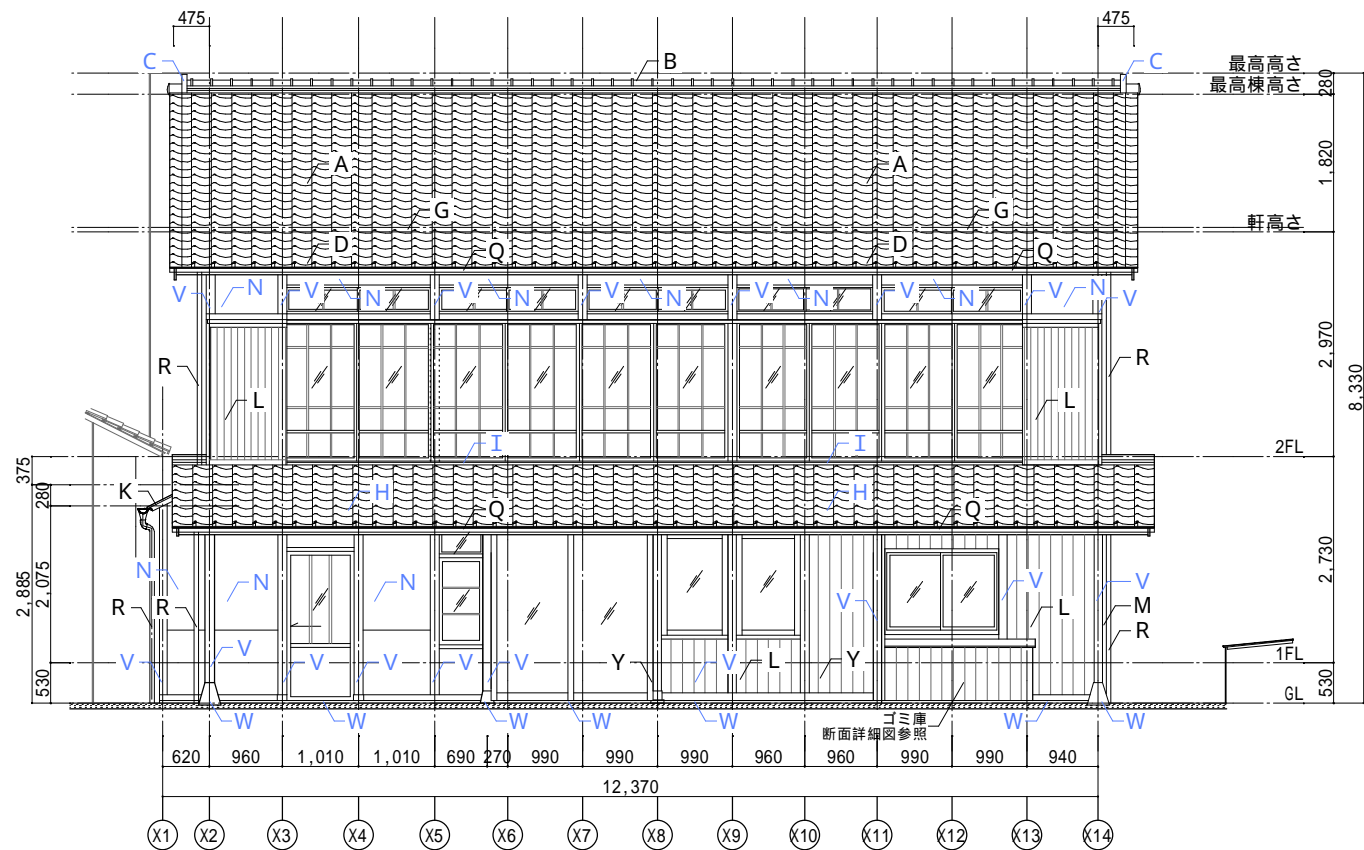


1 階平面図

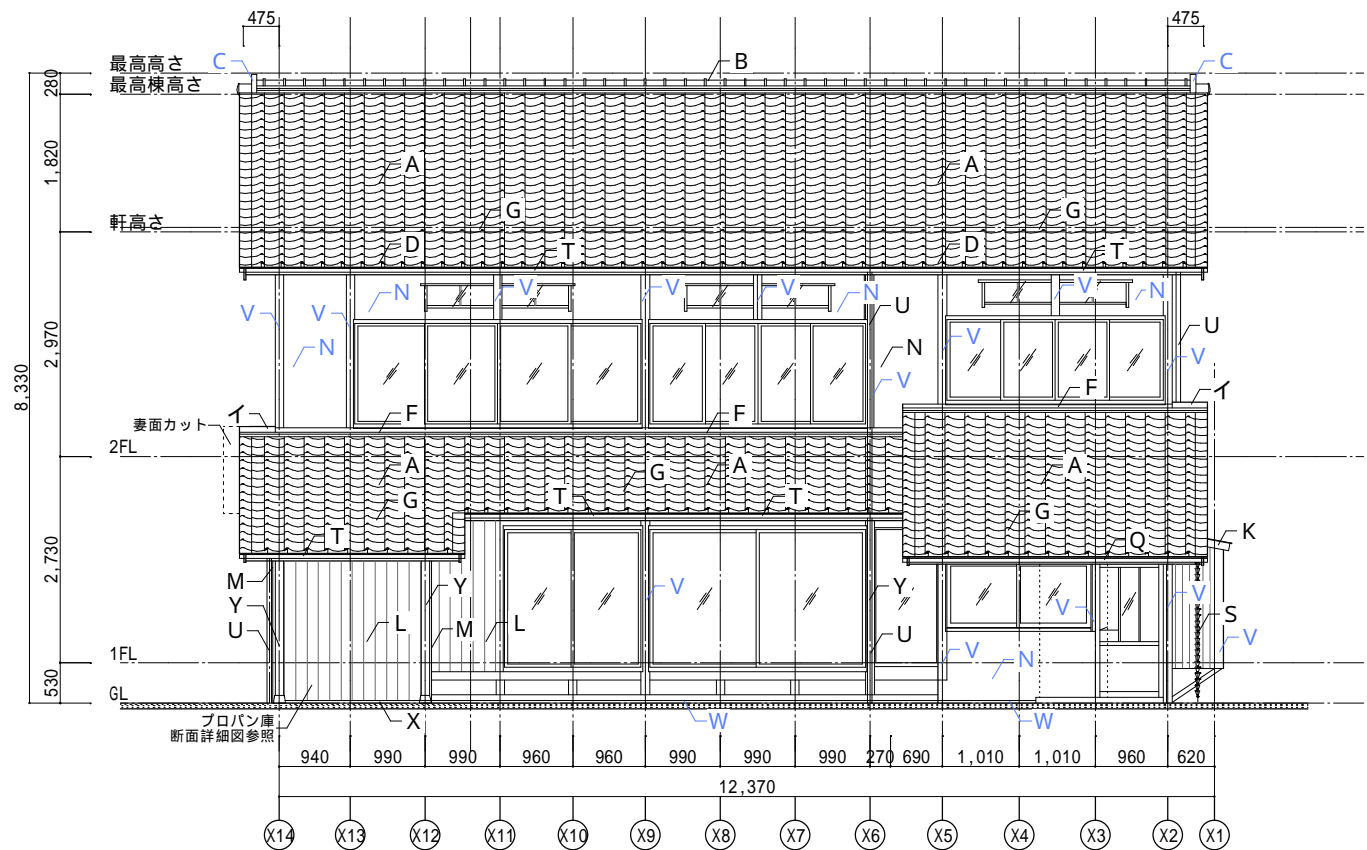


2 階平面図

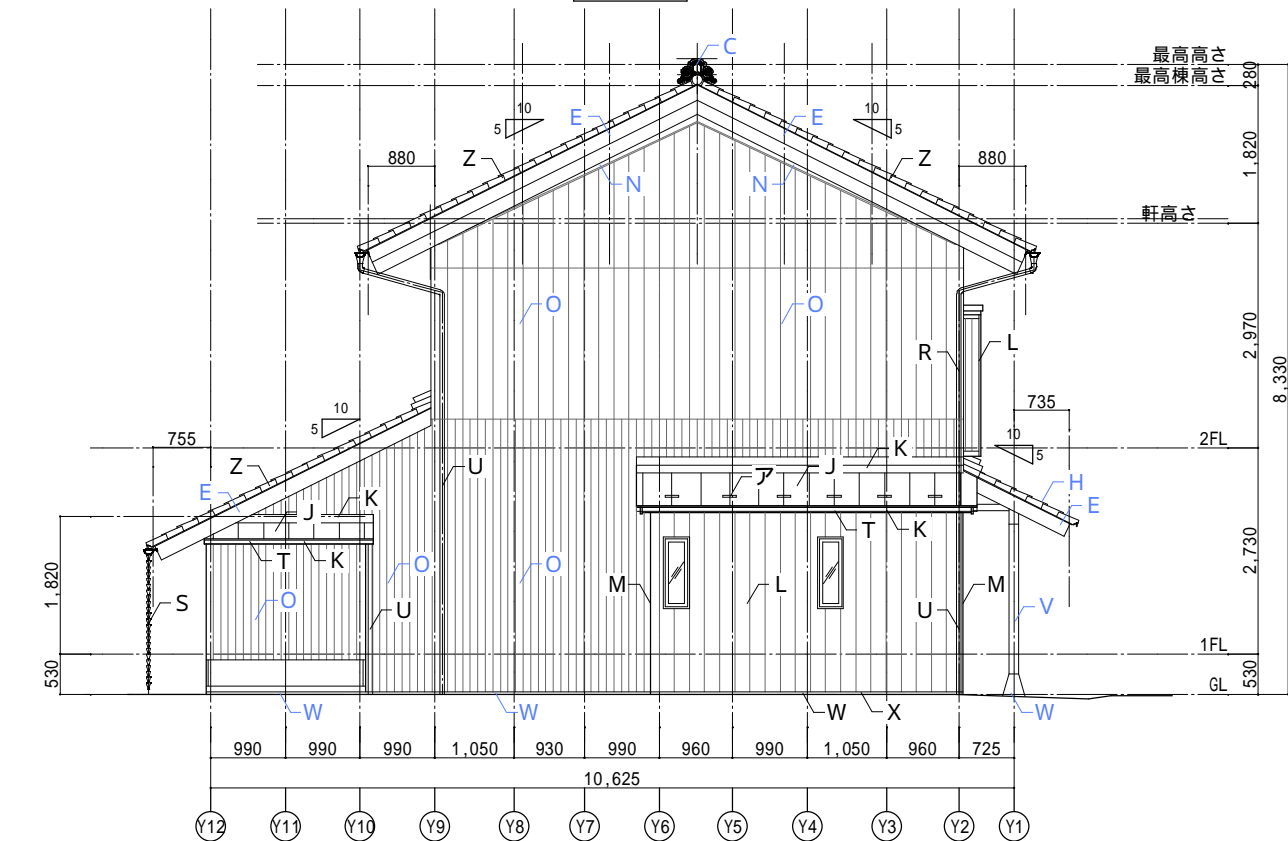




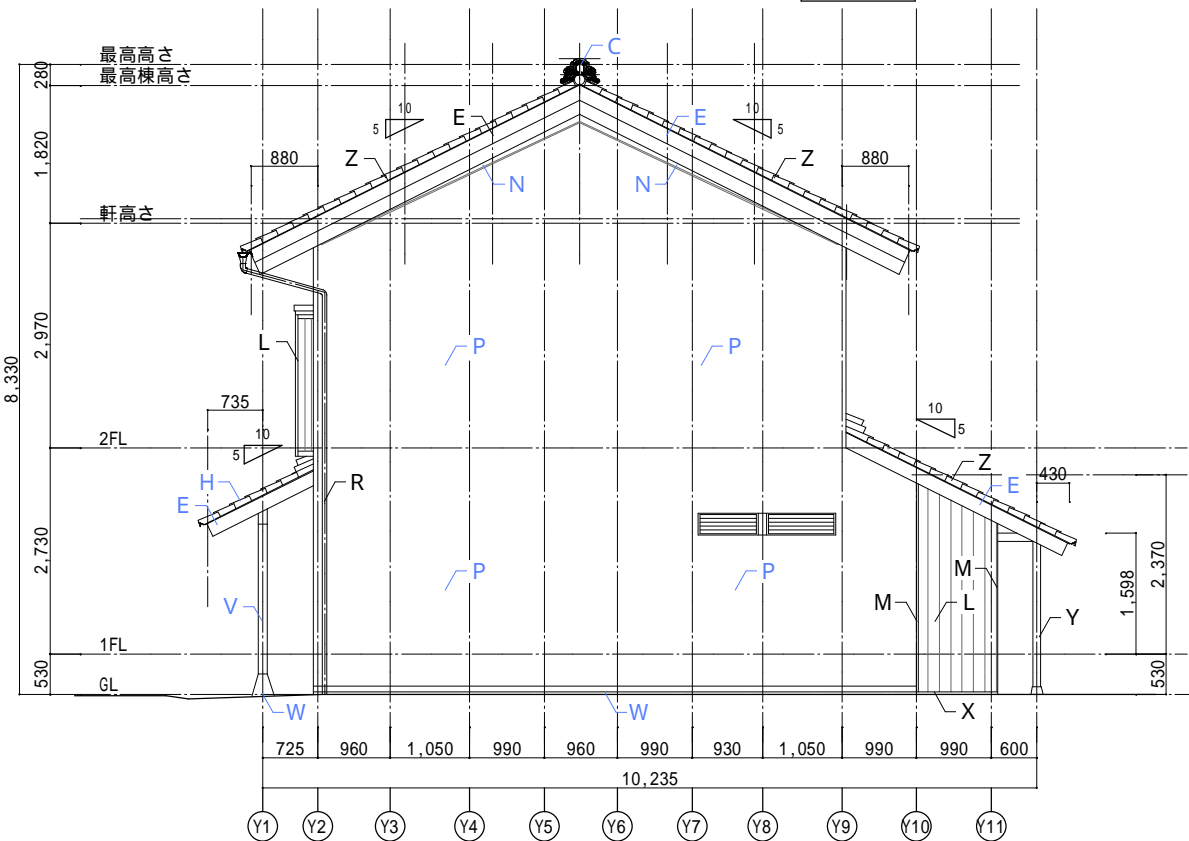
南西面



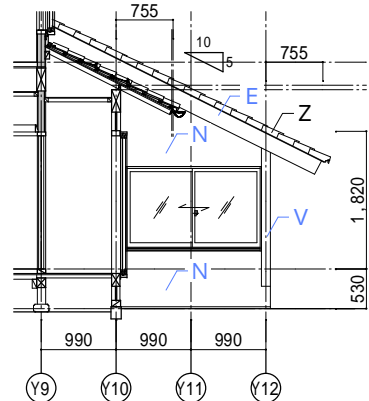
北東面



北西面



南東面



中庭廻り

記号凡例

記 号	仕 上	記 号	仕 上	記 号	仕 上	記 号	仕 上
A	【新設】屋根A：軽量セメント瓦（【ケイミュール】ROOGA「雅」）	H	【既存】屋根B：瓦屋根 既存のまま	O	【既存】外壁B：木板張り 既存のまま	V	【既存】化粧柱：既存のまま
B	【新設】棟：高棟仕様、換気設備	I	【既存】のし瓦不調整	P	【既存】外壁B：板金塗装 既存のまま	W	【既存】縁石・東石：既存のまま
C	【既存】既存瓦瓦 美観再設置	J	【新設】屋根C：カラーSGL鋼板10.4 立平葺	Q	【新設】軒樋B：ガルバリウム製 半丸 120	X	【新設】基礎：コンクリート打放し カラークリア塗装
D	【新設】軒先：広小舞仕様	K	【新設】ケラバ包み・軒先水切・雨押え：木下地カラーSGL鋼板曲げ加工（屋根同材）	R	【新設】壁樋A：ガルバリウム製 60	Y	【新設】化粧柱・梁：OSM塗 足元東石
E	【既存】破風板	L	【新設】外壁A：スチ115 W150壁羽目板貼（裏加工） OSM塗装	S	【新設】銅樋	Z	【新設】ケラバ：ROOGA専用部材
F	【新設】雨押え：木下地カラーSGL鋼板曲げ加工	M	【新設】外壁コーナー：スチ30角 OSM塗（外壁A）	T	【新設】軒樋B：塩ビ製 半丸 120	ア	【新設】雪止め：L型アングル50×50 1列 溶融亜鉛メッキドボ
G	【新設】雪止め：RG雪止め金具2列（屋根同色）	N	【既存】外壁B：土壁の上、漆喰塗 既存のまま	U	【新設】壁樋B：塩ビ製 60	イ	【新設】棟包（ROOGA部材）

株式会社 kyma

一級建築士事務所 石川県知事登録 13898号
一級建築士 第343196号 土下淳也

担当

R.Fukui

年月日
2022/10

訂正

工事番号

22-12

工事名

南部子ども第三の居場所（仮称）改修工事

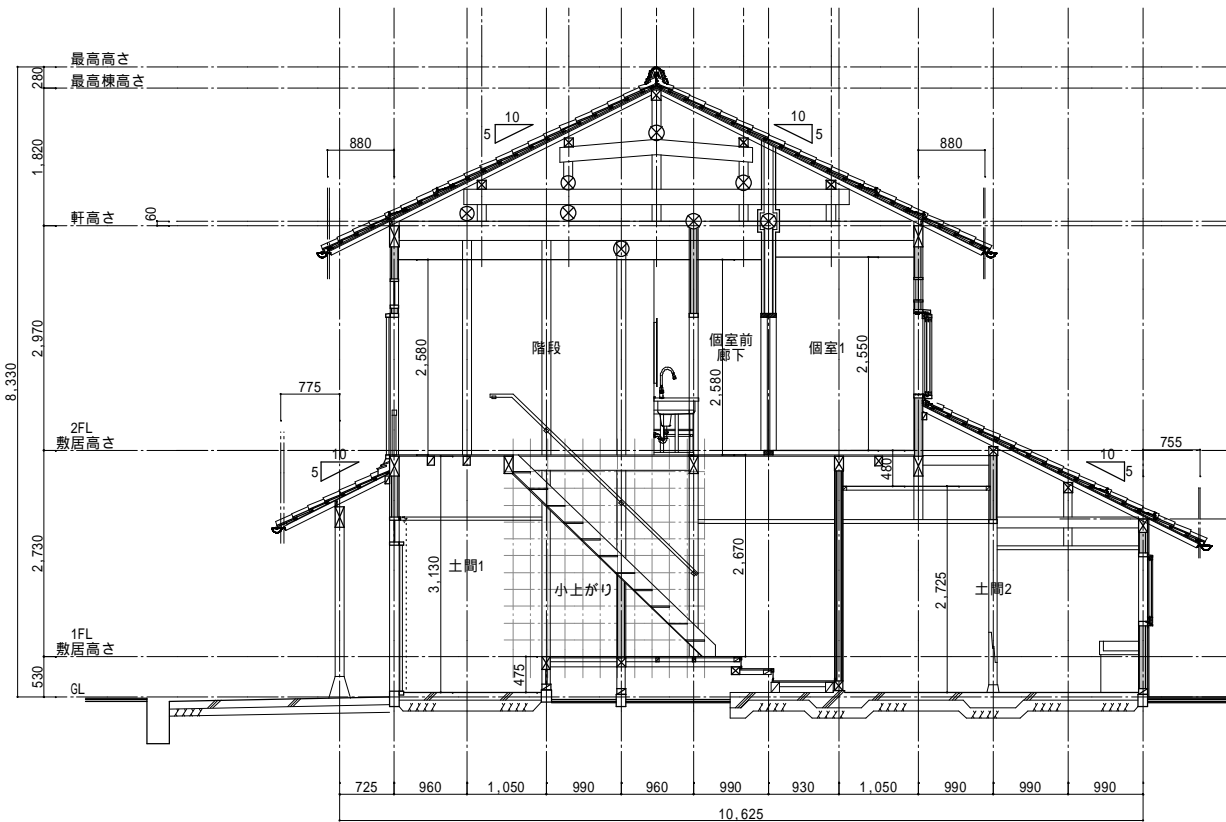
図面名

【改修】立面図

縮尺

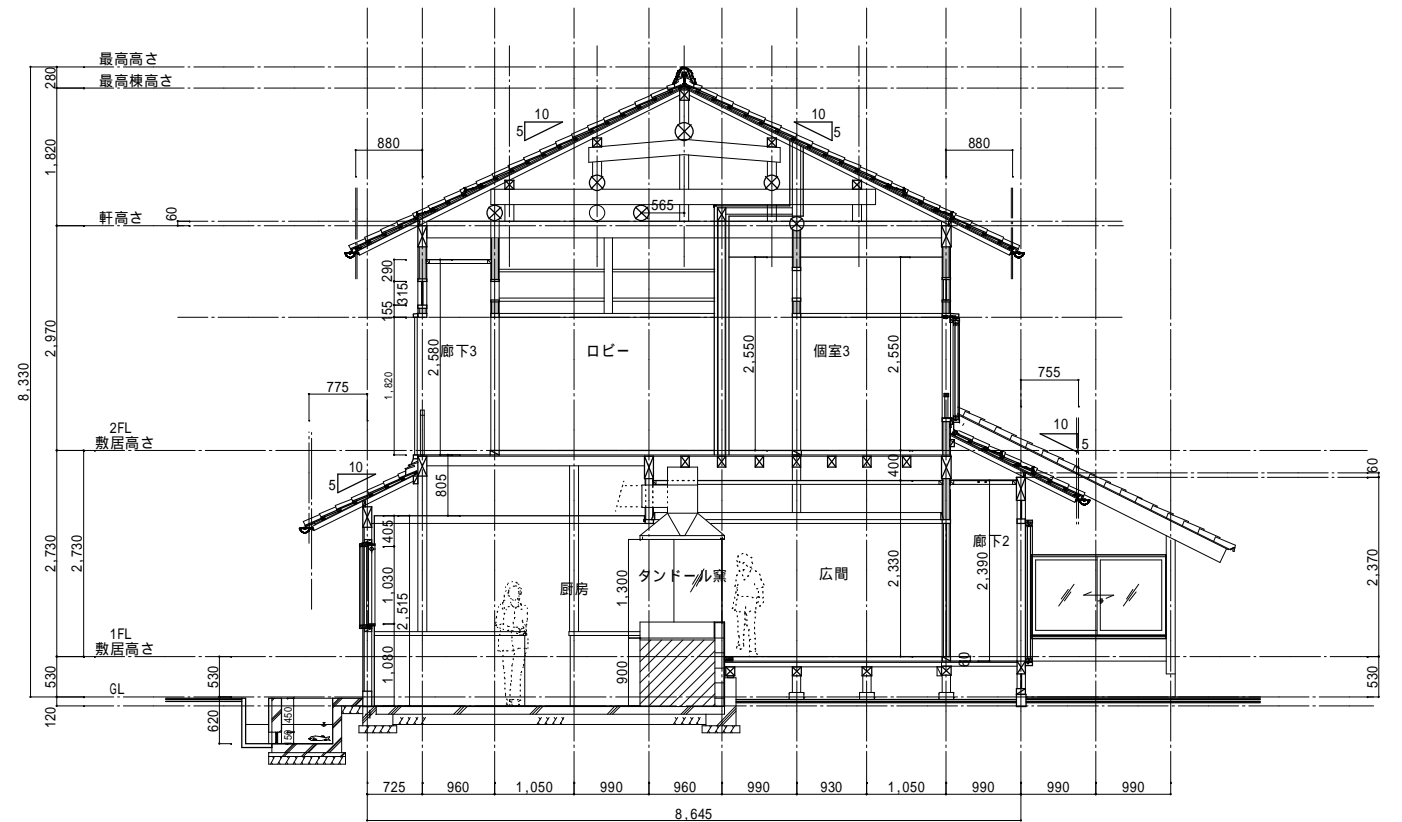
1/50(A1)
1/100(A3)

A014



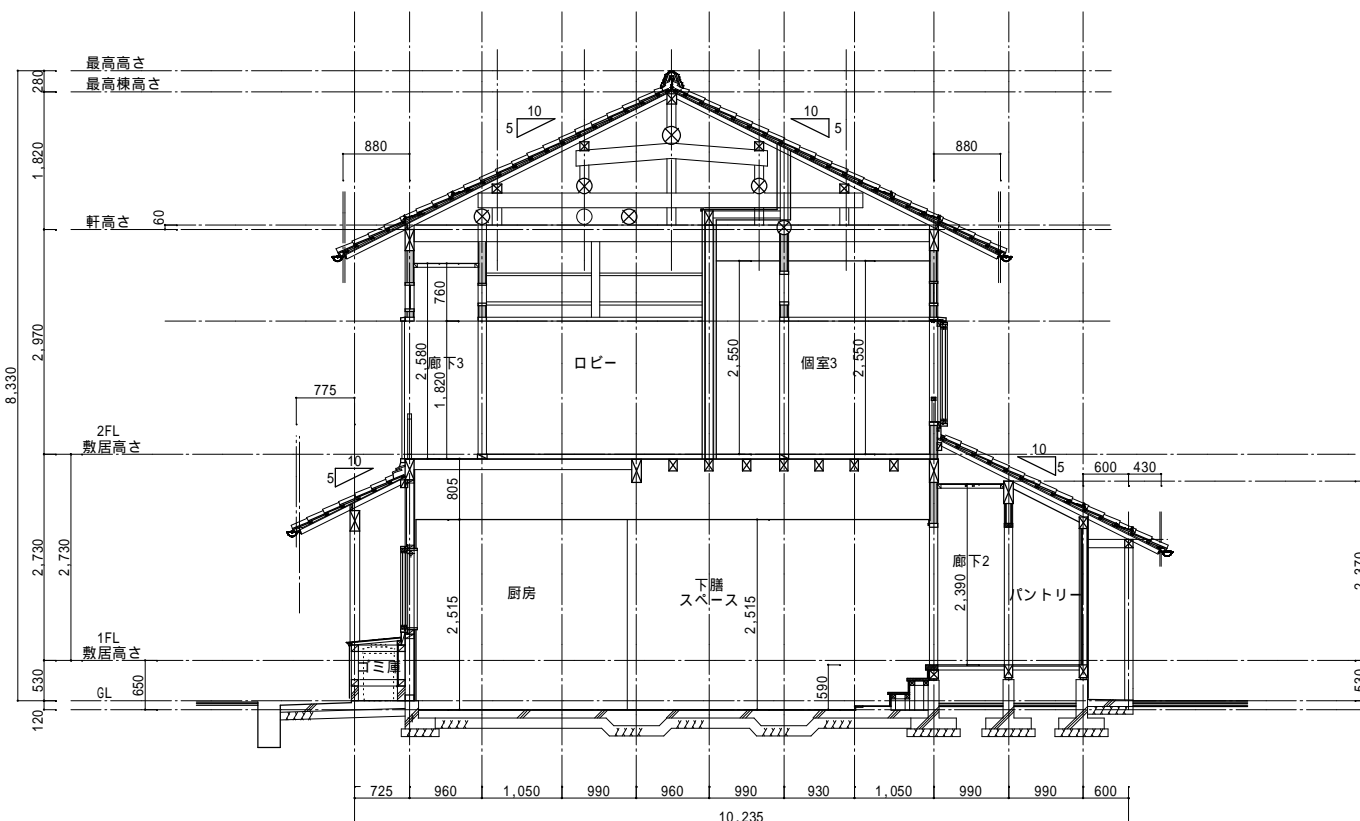
Y1 Y2 Y3 Y4 Y5 Y6 Y7 Y8 Y9 Y10 Y11 Y12

X4-X5通り間



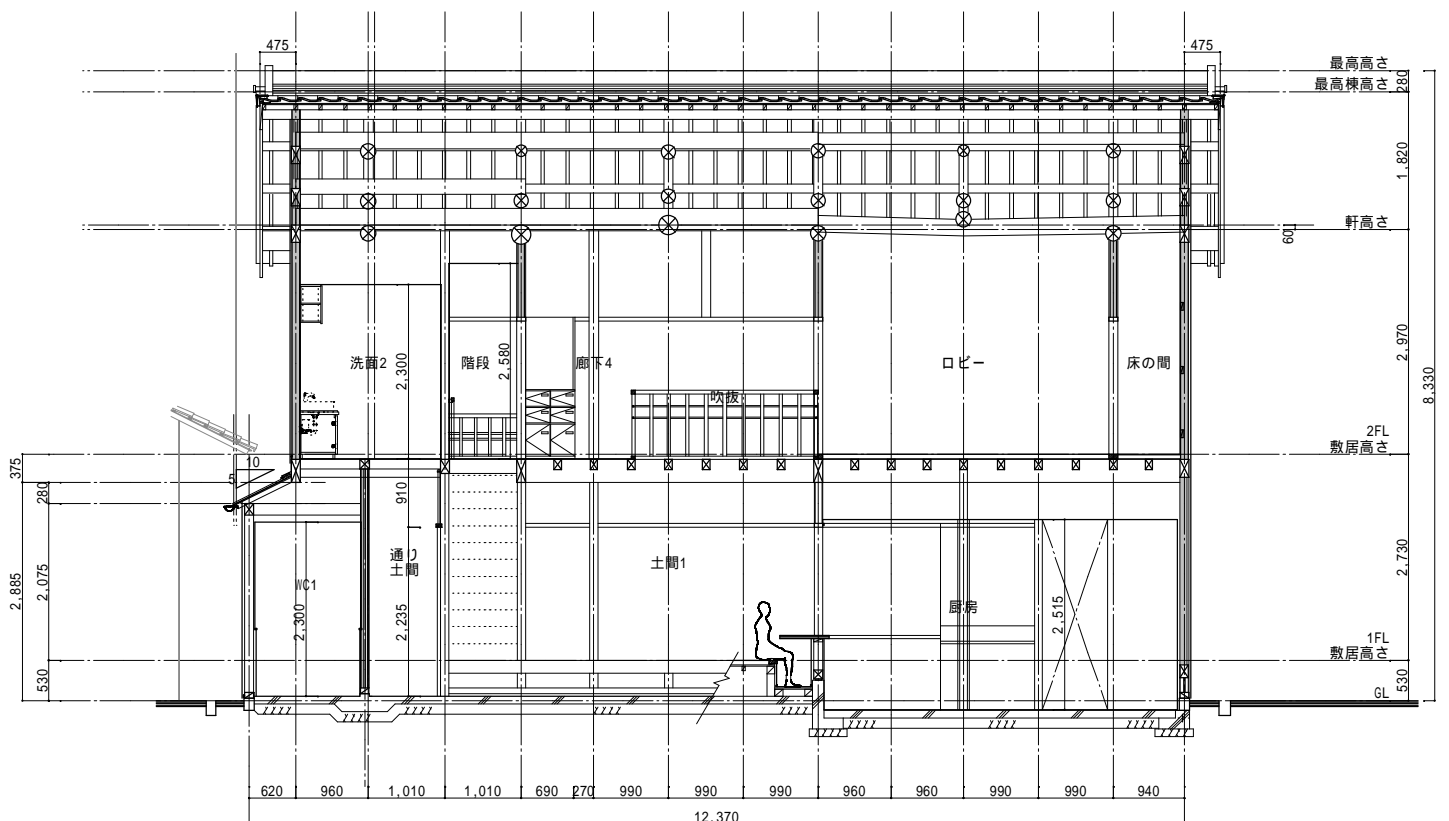
Y1 Y2 Y3 Y4 Y5 Y6 Y7 Y8 Y9 Y10 Y11 Y12

X11-X12通り間



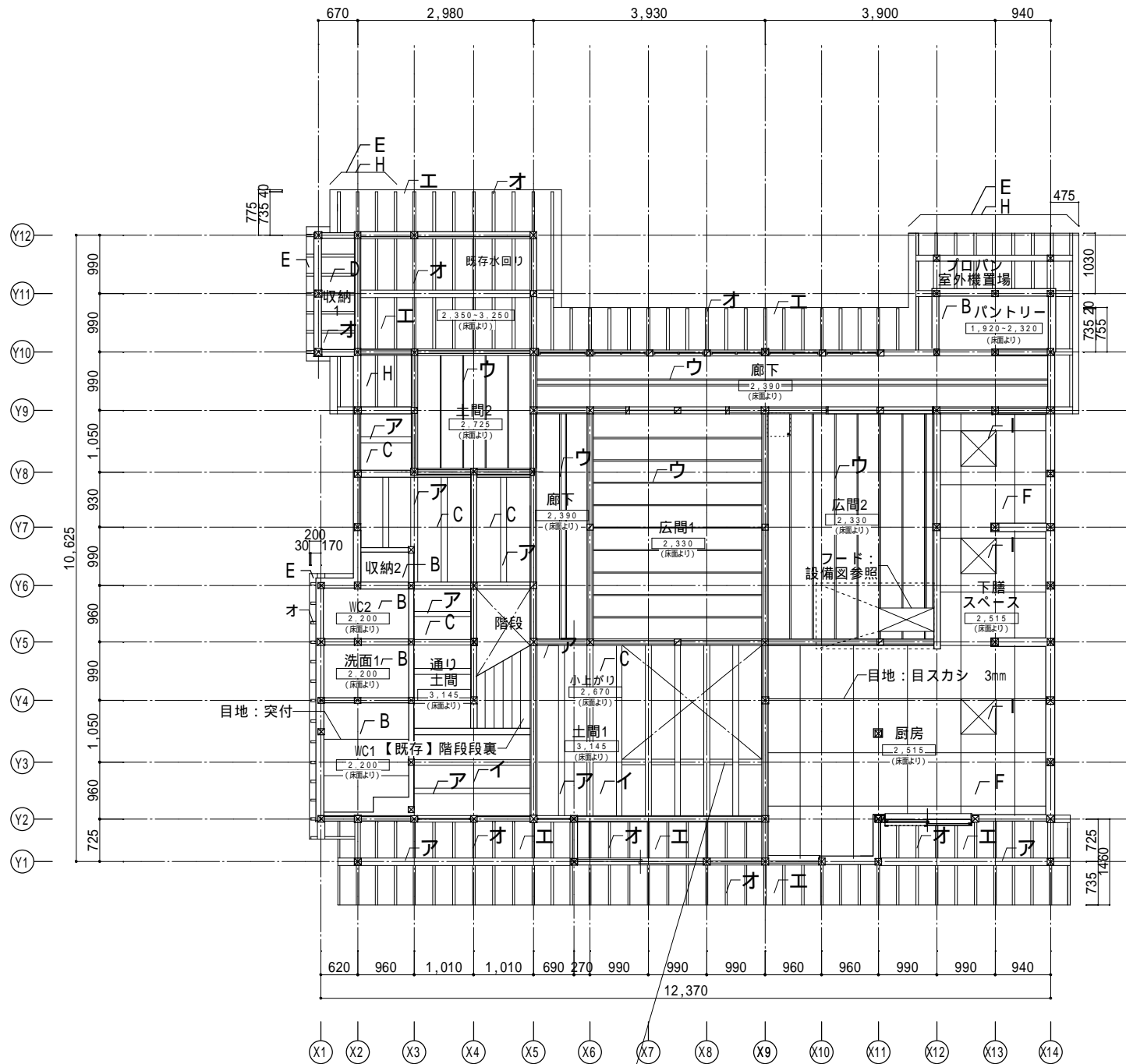
Y1 Y2 Y3 Y4 Y5 Y6 Y7 Y8 Y9 Y10 Y11

X12-13通り間



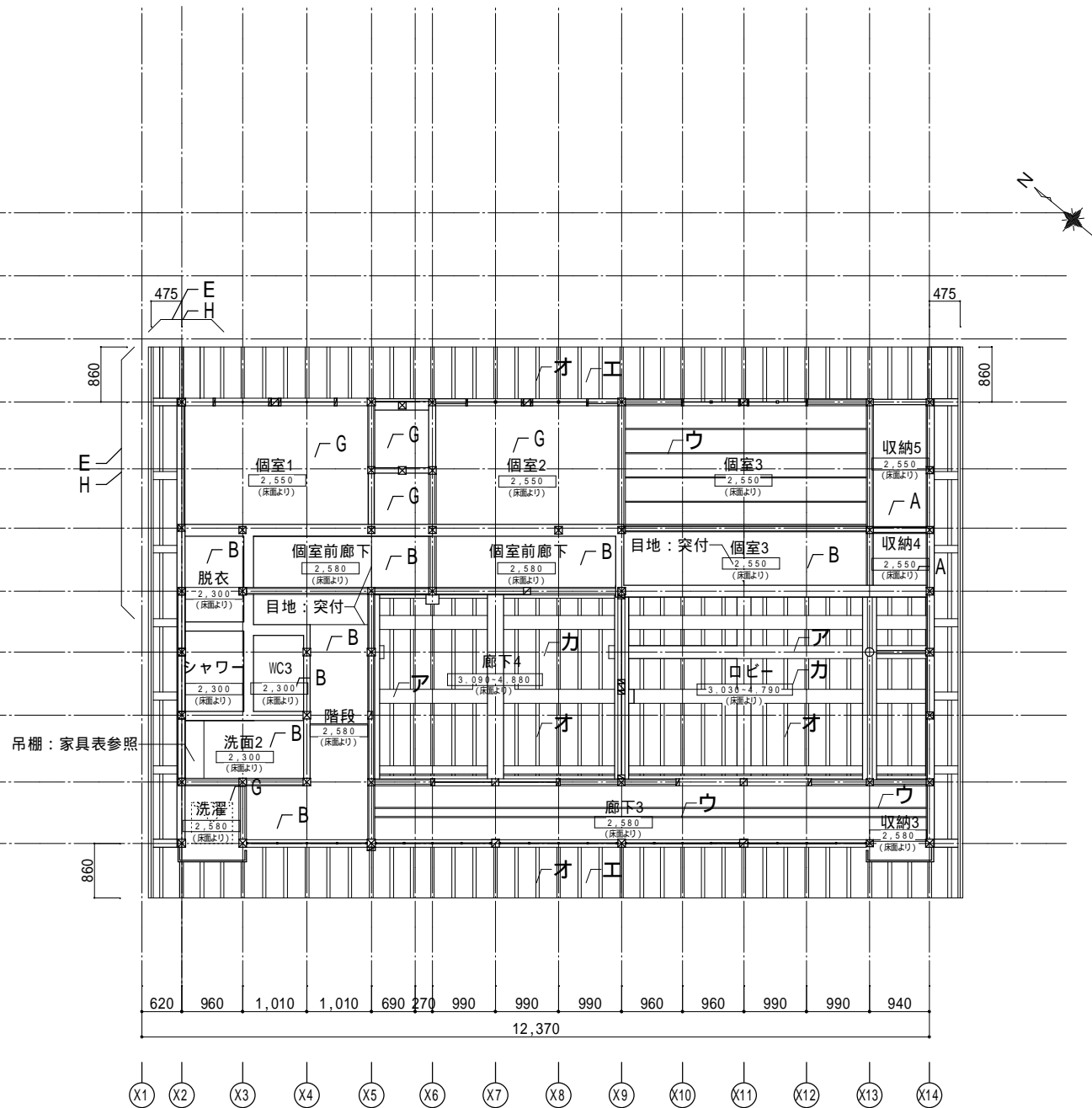
X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14

Y3-Y4通り間



【新設】梁： 105 OSM塗

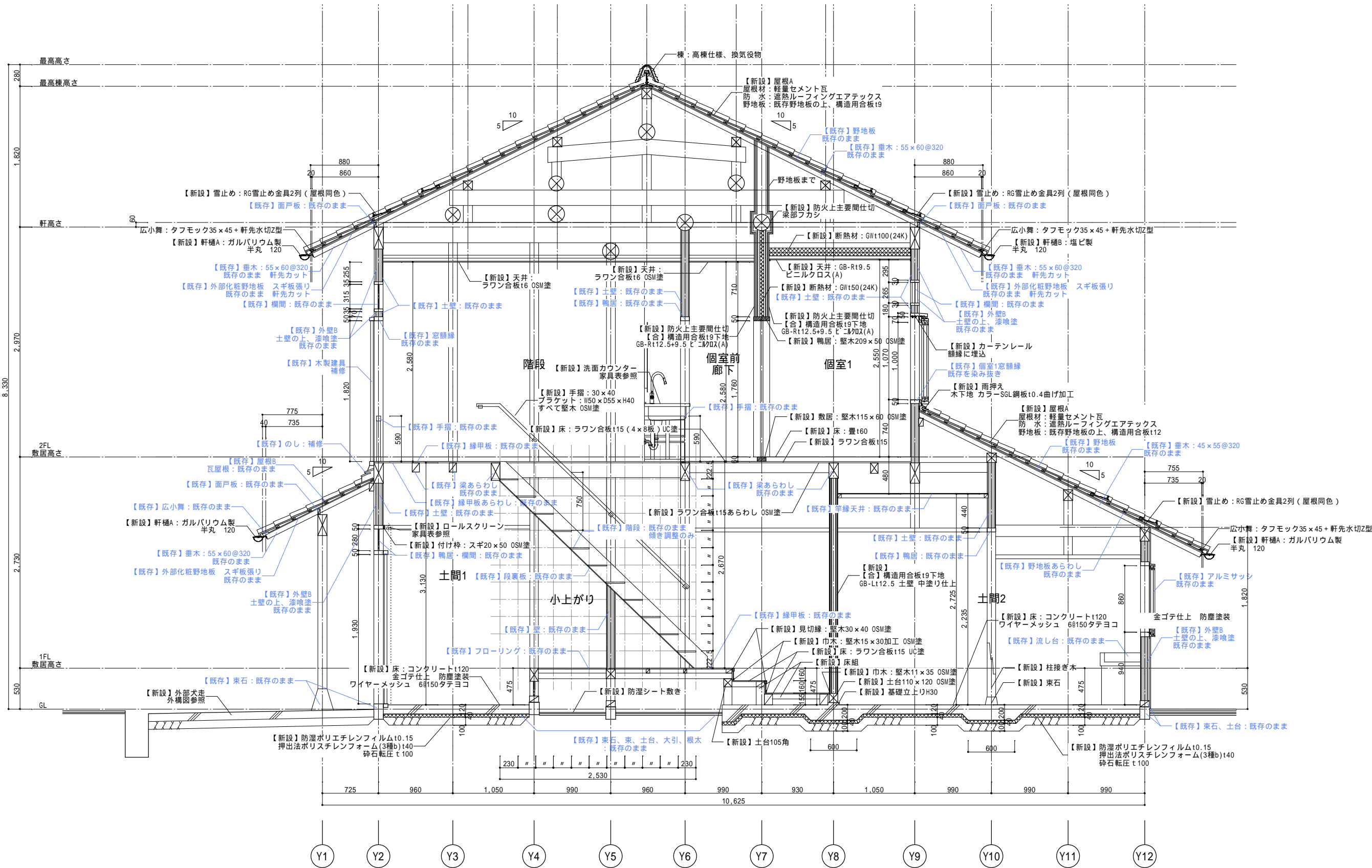
1階天井伏図

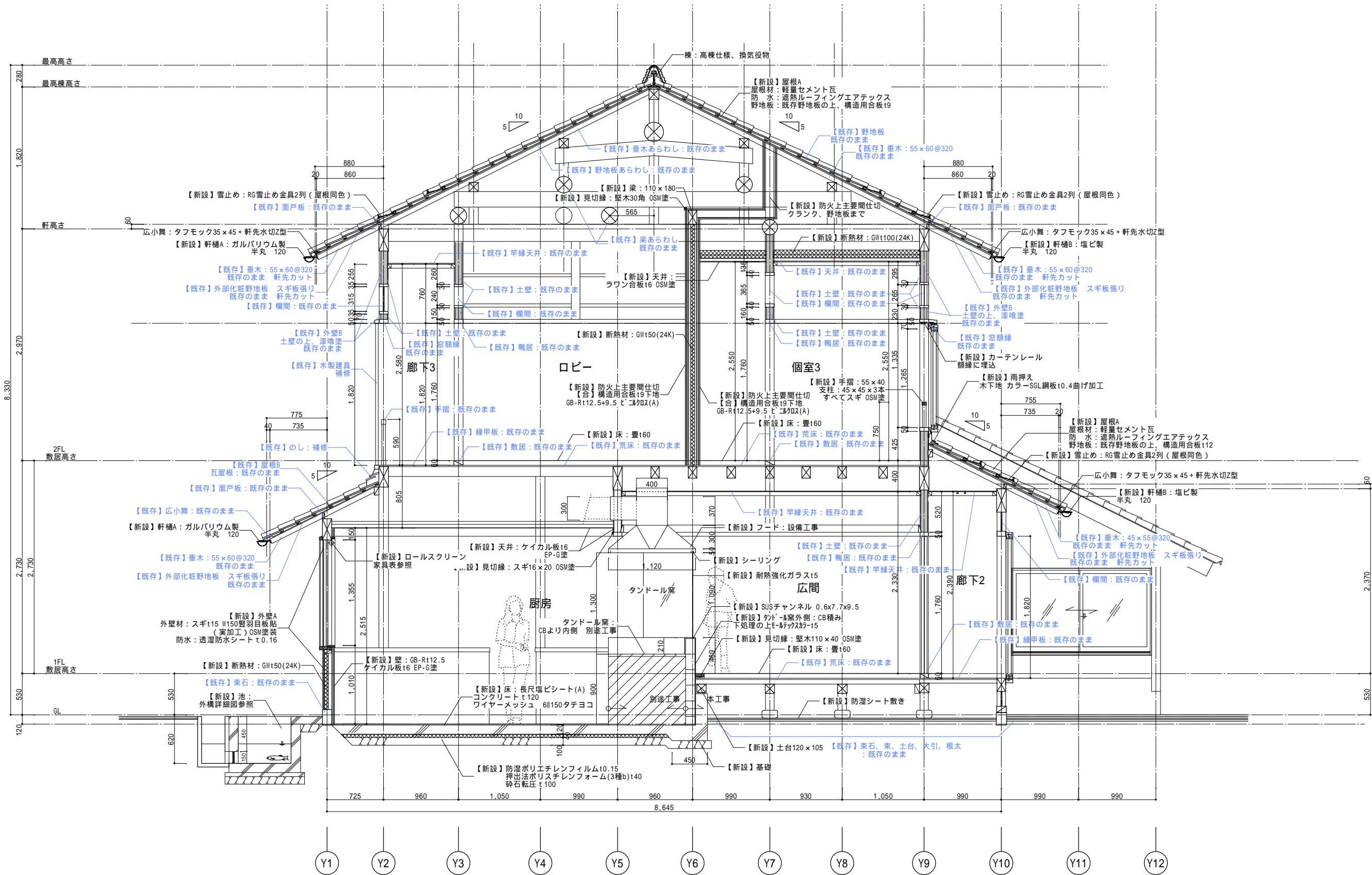


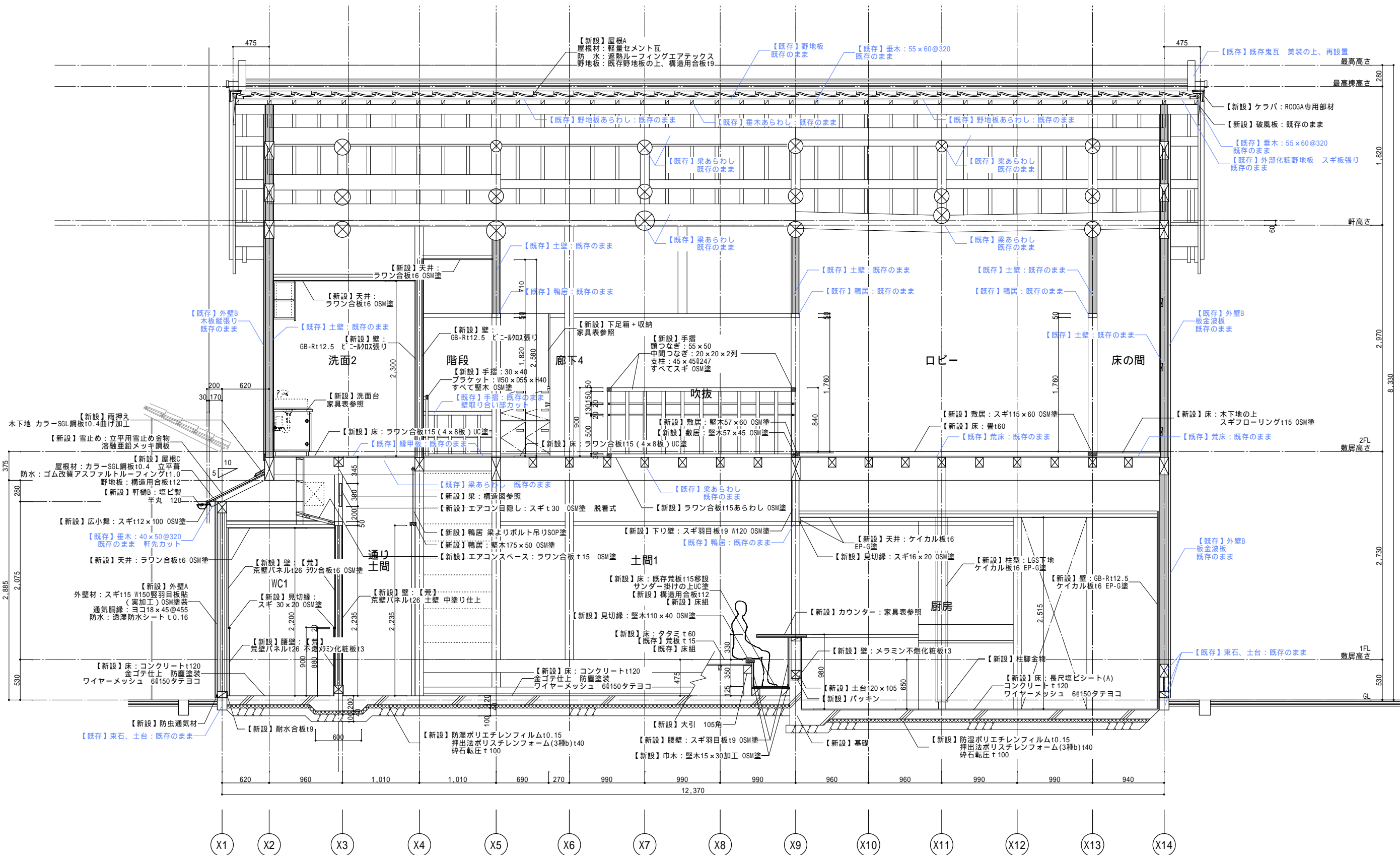
2階天井伏図

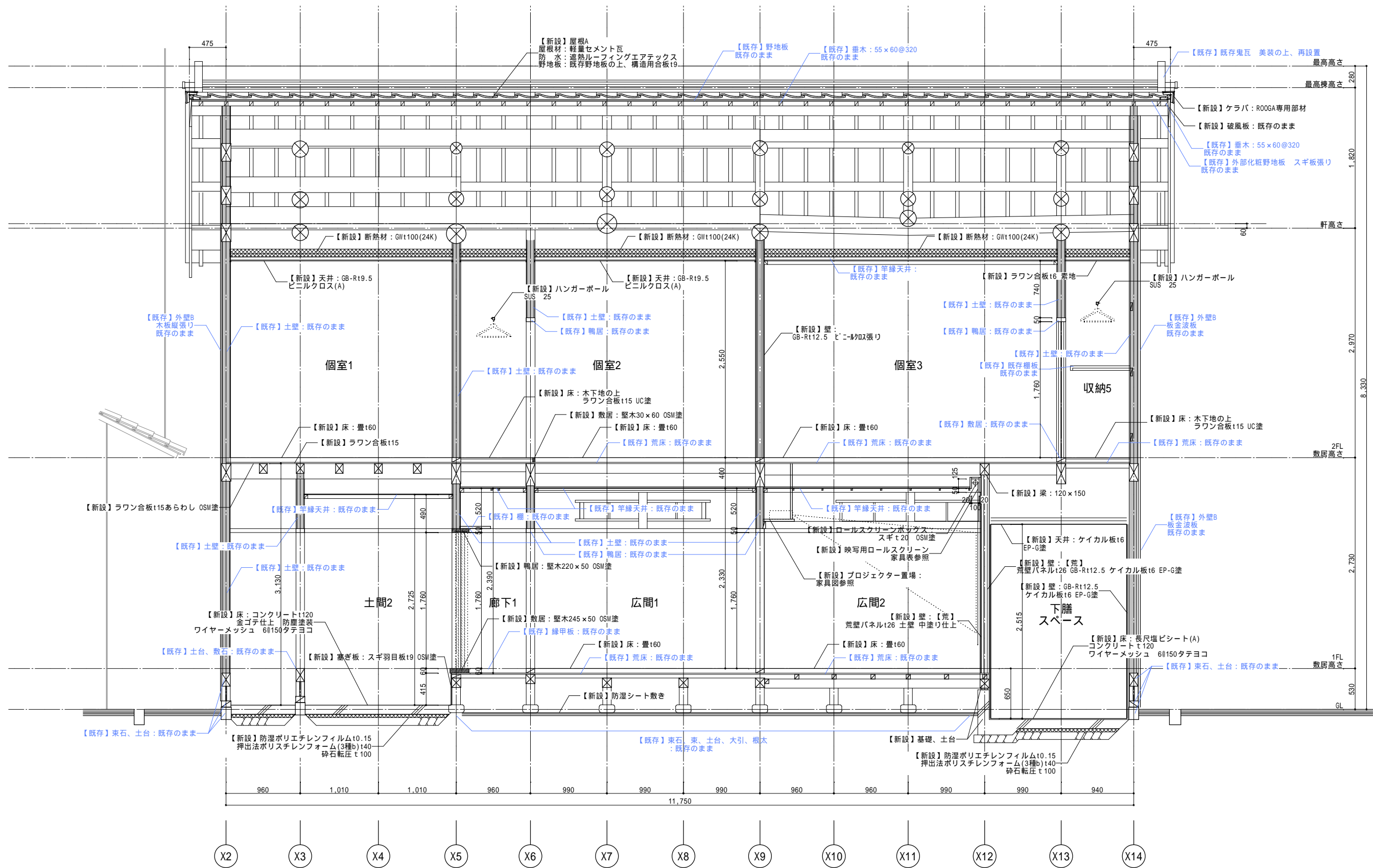
凡例

記号	仕上
A	ラワン合板 t6 素地
B	ラワン合板 t6 OSM塗 (目地突付)
C	ラワン合板 t15 現し OSM塗
D	構造用合板 t12 現し
E	構造用合板 t12 現し OSM塗
F	ケイカル板t6 EP-G塗
G	GB-R t9.5 ビニルクロス (A)
H	【新設】垂木現し OSM塗
I	【新設】天井点検口目地タイプ 600×600
ア	【既存のまま】梁現し
イ	【既存のまま】上階線甲板現し
ウ	【既存のまま】竿線天井現し
エ	【既存のまま】荒板現し
オ	【既存のまま】垂木現し
カ	既存荒板の上構造用合板素地

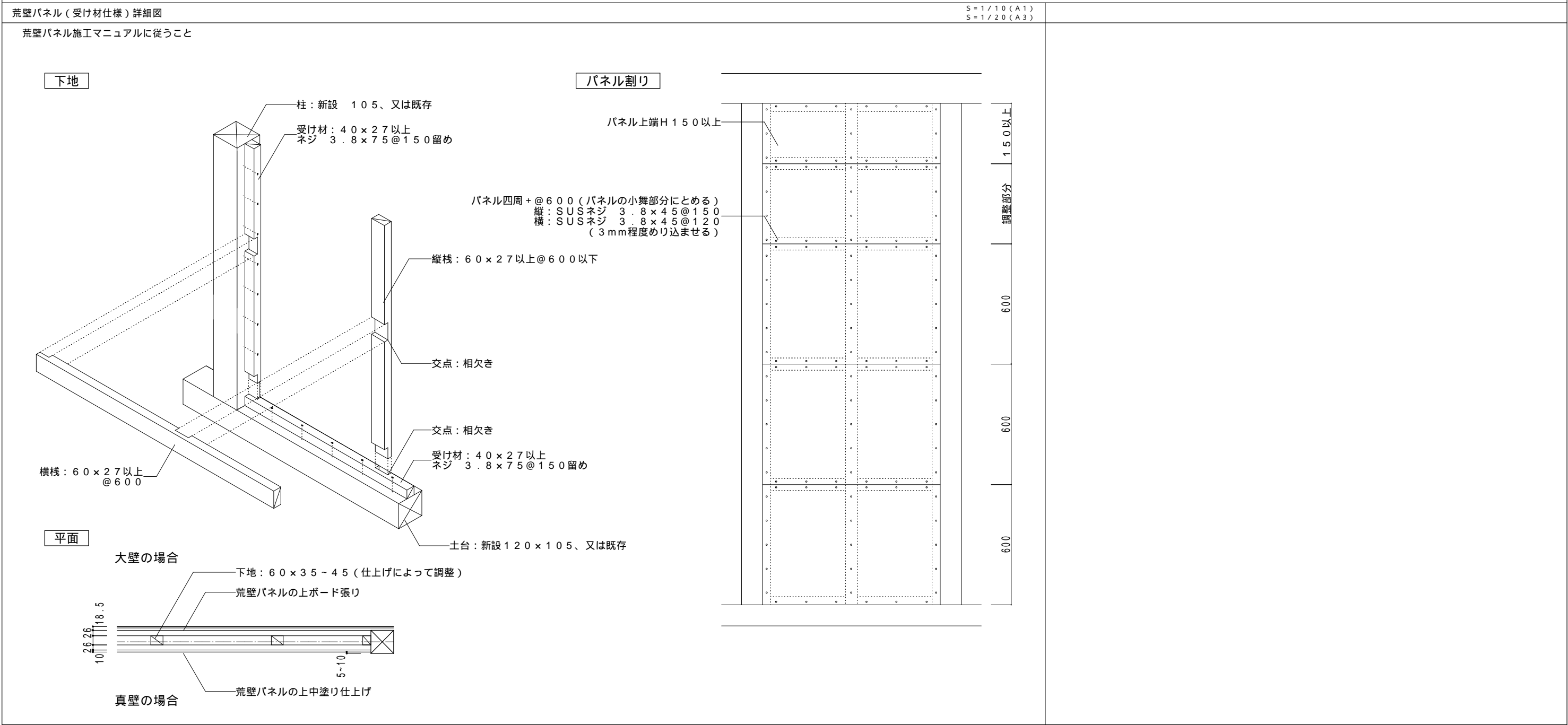


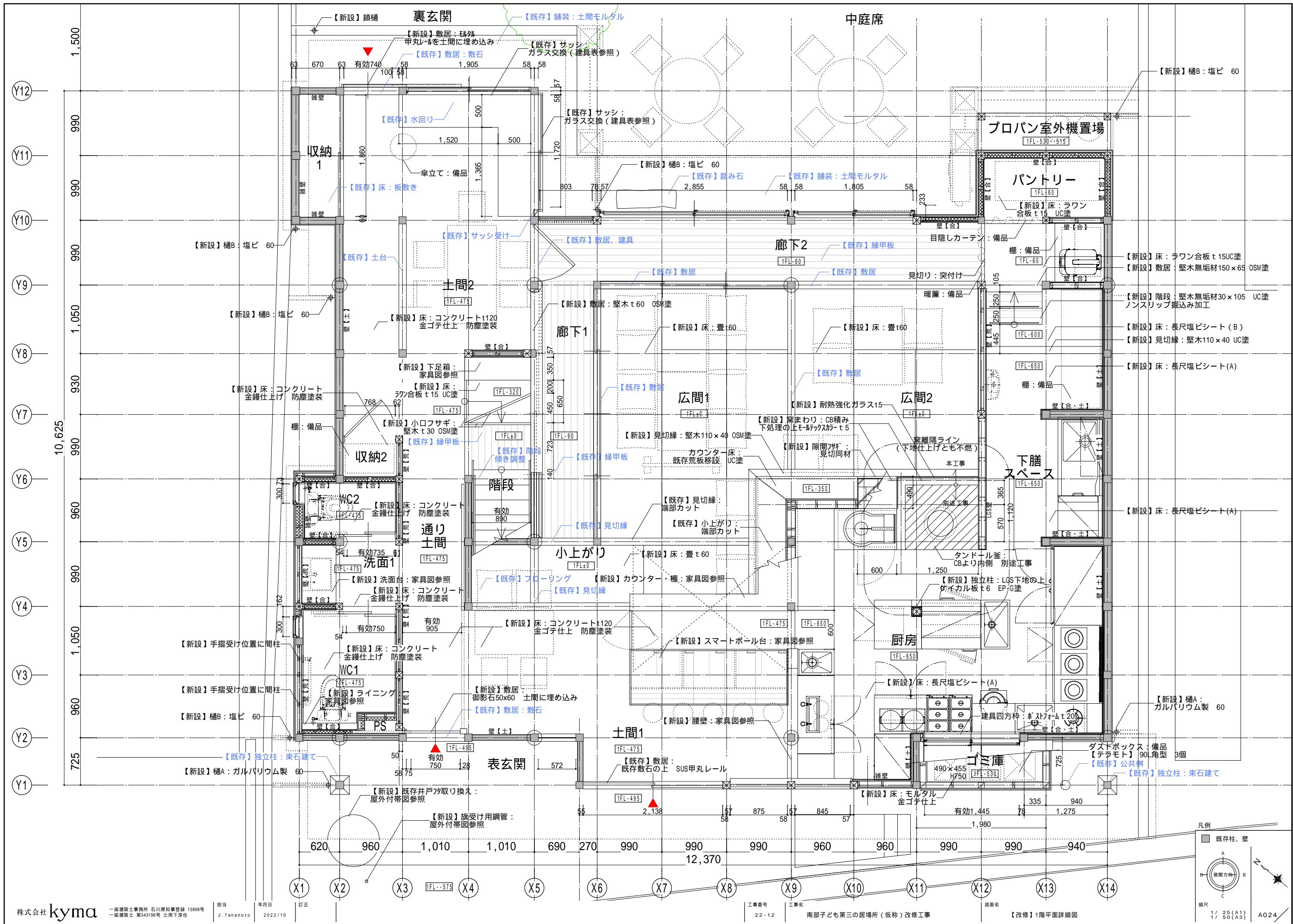


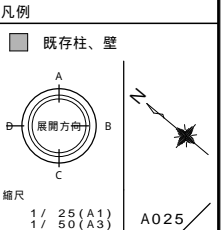




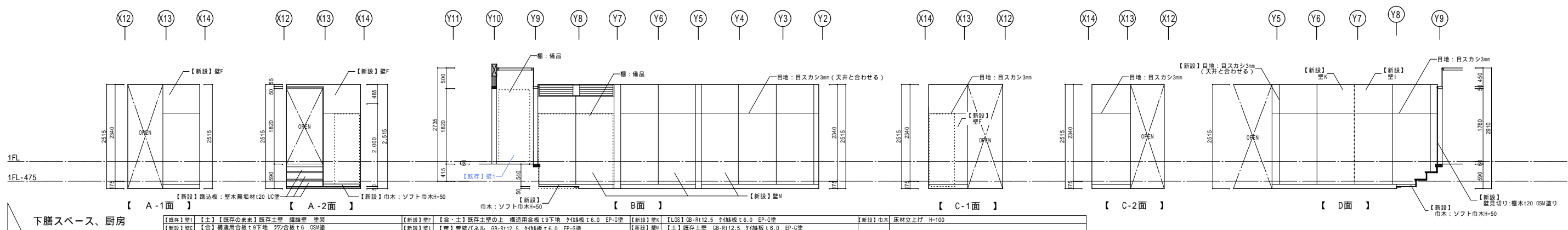
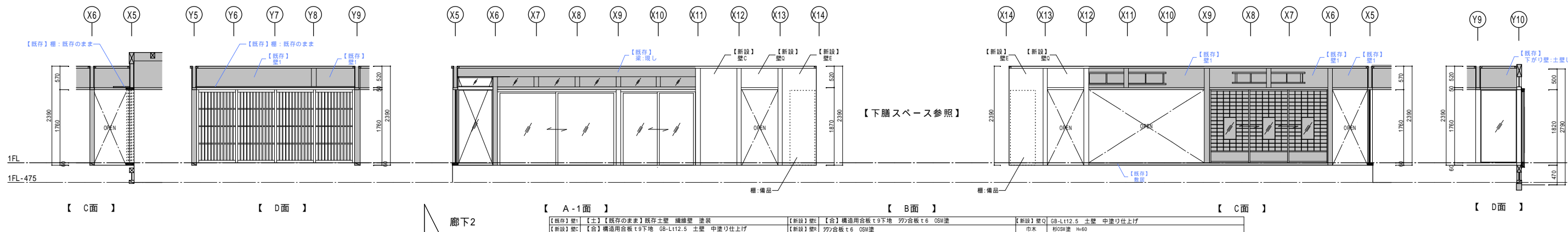
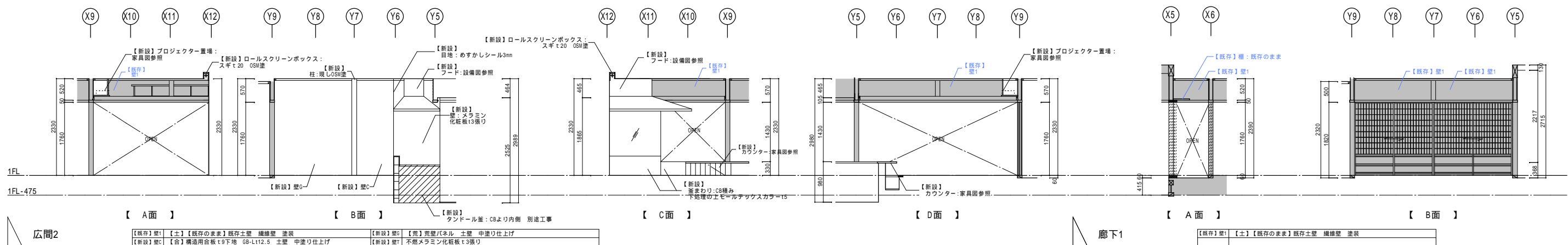
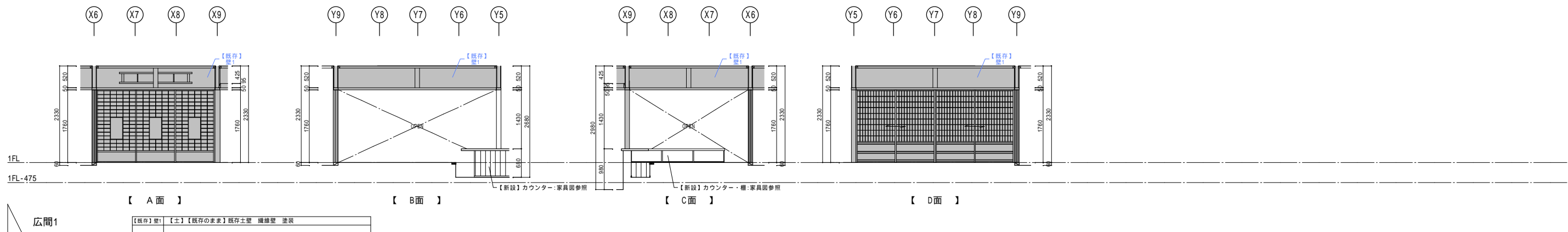
<div>屋根 A 換気役物部納まり詳細図</div> <div>S=1/5(A1) S=1/10(A3)</div> <div><div>木造 - 合板下地・桟木工法（高棟仕様）</div><div><div>下地：タフモック 35×45</div><div>棟桟受け金具： H110～140</div><div>頂部：役物ビスL115</div><div>換気用棟包（ROOGA部材）</div><div>捨て水切</div><div>捨て水切下地：タフモック15×30</div><div>防水シーラー （ROOGA 雅用）</div><div>軽量瓦：ROOGA 雅</div><div>防水：屋根用遮熱・透湿・防水シート</div><div>野地板：構造用合板t9</div><div>【既存】野地板：荒板12×70@150</div><div>【既存】垂木：55×60@320</div><div>【既存】棟木：125×130</div></div><div><div>：【既存】を示す</div><div>その他特記なき限り【新設】</div></div></div>	<div>個室1、2、3 サッシまわり詳細図（平断面）</div> <div>S=1/5(A1) S=1/10(A3)</div> <div><div><div>スキマフサギ： スギt20 OSM塗</div><div>建具枠まわり：シール</div><div>【既存】木枠</div><div>手摺：55×40 すべてスギ OSM塗</div><div>サッシ受け材：40×40</div></div><div><div>：【既存】を示す</div><div>その他特記なき限り【新設】</div></div></div>	<div>個室1、2、3 サッシまわり詳細図（縦断面）</div> <div>S=1/5(A1) S=1/10(A3)</div> <div><div><div>建具枠まわり：シール</div><div>スキマフサギ： スギt20 OSM塗</div><div>カーテンレール： 既存敷居溝 埋込み</div><div>カーテン：家具図参照</div><div>サッシ受け：40×70</div></div><div><div>：【既存】を示す</div><div>その他特記なき限り【新設】</div></div></div>
<div>屋根 A けらば部詳細図</div> <div>S=1/5(A1) S=1/10(A3)</div> <div><div><div>けらば捨て水切H55</div><div>タフモック15×30</div><div>防水：屋根用 遮熱・透湿・防水シート</div><div>野地板：構造用合板t9</div><div>防水シーラー30×20</div><div>タフモック35×45</div><div>タフモック18×45</div><div>けらば（ROOGA部材）</div><div>【既存】野地板：荒板12×70@150</div><div>【既存】垂木：55×60@320</div><div>破風板：スギt30×350 2段 テーパー OSM塗 （既存同寸法に取り換え）</div></div><div><div>：【既存】を示す</div><div>その他特記なき限り【新設】</div></div></div>	<div>屋根 A 片流れ平棟部詳細図</div> <div>S=1/5(A1) S=1/10(A3)</div> <div><div><div>防水テープ100×20M</div><div>タフモック35×45</div><div>乾式自在面戸W</div><div>シーリング（10程度）</div><div>高さ調整用桟木</div><div>軽量瓦：ROOGA 雅</div><div>片流れ用破風カバー水切り</div><div>棟包（ROOGA部材）</div><div>下地桟</div><div>高さ調整材</div><div>鼻隠し下地</div><div>鼻隠し：スギ25×150 OSM塗</div></div><div><div>：【既存】を示す</div><div>その他特記なき限り【新設】</div></div></div>	<div>屋根 A 壁取合い部（サッシまわり）詳細図</div> <div>S=1/5(A1) S=1/10(A3)</div> <div><div><div>サッシ受け材：30×80</div><div>【撤去】既存木枠：下のみ撤去</div><div>建具枠まわり：四周防水テープ</div><div>雨押え：板金曲げ加工</div><div>乾式自在面戸W シーリング（10程度）</div><div>瓦桟木固定用ステンシル釘</div><div>高さ調整用桟木</div><div>置寄せ</div><div>量：t60</div></div><div><div>：【既存】を示す</div><div>その他特記なき限り【新設】</div></div></div>
<div>屋根 A 軒先詳細図</div> <div>S=1/5(A1) S=1/10(A3)</div> <div><div><div>軽量瓦：ROOGA 雅</div><div>防水：屋根用遮熱・透湿・防水シート</div><div>野地板：構造用合板t9</div><div>広小舞固定用ステンシル釘</div><div>雅用軒先面戸W</div><div>広小舞：タフモック35×45</div><div>【既存】化粧野地板： スギ板張り （腐食部取り換え）</div><div>【既存】垂木： 55×60@320</div><div>軒先水切Z型</div><div>軒樋：半丸 120</div></div><div><div>：【既存】を示す</div><div>その他特記なき限り【新設】</div></div></div>		<div>屋根 A 壁取合い部詳細図</div> <div>S=1/5(A1) S=1/10(A3)</div> <div><div><div>笠木板金：板金曲げ加工</div><div>シール保護笠木：20×20加工</div><div>三角シール</div><div>雨押え：板金曲げ加工</div><div>軽量瓦：ROOGA 雅</div><div>防水：屋根用 遮熱・透湿・防水シート 立上げ</div><div>瓦桟木固定用ステンシル釘</div><div>高さ調整用桟木</div><div>置寄せ</div><div>量：t60</div></div><div><div>：【既存】を示す</div><div>その他特記なき限り【新設】</div></div></div>
株式会社 kyma <div>一級建築士事務所 石川県知事登録 13898号 一級建築士 第343196号 土用下厚也</div> <div>担当 J.Yamanoto</div> <div>年月日 2022/10</div> <div>訂正</div>	工事番号 22-12 工事名 南部子ども第三の居場所（仮称）改修工事	図面名 【改修】部分詳細図 1 縮尺 図示 A022







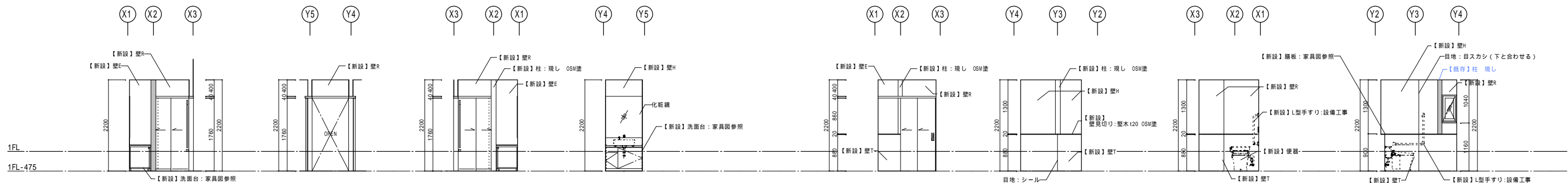
：【既存】を示す



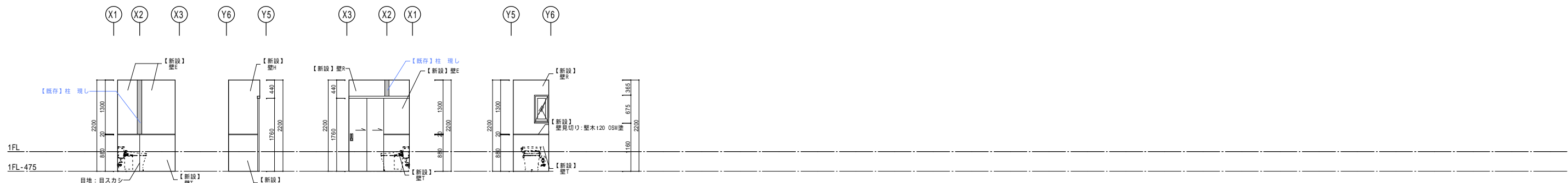
：【既存】を示す



【 A 面 】		【 B 面 】		【 C 面 】		【 D 面 】	
【新設】壁E	【合】構造用合板 t9 下地	【合】構造用合板 t6	OSW 塗	【新設】壁R	【合】構造用合板 t6	OSW 塗	
【新設】巾木	スズ	OSW 塗	H=60	【新設】壁T	不燃メラミン化粧板 t3 張り	【新設】壁T	不燃メラミン化粧板 t3 張り

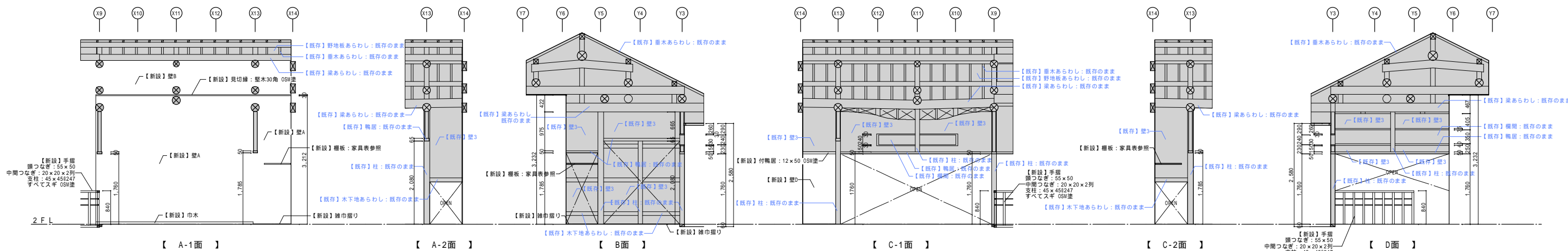


【 A 面 】		【 B 面 】		【 C 面 】		【 D 面 】	
【新設】壁E	【合】構造用合板 t9 下地	【合】構造用合板 t6	OSW 塗	【新設】壁R	【合】構造用合板 t6	OSW 塗	
【新設】壁H	【荒】荒壁パネル	【合】構造用合板 t6	OSW 塗	【新設】壁T	不燃メラミン化粧板 t3 張り	【新設】壁T	不燃メラミン化粧板 t3 張り



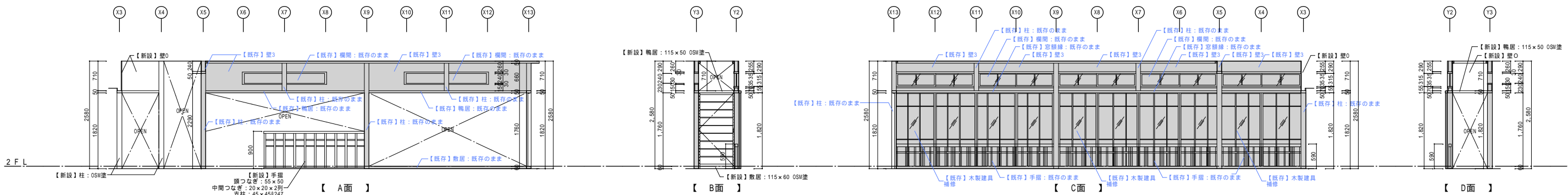
【 A 面 】		【 B 面 】		【 C 面 】		【 D 面 】	
【新設】壁E	【合】構造用合板 t9 下地	【合】構造用合板 t6	OSW 塗	【新設】壁R	【合】構造用合板 t6	OSW 塗	
【新設】壁H	【荒】荒壁パネル	【合】構造用合板 t6	OSW 塗	【新設】壁T	不燃メラミン化粧板 t3 張り	【新設】壁T	不燃メラミン化粧板 t3 張り

【既存】を示す



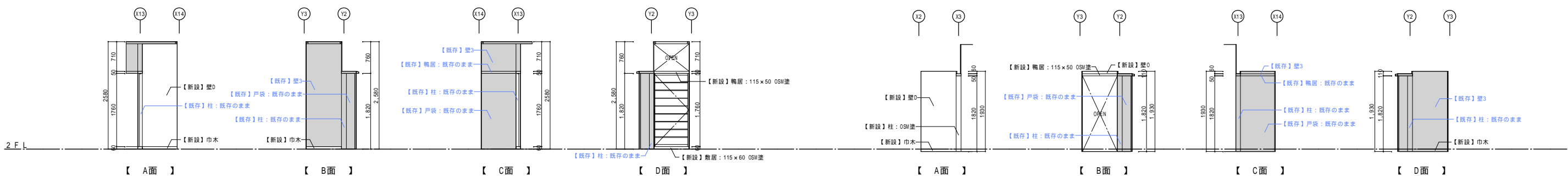
ロビー

【既存】壁3	【土】【既存】既存土壁 荒壁仕上げ	【新設】壁D	【合】構造用合板 t9下地 GB-R112.5 ビニル加工張り
【新設】壁A	【防・合】構造用合板 t9下地 GB-R112.5+9.5 ビニル加工張り	巾木	スギH60 OSM塗
【新設】壁B	【防】GB-R112.5+9.5 ビニル加工張り	袖巾張り	スギ10角 OSM塗



廊下3

【既存】壁3	【土】【既存】既存土壁 荒壁仕上げ
【新設】壁D	GB-R112.5 ビニル加工張り



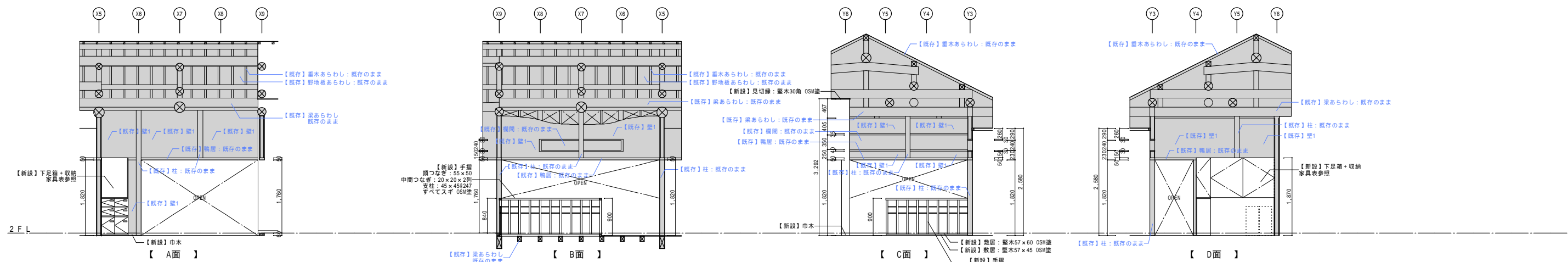
収納3

【既存】壁3	【土】【既存】既存土壁 荒壁仕上げ
【新設】壁D	【合】構造用合板 t9下地 GB-R112.5 ビニル加工張り
巾木	スギH60 OSM塗

洗濯

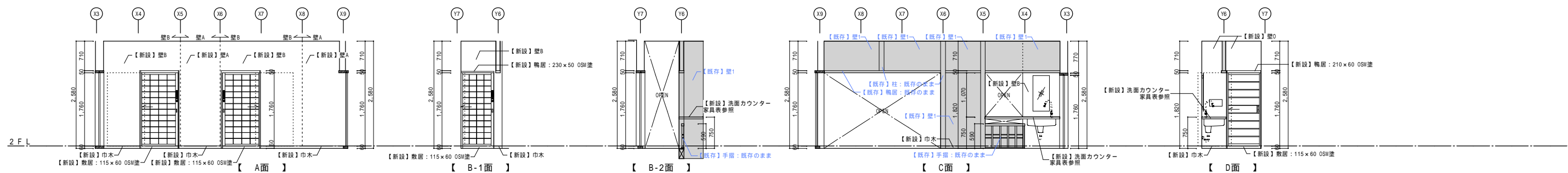
【既存】壁3	【土】【既存】既存土壁 荒壁仕上げ
【新設】壁D	【合】構造用合板 t9下地 GB-R112.5 ビニル加工張り
【新設】壁O	GB-R112.5 ビニル加工張り
巾木	スギH60 OSM塗

：【既存】を示す



廊下4

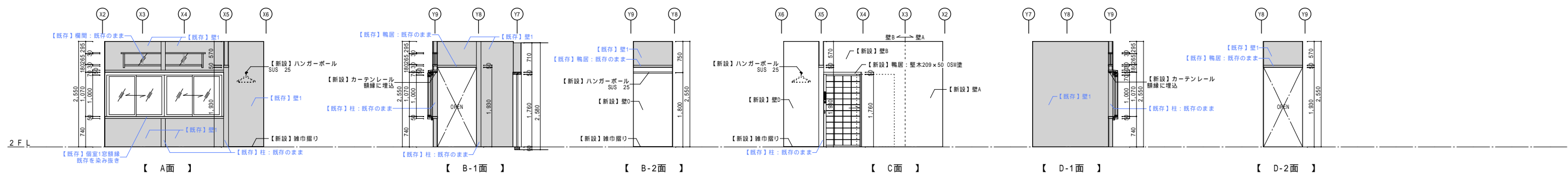
【既存】壁1	【土】【既存のまま】既存土壁 編織壁 塗装
巾木	スチH60 OSM塗



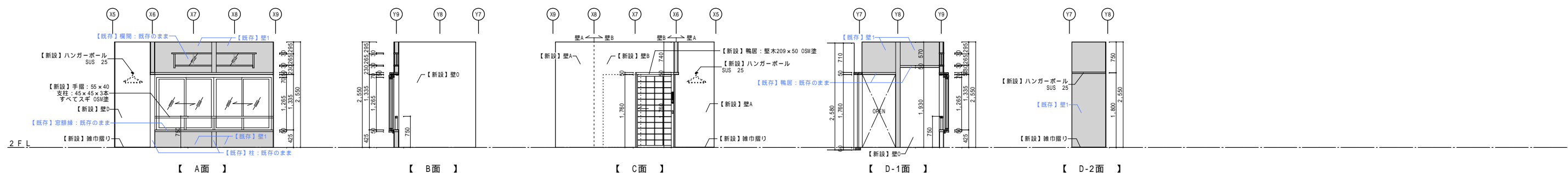
個室前廊下

【既存】壁1	【土】【既存のまま】既存土壁 編織壁 塗装	【新設】壁O	GB-R112.5 t'ニ鈎取張り
【新設】壁A	【防・食】構造用合板t9下地 GB-R112.5+9.5 t'ニ鈎取張り		
【新設】壁B	【防】GB-R112.5+9.5 t'ニ鈎取張り	巾木	スチH60 OSM塗

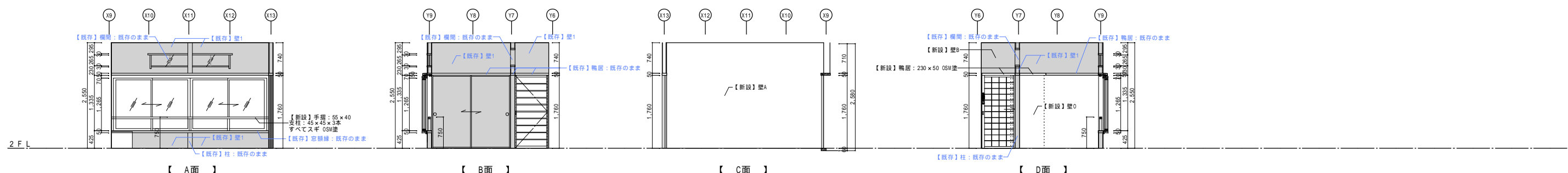
: 【既存】を示す



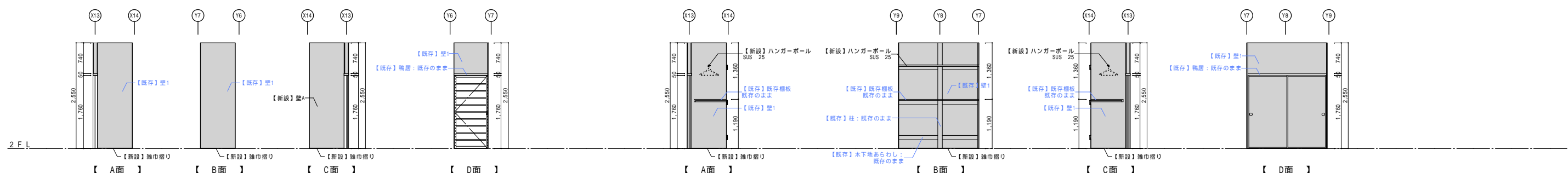
個室1	【既存】壁1	【土】【既存のまま】既存土壁 横壁壁 塗装	【新設】壁0	【合】構造用合板t9下地 G8-R12.5 5'c・t40吸張り
	【新設】壁A	【防・合】構造用合板t9下地 G8-R12.5+9.5 5'c・t40吸張り	【新設】壁0	G8-R12.5 5'c・t40吸張り
	【新設】壁B	【防】G8-R12.5+9.5 5'c・t40吸張り	雑巾張り	スギ10角 OSU巻



個室2	【既存】壁①	【土】【既存のまま】既存土壁 基礎壁 塗装	【新設】壁②	【合】構造用合板 t9下地 G8・R12.5 5'×6'切取張り
	【新設】壁A	【防・合】構造用合板 t9下地 G8・R12.5・9.5 5'×6'切取張り	【新設】壁③	G8・R12.5 5'×6'切取張り
	【新設】壁B	【防】G8・R12.5・9.5 5'×6'切取張り	断熱躯体	スチロール GSN 断熱



個室3	【既存】壁1	【土】【既存のまま】既存土壁 横線壁 塗装	【新設】壁0	【合】構造用合板 t9下地 GB-R12.5 6'2"-400取張り
	【新設】壁A	【防・合】構造用合板 t9下地 GB-R12.540.5 6'2"取張り	【新設】壁0	GB-R12.5 6'2"-400取張り
	【新設】壁B	【防】GB-R12.540.5 6'2"取張り		

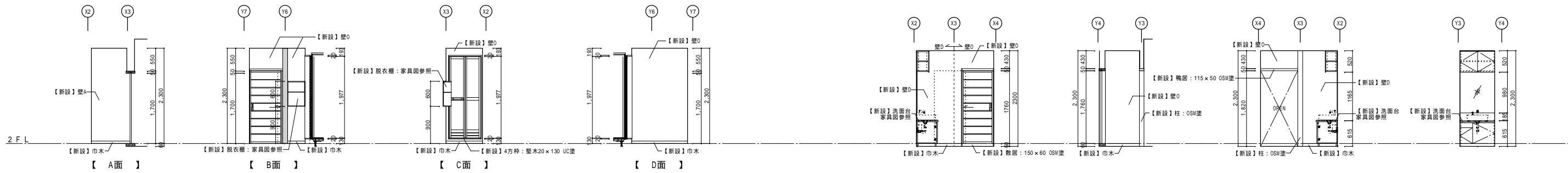


<div> <div>収納4</div> </div>	【既存】壁1	【土】【既存のまま】既存土壁 繊維壁 塗装
	【新設】壁A	【防・倉】構造用合板 t9下地 GB-R112.5+9.5 ビニル吸張り

収納5

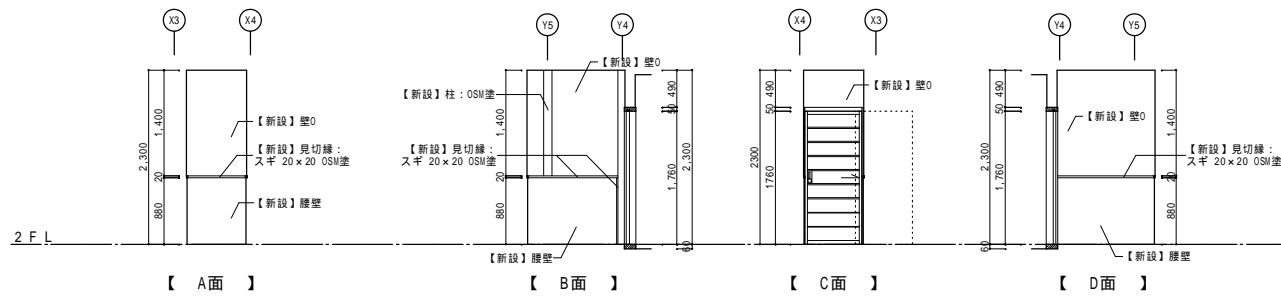
【既存】壁1	【土】【既存のまま】既存土壁 編織壁 塗装
壁巾扉口	アボ10角 OSB造

：【既存】を示す

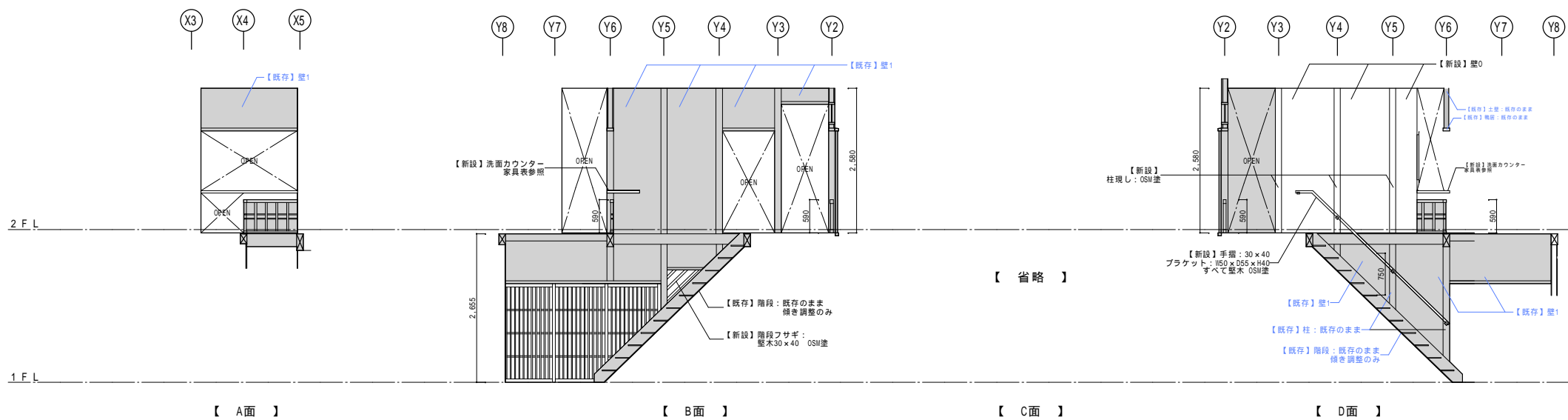


脱衣	【新設】壁A	【防・合】構造用合板 ± 9 下地 GB-R112.5 $\times 9.5$ ϵ - β 切取張り
	【新設】壁D	GB-R112.5 ϵ - β 切取張り
	巾木	スギH60 OSM塗

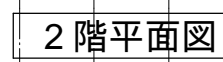
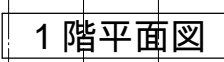
洗面2	【新設】壁D	【合】構造用合板 ± 9 下地 GB-R112.5 ϵ - β 切取張り
	【新設】壁D	GB-R112.5 ϵ - β 切取張り
	巾木	スギH60 OSM塗



WC3	【新設】壁D	GB-R112.5 ϵ - β 切取張り
	壁壁	不燃 γ 2化紙板 $\epsilon 3$ 張り H880



階段	【既存】壁	【土】【既存のまま】既存土壁 横壁壁 塗装
	【新設】壁D	GB-R112.5 ϵ - β 切取張り



特記事項

- 1) 本工事に於いては、製作図作成の上、係員の承認を受けること。
又、係員が必要と認めるものについては、試作品を製作し検討すること。
- 2) 図中の寸法は概略寸法である為、上記について、係員の承認を受けること。
- 3) 製作にあたっては、請負者・専門業者連名の施工受渡書、性能書を提出し、係員の承認をうけること。
- 4) 建具金物は全て見本品を提出し、係員の承認を受ける事。
- 5) A T (防音) ・仕様セミ A T 仕様の防音席については、4 方枠にネオブレンゴム戸当りを施工し、フラッシュ内部にはロックウール充填 (8 0 kg / m³) する事。
- 6) A T 仕様の防音席は、3 点締りすること。又、建込み後の総合性能は、J I S の T - 2 等級とする。
所要通音性能が満足されず支障のある場合は、速やかに改修する事。
改修内容については、係員の承認を受ける事。
- 7) 錠のバックセットは原則として 6 4 mm 以上とする。
- 8) 外部ガラリ開口率は、特記ない限り 3 5 % とし、防虫網 (グラスロン、
又、風圧などを考慮し、必要に応じて力骨等で補強のこと。
- 9) 内部ガラリの開口率は、特記のない限り 5 0 % とする。
- 1 0) ガラリにダクトが接続する場合は、ダクト接続フランジ付 (L - 3 0 x 3 0 x 5) とする。

- 1 1) オペレーターの操作 B O X は、特記のない限りワンタッチ式、埋込型フラットタイプ (指定色焼付仕上) とし、窓開閉の操作に支障のない数量を設置する事。
窓風の設置高さは床面から 8 0 0 ~ 1 5 0 0 以内とする。 (クレセントも準ずる)
- 1 2) ドアクローザーは全て部屋内付とする。
- 1 3) オペレーターのワイヤー及び配管は隠蔽型とする。
- 1 4) 耐火区画廻りの床枠内には、耐火材充填の事。
- 1 5) H D : ハンダード (半自動吊下式引戸)
自動装置 : 傾斜レール式、制動装置 : オイル式、特記なき限り全開停止機能付とする。
枠は亜鉛メッキ鋼板 t 1 . 6 メラミン焼付塗装
指づめ防止ゴム付とする。
- 1 6) 自動ドアを表示するサインのデザインについては係員と打合せの上決定する。
- 1 7) 木製建具フラッシュドアは全てベーパーハニカムとする。
- 1 8) ペアガラスに使用する強化ガラスはすべて屋内側とする。

材料 スチール 腐板は亜鉛メッキ鋼板を使用し、厚さは枠は t 1 . 6、方立・無目・扉の骨組等は 2 . 3 mm、腐板厚は特記なき限り 1 . 6 mm とする。
防錆処理は水性錆止塗料 2 面塗とする。

アルミ J I S H 4 1 0 0 に規定する A 6 0 6 3 S - T 5 又は A 6 0 6 3 S S - T 5 とする。 (押出型材)
J I S H 4 0 0 0 に規定する A 1 2 0 0 P , 1 2 0 0 R とする。
とする。 (板材)
J I S G 3 1 3 1 に規定する S P H C ・黒皮鋼板 (補助材)
合成ゴム (クロロプレン発泡、B P T 発泡) (機密材)
アルミサッシ用金物で一般的に必要とされるものは特記がなくとも装備するものとする。
J I S 適合品 原則、強度 S - 4、気密 A - 3、水密 W - 4

ステンレス J I S A 4 7 0 2 に適合 # 7 0 0 以上とする。
(J I S G 4 3 0 5 に規定する S U S - 3 0 4)

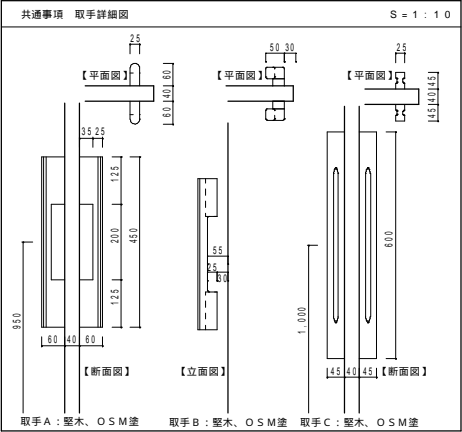
木 木製建具に使用する合板は、耐水合板 (I 類) F 0 を使用する。

金物 指定製造所製品とし、型式は設計図示により見本品を提出の上、係員の承認を受けること。
マスターキーは特記のない限り金具・木製建具を組合したものを一系統 3 本 x 3 系統製作する。グランドマスターは 1 本製作する。
各室の鍵はキーボックスに納めて提出の事。

硝子 硝子押さえは特記なき限り全て弾性シーラント (シリコン) とする。末尾数字は硝子厚を示す。
P : 普通硝子 (磨板)
F L : フロート板硝子
F : 型板硝子
S G : スリ硝子
P W : 網入 (線入) 磨板硝子
F W : 網入 (線入) 型板硝子
H F L : 熱線吸収硝子 ブルー
G F L : 熱線吸収硝子 グレー
B F L : 熱線吸収硝子 ブロンズ
L o w - E : 低反射ガラス
T : 強化硝子
T D : 強化硝子戸
H H R : 高性能熱線反射硝子
H R : 熱線反射硝子
H R W : 耐熱熱線反射強化硝子
A : 全気層
P C : 耐熱強化ガラス
G B : ガラスブロック (防火設備 : 旧 乙防)
H S : 倍強度硝子
硝子厚 1 5 mm の使用に付いては、風洞実験等で安全を確認した場合は変更可

シーリング アルミサッシ廻りシーリングは、特記無き限り全てポリサルファイド系又は、変成シリコン系シーリングとする。

仕上 電解着色 : 電解 2 次着色 9 + 7 μ m 以上
メラミン : 【 A I C A 】メラミン化紙板 2 0 1 4 カラーステムフィット
V 型レール : ケージバルテック U A 1 2 同等品
戸車 : ケージバルテック Y S K 3 3 同等品
引戸クローザー : ベスト N o . 7 9 0 (戸番仕様) 同等品 戸先・戸尻両側取付



L o w - E ガラスは日射取得型 (クリア) とする
飛散防止フィルムは透明、厚み 7 6 μ m とする

記号・数量	A W - 1 0 1 / 1	A W - 1 0 1 / 2	A W - 1 0 3 / 1	A W - 1 0 4 / 1	A W - 1 0 5 / 1
姿図					
外観図					
型式・位置	引違い窓 厨房	たてすり出し窓 WC1,WC2	引違い窓 廊下2	引違い窓 廊下2	2連固定ガラリ (半外付型) 厨房
見込	86	72	90	90	7 0
材料	アルミ、アングル部 : 樹脂	アルミ、アングル部 : 樹脂	アルミ、アングル部 : 樹脂	アルミ、アングル部 : 樹脂	アルミ
仕上	アルミ : 電解着色 内隠蔽 : ポストフォーム t 25	アルミ : 電解着色 内隠蔽 : スギ t 25 自然塗料塗	アルミ : 電解着色 内隠蔽 : 既存利用	アルミ : 電解着色 内隠蔽 : 既存利用	アルミ : 電解着色 内隠蔽 : ポストフォーム t 2 5
硝子	FL3 + A12 + FL3	FL3 + A12 + F4	FL5 + A12 + FL5	FL5 + A12 + FL5	-
金物	スライドアミ戸 (クリアネット)、クレセント アルミ水切、結露受 隠線アングルピース、メーカー付属金物一式	横引きロールアミ戸 (クリアネット)、ロッキングハンドル アルミ水切、結露受 隠線アングルピース、メーカー付属金物一式	スライドアミ戸 (クリアネット)、クレセント アルミ水切、結露受 メーカー付属金物一式、飛散防止フィルム	スライドアミ戸 (クリアネット)、クレセント アルミ水切、結露受 メーカー付属金物一式、飛散防止フィルム	ダクト接続アングル、防虫ネット、メーカー付属金物一式
備考	【 YKKap 】エピソード NEO 半外付け 同等品	【 YKKap 】エピソード NEO 半外付け 同等品	【 YKKap 】エピソード NEO-B 外付け 同等品	【 YKKap 】エピソード NEO-B 外付け 同等品	
記号・数量	A W - 2 0 1 / 1	A W - 2 0 2 / 1	A W - 2 0 3 / 1	K A W - 1 0 1 / 1	K A W - 1 0 2 / 1
姿図					
外観図					
型式・位置	引き分け窓 備室 1	引き分け窓 備室 2	引き分け窓 備室 3	引違い窓 土間 2	引違い窓 土間 2
見込	90	90	90	-	-
材料	アルミ、アングル部 : 樹脂	アルミ、アングル部 : 樹脂	アルミ、アングル部 : 樹脂	アルミ	アルミ
仕上	アルミ : 電解着色 内隠蔽 : 既存利用	アルミ : 電解着色 内隠蔽 : 既存利用	アルミ : 電解着色 内隠蔽 : 既存利用	-	-
硝子	FL3 + A12 + FL3	FL3 + A12 + FL3	FL3 + A12 + FL3	既存型ガラス FL3	既存型ガラス FL3
金物	スライドアミ戸 (クリアネット)、クレセント アルミ水切、結露受 メーカー付属金物一式	スライドアミ戸 (クリアネット)、クレセント アルミ水切、結露受 メーカー付属金物一式	スライドアミ戸 (クリアネット)、クレセント アルミ水切、結露受 メーカー付属金物一式	-	-
備考	【 YKKap 】エピソード NEO-B 外付け 同等品	【 YKKap 】エピソード NEO-B 外付け 同等品	【 YKKap 】エピソード NEO-B 外付け 同等品	-	-
記号・数量	W D - 1 0 1 / 1	W D - 1 0 2 / 1	W D - 1 0 3 / 2	W D - 1 0 4 / 1	W D - 1 0 5 / 1
姿図					
外観図					
型式・位置	片引き框戸 土間 1	引違い框戸 土間 1	片開き框戸 厨房	片引き框戸 土間 2	ランマ付き F I X 窓 廊下 2
見込	85 (40)	115 (40)	115 (40)	50 (40)	115
材料	木種 : スギ、敷居 : 御影石 框 : スギ、板 : スギ t 1 2	木種 : スギ 框 : スギ	木種 : スギ 框 : スギ	木種 : スギ、敷居 : モルタル 框 : スギ、板 : スギ t 1 2	木種 : スギ
仕上	自然塗料塗	自然塗料塗	自然塗料塗	自然塗料塗	自然塗料塗
硝子	FL3 + A6 + FL3	FL5 + A6 + T5	FL3 + A6 + FL3	FL3 + A6 + FL3	FL5 + A6 + T5 ランマ : FL3 + A6 + FL3
金物	ステンレス甲丸レール、ステンレス戸車 ピンチブロック、モヘヤ、取手C、直付引戸錠 (自動施設暗証番号式)	ステンレス甲丸レール、ステンレス戸車、引手、ねじ締め錠 ピンチブロック、モヘヤ	グレモンハンドル、丁番、取手、ラッチ ピンチブロック、モヘヤ ブリーツ網戸 (クリアネット)	ステンレス甲丸レール、ステンレス戸車 ピンチブロック、モヘヤ、取手C、直付引戸錠 (自動施設暗証番号式)	-
備考	直付引戸鍵錠【長沢製作所】キーレックス800同等品	飛散防止フィルム		直付引戸鍵錠【長沢製作所】キーレックス800同等品	飛散防止フィルム

A035

記号・数量			KWD-201			/ 1			KWD-202			/ 3			KWD-203			/ 1		
姿図																				
型式・位置			備間FIX窓【既存のまま】 木製引戸【既存改修】			廊下2			【既存】備間引違い窓			備室1、2、3			【既存】引違い襖戸			備室3		
見込			-						-						-					
材料			一部交換【図示】						-						-					
仕上			交換部分 自然塗料塗						-						-					
硝子			ガラス既存のまま						-						-					
金物			木製引戸 框補修、SUS製戸車交換、SUS製甲丸レール交換、数居交換 クレセント2ヶ所（両端部）						-						-					
備考																				
記号・数量																				
姿図																				
型式・位置																				
見込																				
材料																				
仕上																				
硝子																				
金物																				
備考																				
記号・数量																				
姿図																				
型式・位置																				
見込																				
材料																				
仕上																				
硝子																				
金物																				
備考																				
記号・数量																				
姿図																				
型式・位置																				
見込																				
材料																				
仕上																				
硝子																				
金物																				
備考																				
記号・数量																				

株式会社kyma

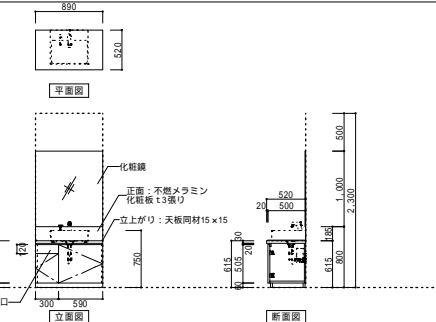
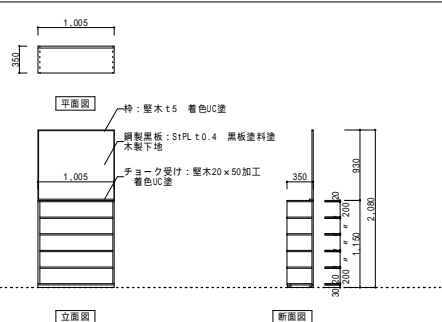
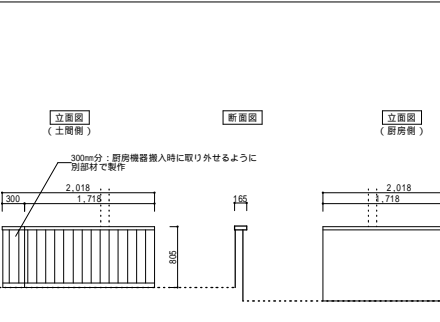
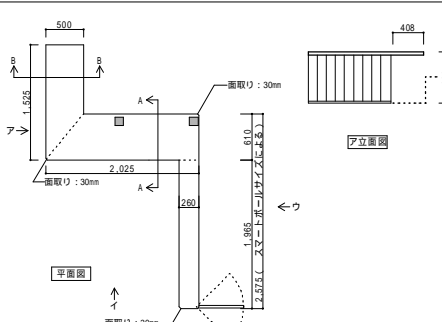
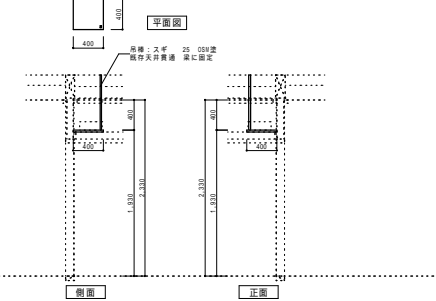
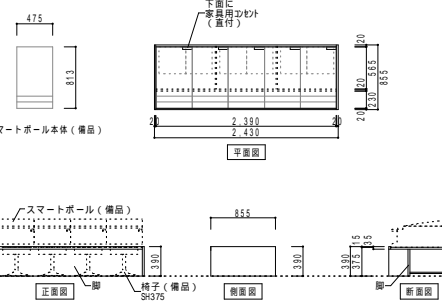
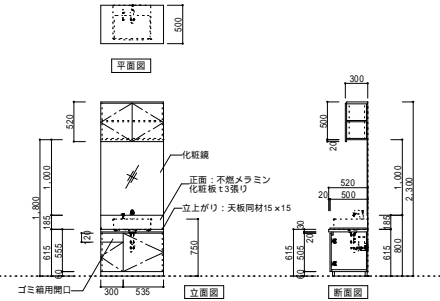
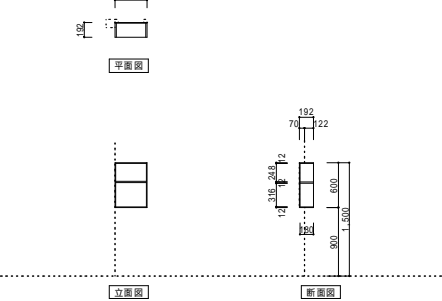
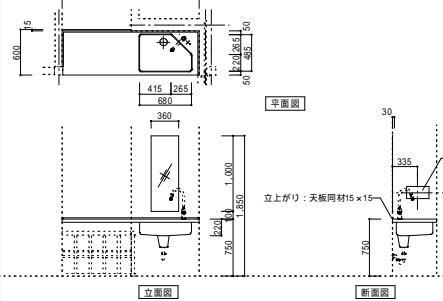
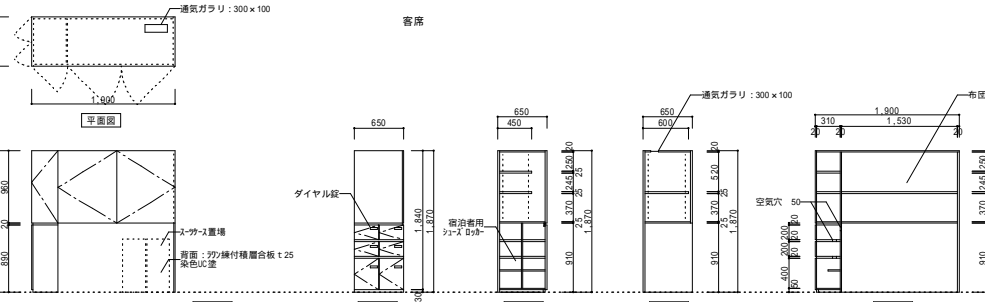
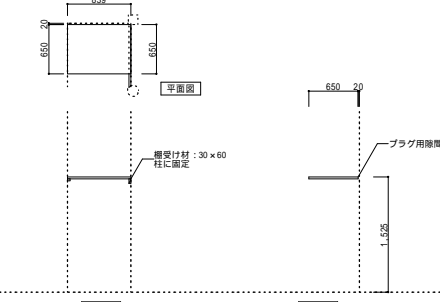
一級建築士事務所 石川県知事登録 13698号

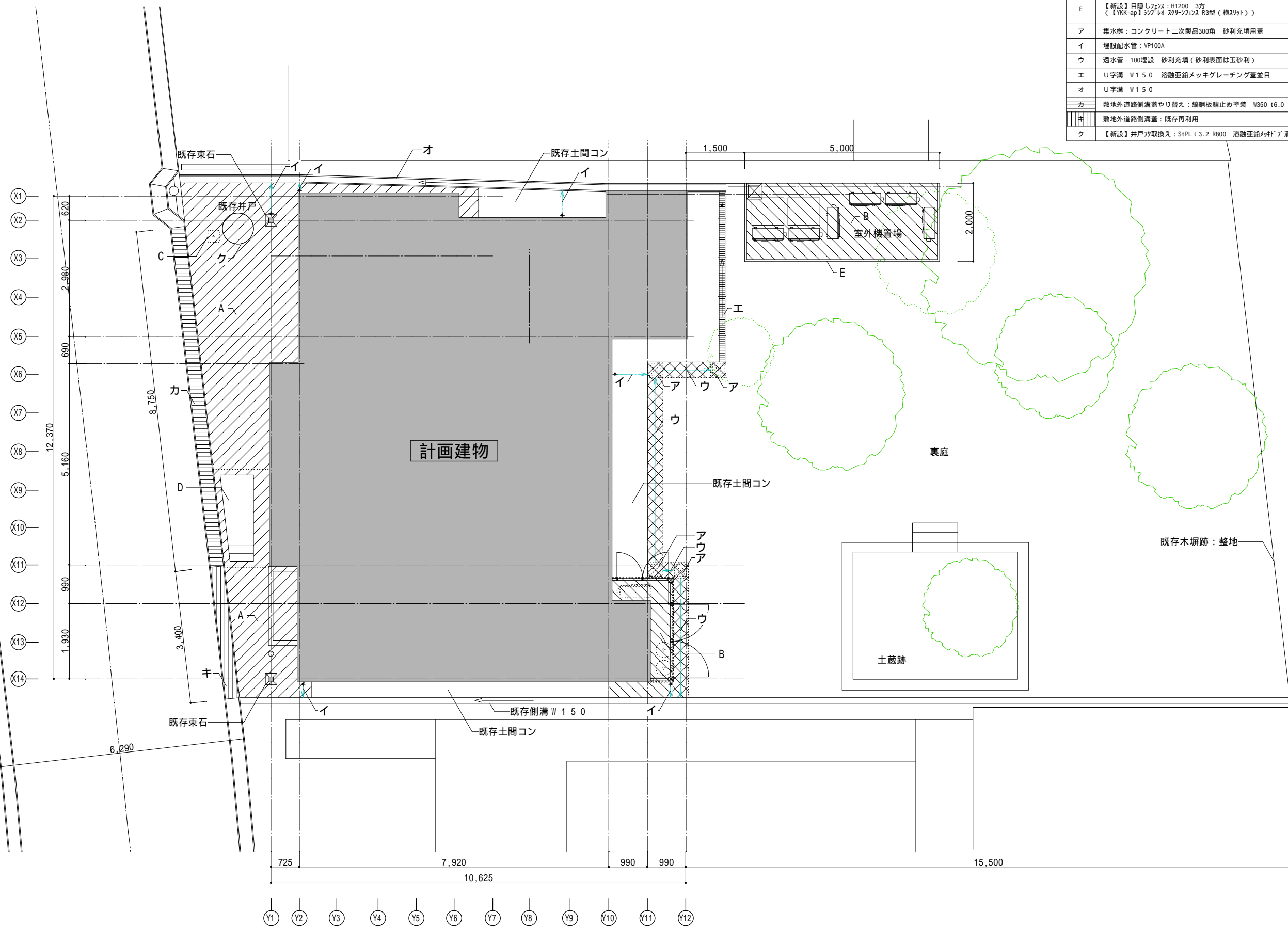
一級建築士 第343196号 土用下淳也

担当	年月日	訂正
J.Yanamoto	2022/10	

工事番号	工事名	図面名
22-12	南部子ども第三の居場所（仮称）改修工事	【改修】建具表 3

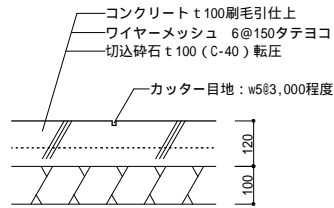
縮尺	A036
1/150(A1)	
1/100(A3)	

記号・数量		K - 101、M - 101		洗面台、鏡		/ 1箇所		K - 102		下足箱、黒板		/ 1箇所		K - 103		腰壁		/ 1箇所		K - 104		カウンター・棚		/ 1箇所							
図面																															
		位置 洗面1						階段						広間1、2、厨房																	
		材料・仕上 洗面台天板：堅木無垢排ぎ板 t 3.0 染色UC塗 座：ラウン合板フラッシュ t 2.0 染色UC塗 内仕上：ポリ合板貼り 小口・巾木：堅木無垢材 t 3.0 染色UC塗、耐食鐵 t 5 (特なし)						天板：ラウン合板ランバーコア t 20 染色UC塗 側板・背板・棚板：ラウン合板ランバーコア t 20 染色UC塗 内部棚上面：メラミン化粧板貼り 小口・巾木：堅木無垢材 t 3.0 染色UC塗						天板：スギ集成材 t 40 染色UC塗 【土間側】 腰壁：スギ羽目板 t 9 W 120 染色UC塗 巾木：堅木集成材 染色UC塗 H 30 【厨房側】 腰壁：不燃メラミン化粧板 t 3 貼り						天板：スギ集成材 t 40 染色UC塗 【土間側】 腰壁：スギ羽目板 t 9 W 120 染色UC塗 巾木：堅木集成材 染色UC塗 H 30 【厨房側】 腰壁：不燃メラミン化粧板 t 3 貼り 【棚】 図示											
		金物 洗面台：スライド丁番						-						-																	
備考		洗面・トラップ・カラン (設備工事)						-																							
記号・数量		K - 105		プロジェクター置場		/ 1箇所		K - 106		スマートボール台		/ 1箇所		K - 201、M - 201		吊戸棚、洗面台、鏡		/ 1箇所		K - 202		棚		/ 1箇所		K - 203		洗面台、鏡		/ 1箇所	
図面																															
		位置 広間2						土間1						洗面2						脱衣						個室前廊下					
		材料・仕上 棚板：スギ集成材 t 25 OSM塗 吊棒：スギ 25 OSM塗						棚板、側板、脚：ラウン合板 t 20 小口堅木無垢材 t 3.0 染色UC塗						洗面台天板：堅木無垢排ぎ板 t 3.0 染色UC塗 座：ラウン合板フラッシュ t 2.0 染色UC塗 吊戸棚板・側板・背板：ラウン合板 t 2.0 染色UC塗、内仕上：ポリ合板貼り 小口・巾木：堅木無垢材 t 3.0 染色UC塗、耐食鐵 t 5 (特なし)						スギ集成材 t 25 染色UC塗						洗面台天板：堅木無垢材 t 40 染色UC塗 シンク：ステンレス304 t 1.0曲げ加工 (裏面防漏塗装) 天板受け材30×30					
		金物						脚：薄型アジャスター (各脚2ヶ所)						吊戸棚：スライド丁番、SUS製可動棚レール、棚受け金物 洗面台：スライド丁番						-						排水金物、ゴミ受け：家具工事 ベーパーディフレクタ埋込型 (LIXIL R1010-S)					
備考		大工工事						-						吊戸棚手かけ：扉下部斜め加工 洗面・トラップ・カラン (設備工事)						壁下地固定 (大工工事)						トラップ・カラン (設備工事)					
記号・数量		K - 204		下足箱+収納		/ 1箇所		K - 205		収納		/ 1箇所																			
図面																															
		位置 廊下4										ロビー																			
		材料・仕上 本体：PPF緑付積層合板 t 25 染色UC塗、座：PPF合板PPF-3P t 20 染色UC塗 棚板・仕切板：ポリ合板フラッシュ t 20 内仕上：ポリ合板貼り 小口・巾木：堅木無垢材 t 3.0 染色UC塗、座下：撥込み引手										ラウン合板 t 24、小口堅木無垢材 t 3 染色UC塗																			
		金物 ｽﾗｲﾄﾞ 丁番、SUS製可動棚ﾚｰﾙ (3列)、棚受け金物、ﾀｲﾌﾟﾔﾐﾈ (6箇所)、ﾌﾞﾗｯｸﾏｯﾌﾟ製空気穴 50、ﾌﾞﾗｯｸﾏｯﾌﾟ製ガラリ300×100																				大工工事									
記号		数量		名称		位置		材料・仕上				寸法				備考															
C : カーテン																															
C - 201		1		ﾚｰﾙ2列		個室1		ｶｰﾃﾝ別途、ﾚｰﾙのみ本工事				W : 2,860 × H : 1,070																			
C - 202		1		ﾚｰﾙ2列		個室2		ｶｰﾃﾝ別途、ﾚｰﾙのみ本工事				W : 2,855 × H : 1,335																			
C - 203		1		ﾚｰﾙ2列		個室3		ｶｰﾃﾝ別途、ﾚｰﾙのみ本工事				W : 3,785 × H : 1,335																			
Z : ライニング																															
Z - 101		1				WC1		メラミンポストフォーム VPAタイプ				W : 840 × D : 100																			

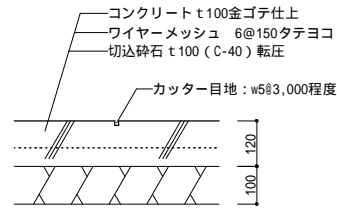


外構凡例		
記号	仕上	数量
A	【新設】コンクリート舗装t120 刷毛引き仕上 ワイヤーメッシュ 6φ150タテヨコ 切込砕石t100 (C-40) 転圧、カッター目地：w5φ3,000程度	25.5㎡
B	【新設】コンクリート舗装t120 全ゴテ仕上 ワイヤーメッシュ 6φ150タテヨコ 切込砕石t100 (C-40) 転圧、カッター目地：w5φ3,000程度	12.6㎡
C	【新設】旗受け用コンクリート基礎	1ヶ所
D	【新設】コンクリート製池	1ヶ所
E	【新設】目隠しフェンス：H1200 3方 （【KK-ap】タイプⅡ スリットタイプ R3型（横スリット））	9.0 m
ア	集水樹：コンクリート二次製品300角 砂利充填用蓋	4ヶ所
イ	埋設配水管：VP100A	3.1 m
ウ	透水管 100埋設 砂利充填（砂利表面は玉砂利）	9.3 m
エ	U字溝 W150 溶融亜鉛メッキグレーチング蓋並目	4.4 m
オ	U字溝 W150	14.0 m
カ	敷地外道路側溝蓋やり替え：鍍銅板鎮止め塗装 W350 t6.0	8.8 m
キ	敷地外道路側溝蓋：既存再利用	3.4 m
ク	【新設】井戸枠取換え：S1PL t3.2 R800 溶融亜鉛メッキﾌﾞﾗｯｸﾞ 湧け	1ヶ所

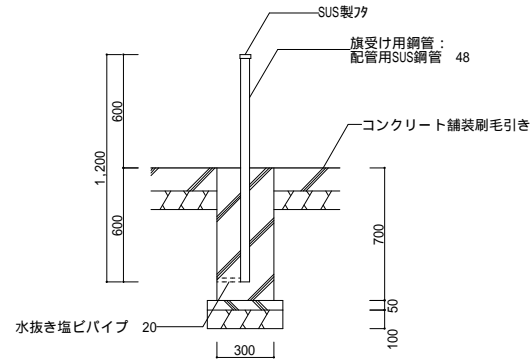
A : コンクリート舗装 刷毛引き仕上

$$\begin{aligned} A_1 &= 1 : 1 \ 0 \\ A_3 &= 1 : 2 \ 0 \end{aligned}$$


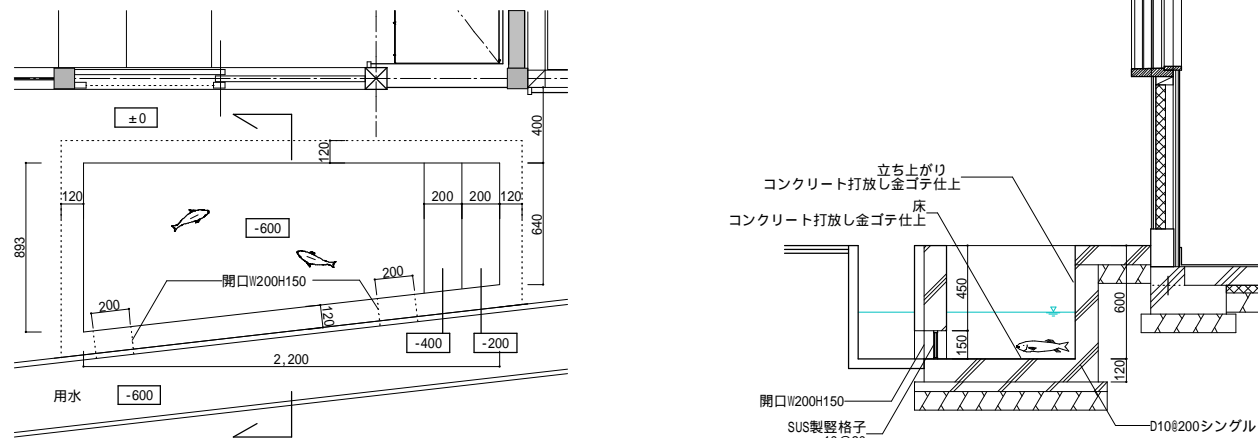
B : コンクリート舗装 金ゴテ仕上

$$\begin{aligned} A_1 &= 1 : 1 \ 0 \\ A_3 &= 1 : 2 \ 0 \end{aligned}$$


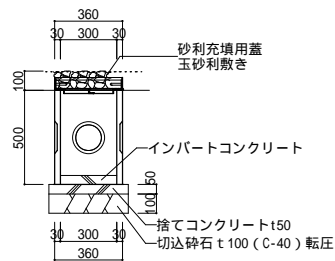
C : 旗受け用コンクリート基礎

$$\begin{aligned} A_1 &= 1 : 2 : 0 \\ A_3 &= 1 : 4 : 0 \end{aligned}$$


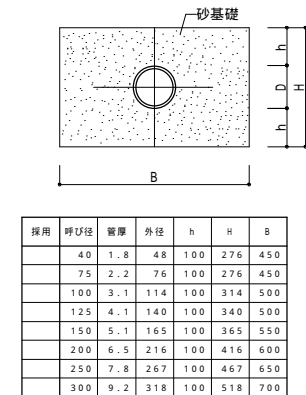
D : コンクリート製池

$$\begin{aligned} A_1 &= 1 : 2 : 0 \\ A_3 &= 1 : 4 : 0 \end{aligned}$$


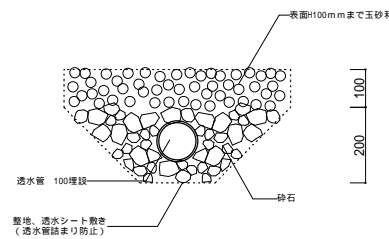
ア：集水桝 コンクリート二次製品 300角砂利充填用蓋

$$\begin{aligned} A_1 &= 1 : 2 : 0 \\ A_3 &= 1 : 4 : 0 \end{aligned}$$


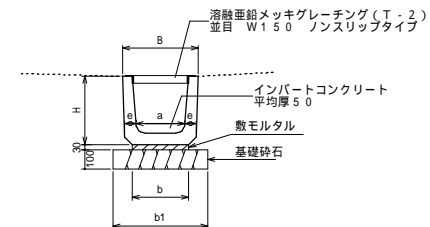
イ：埋設配水管：VP



ウ：透水管 100埋設 砂利充填（砂利表面は玉砂利）

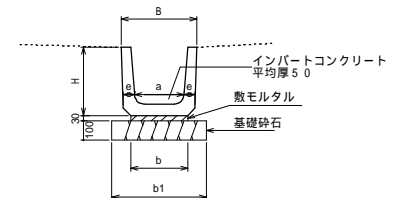
$$\begin{aligned} A_1 &= 1 : 1 \ 0 \\ A_3 &= 1 : 2 \ 0 \end{aligned}$$


エ: U字溝 W 150 溶融亜鉛メッキグレーチング蓋並目 $\frac{A_1}{A_3} = \frac{1}{1} : \frac{20}{40}$

$$\begin{aligned} A_1 &= 1 : 20 \\ A_3 &= 1 : 40 \end{aligned}$$


適用	名称	H (mm)	B (mm)	a (mm)	b (mm)	b1 (mm)	e (mm)
	150	185	210	140	160	360	35
	240	290	330	220	240	440	50

才：U字溝 W 1 5 0

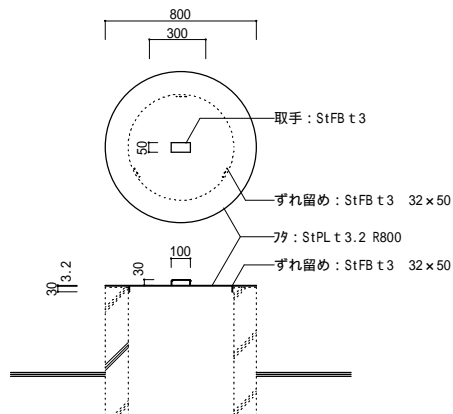
$$\begin{aligned} A_1 &= 1 : 2 \ 0 \\ A_3 &= 1 : 4 \ 0 \end{aligned}$$


適用	名称	H (mm)	B (mm)	a (mm)	b (mm)	b1 (mm)	e (mm)
	150	185	210	140	160	360	35
	240	290	330	220	240	440	50

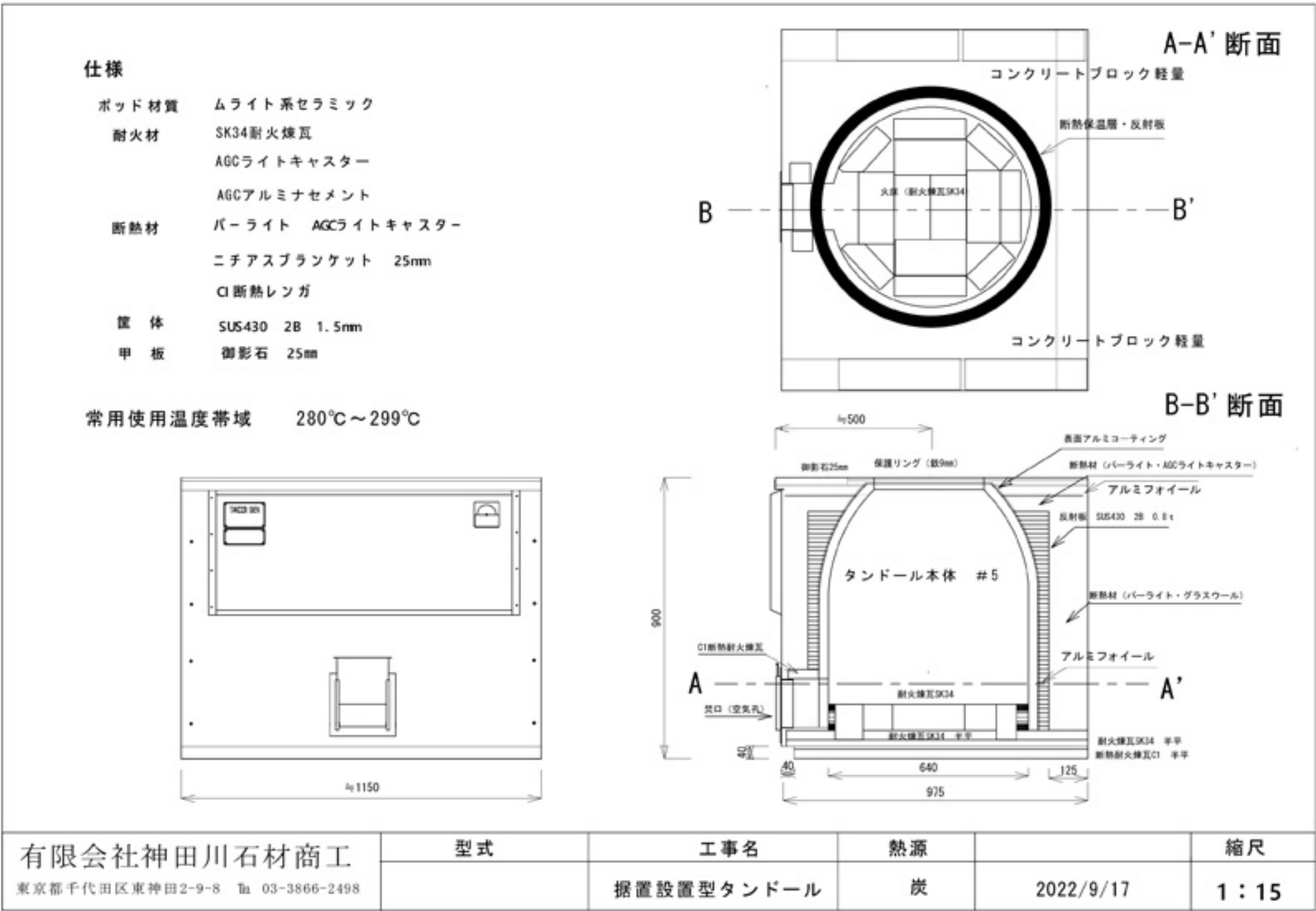
ク：既存井戸蓋

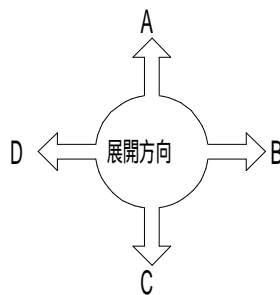
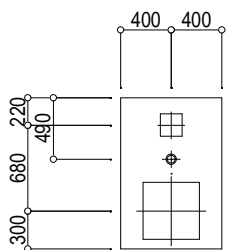
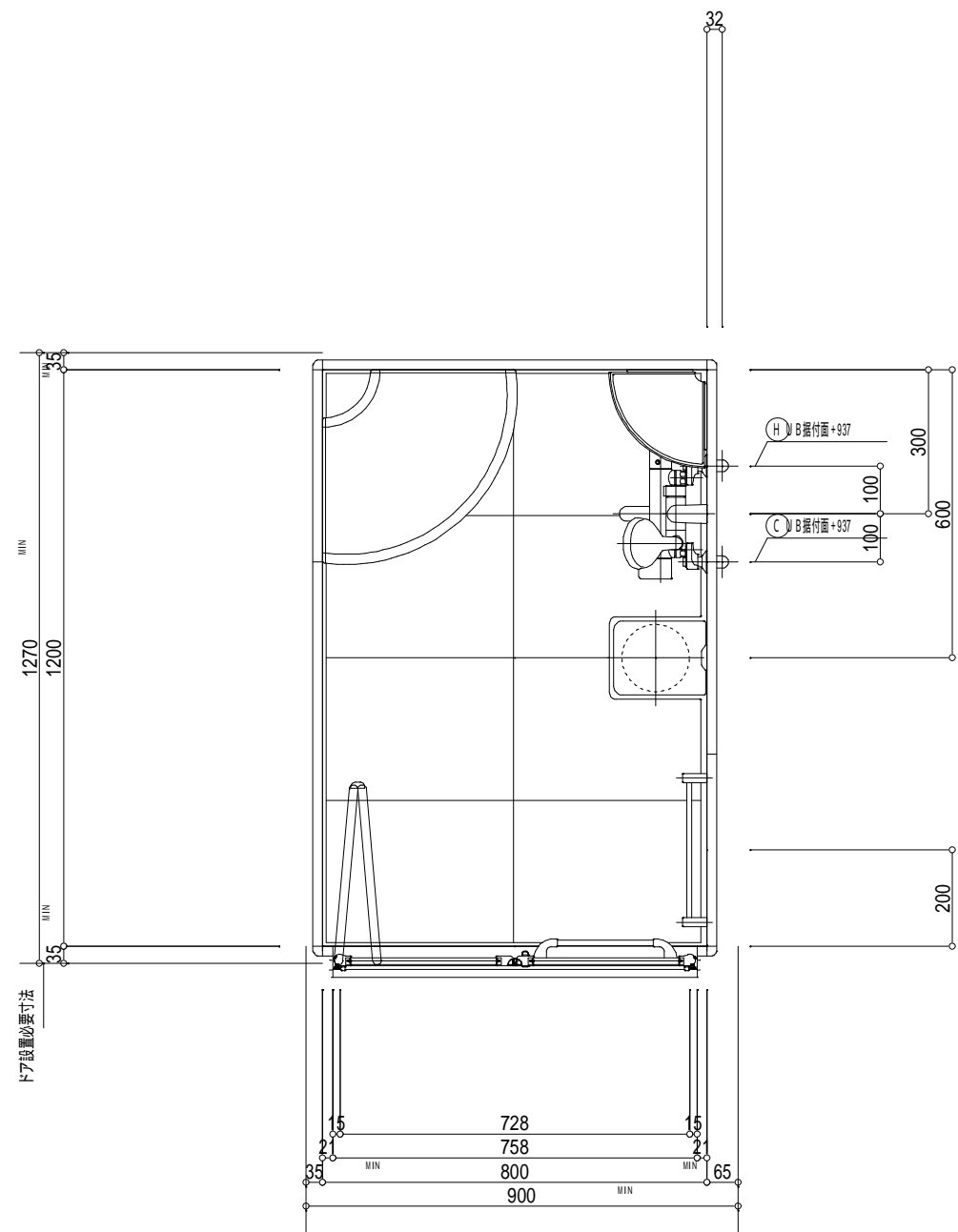
$$\begin{aligned} A_1 &= 1 : 2 : 0 \\ A_3 &= 1 : 4 : 0 \end{aligned}$$

鉄部は全て溶融亜鉛メッキドブ漬け



別途工事範囲参考図

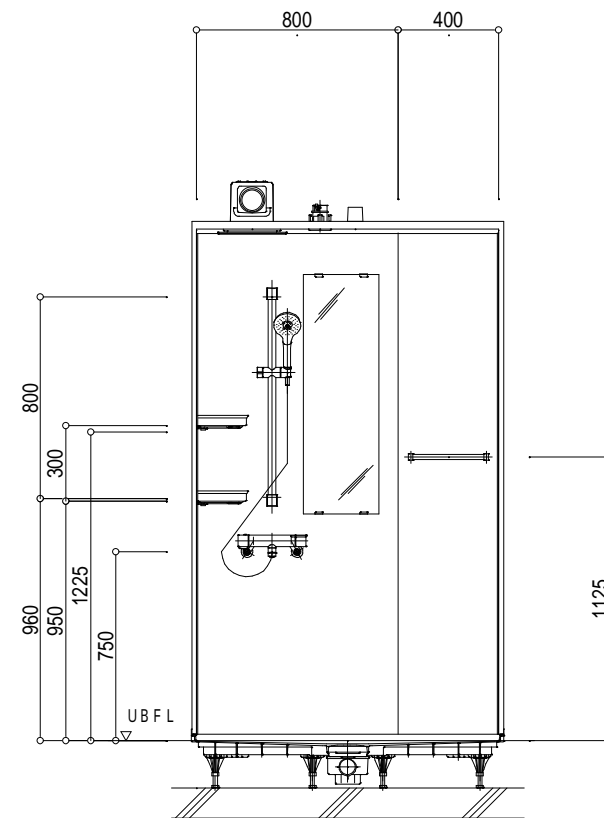
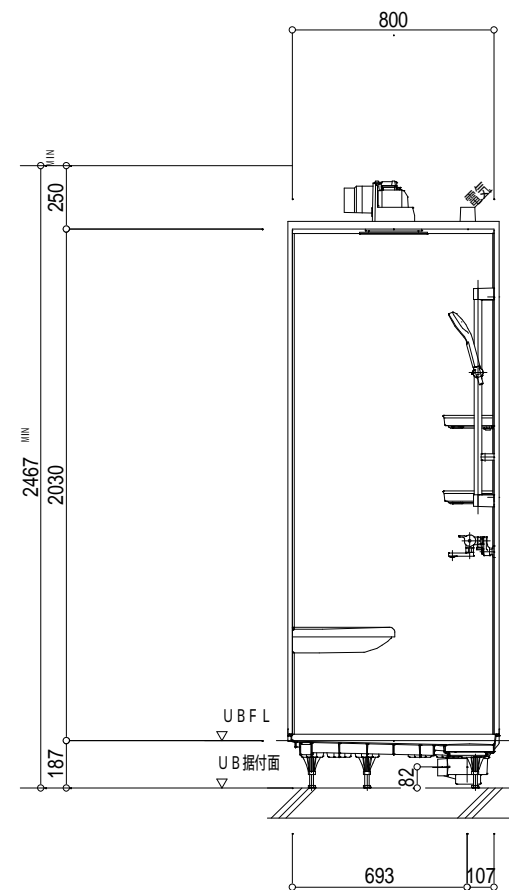
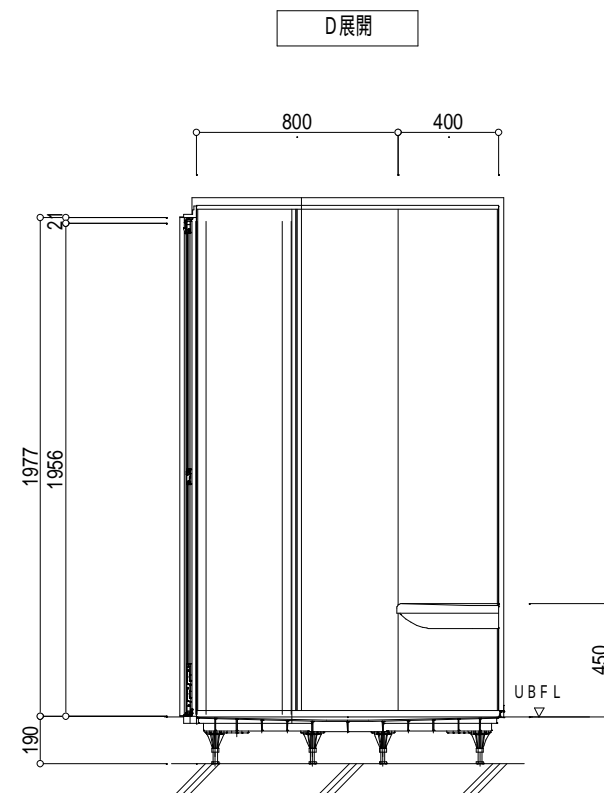
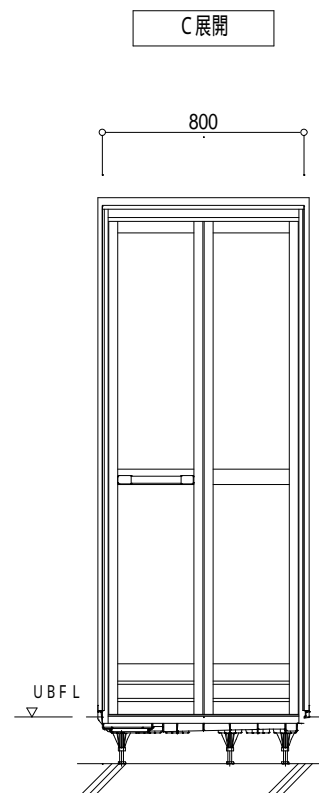




1/15 (A3)

UB設置必要寸法に
ドア設置必要寸法は含んでいません。

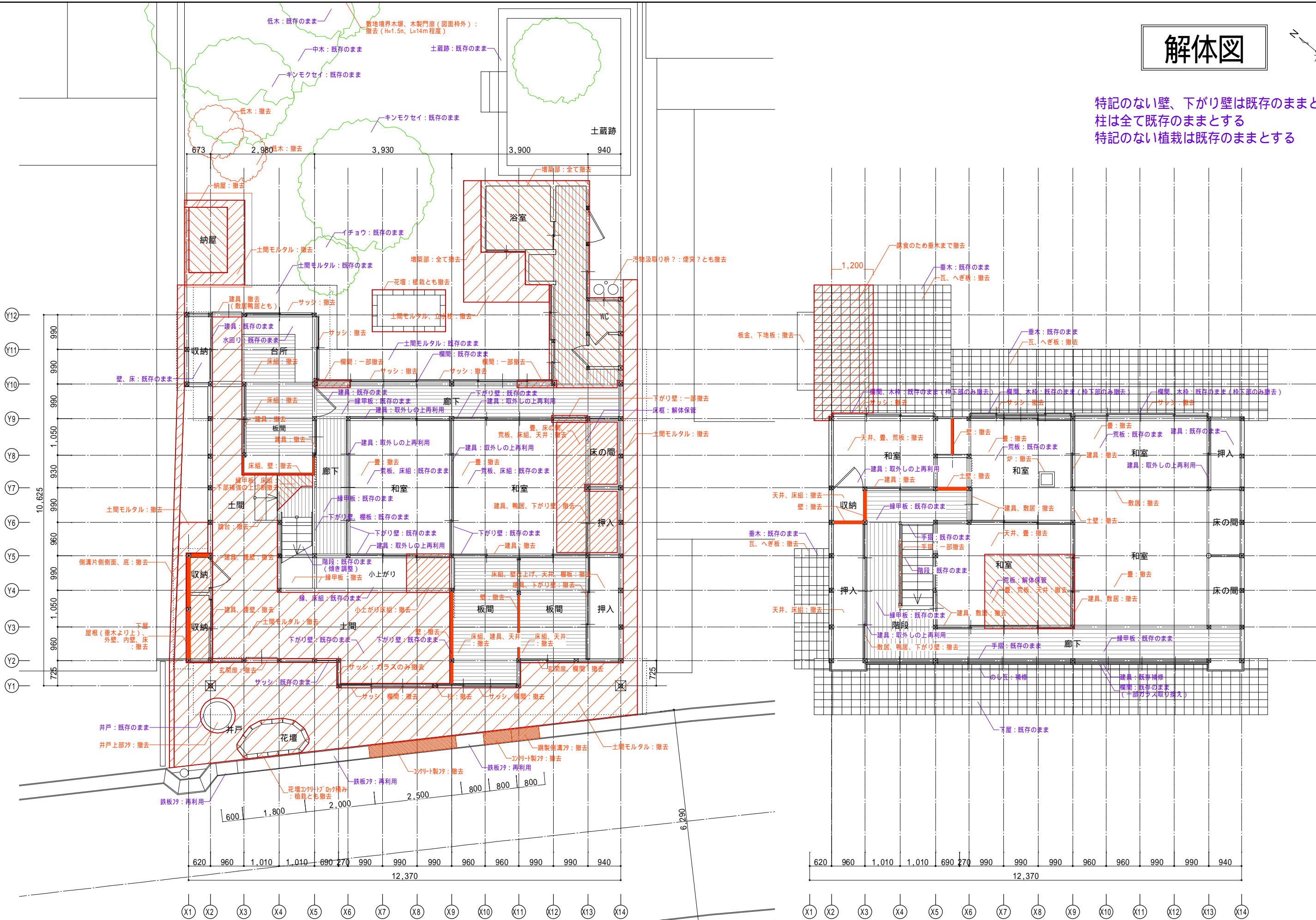
ドア納まりについての詳細は必ず
矩計図をご確認ください。



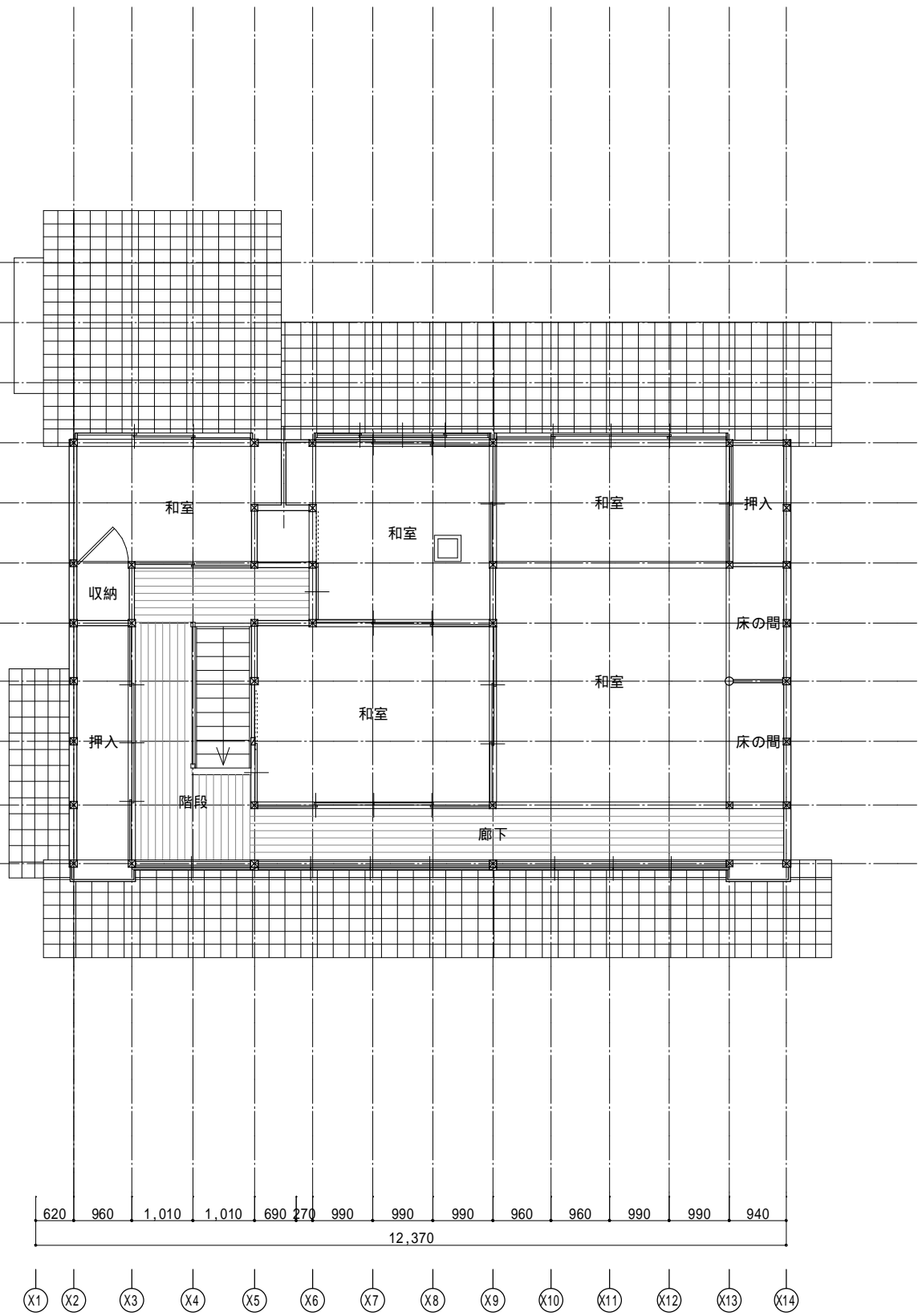
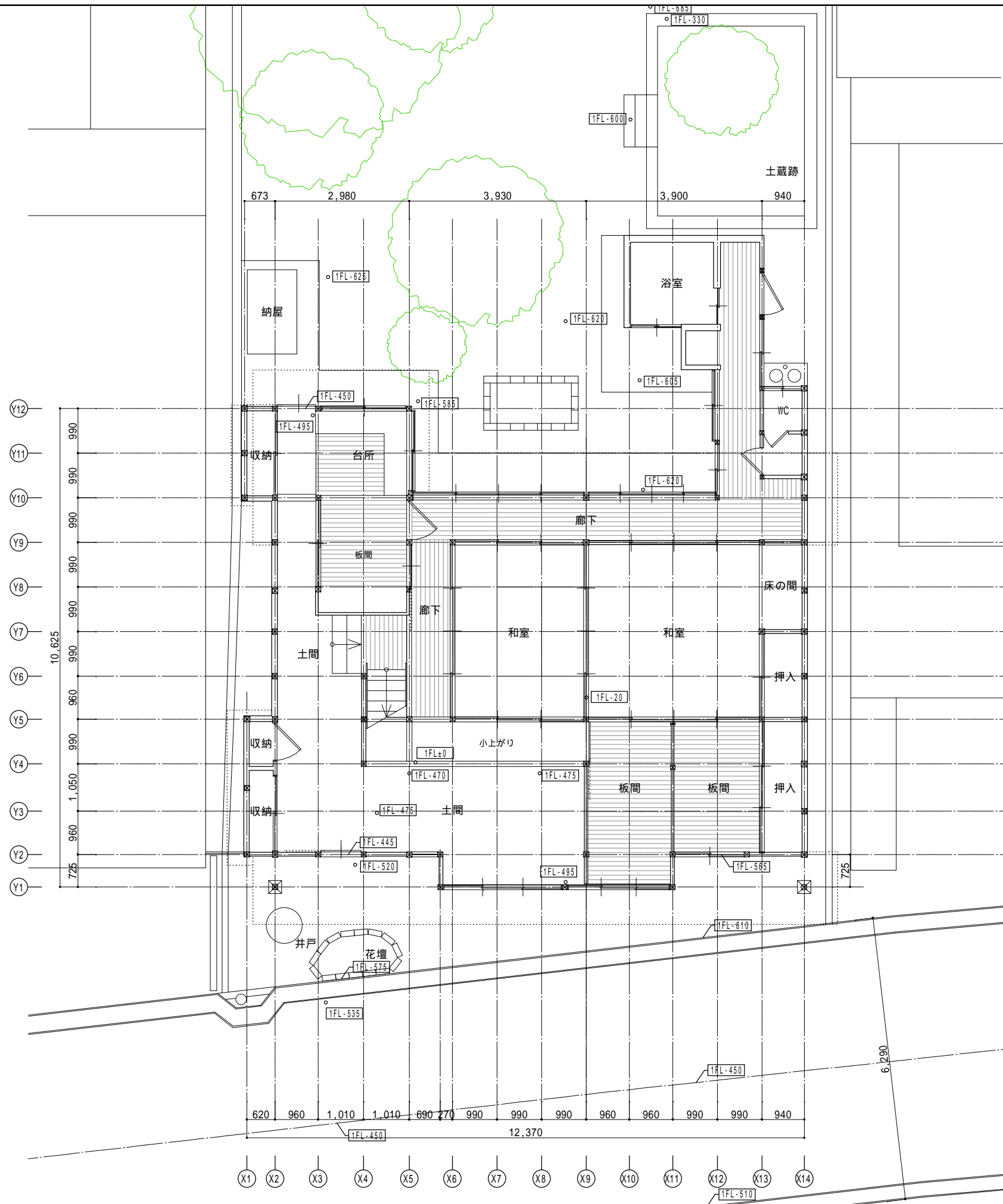
解体図



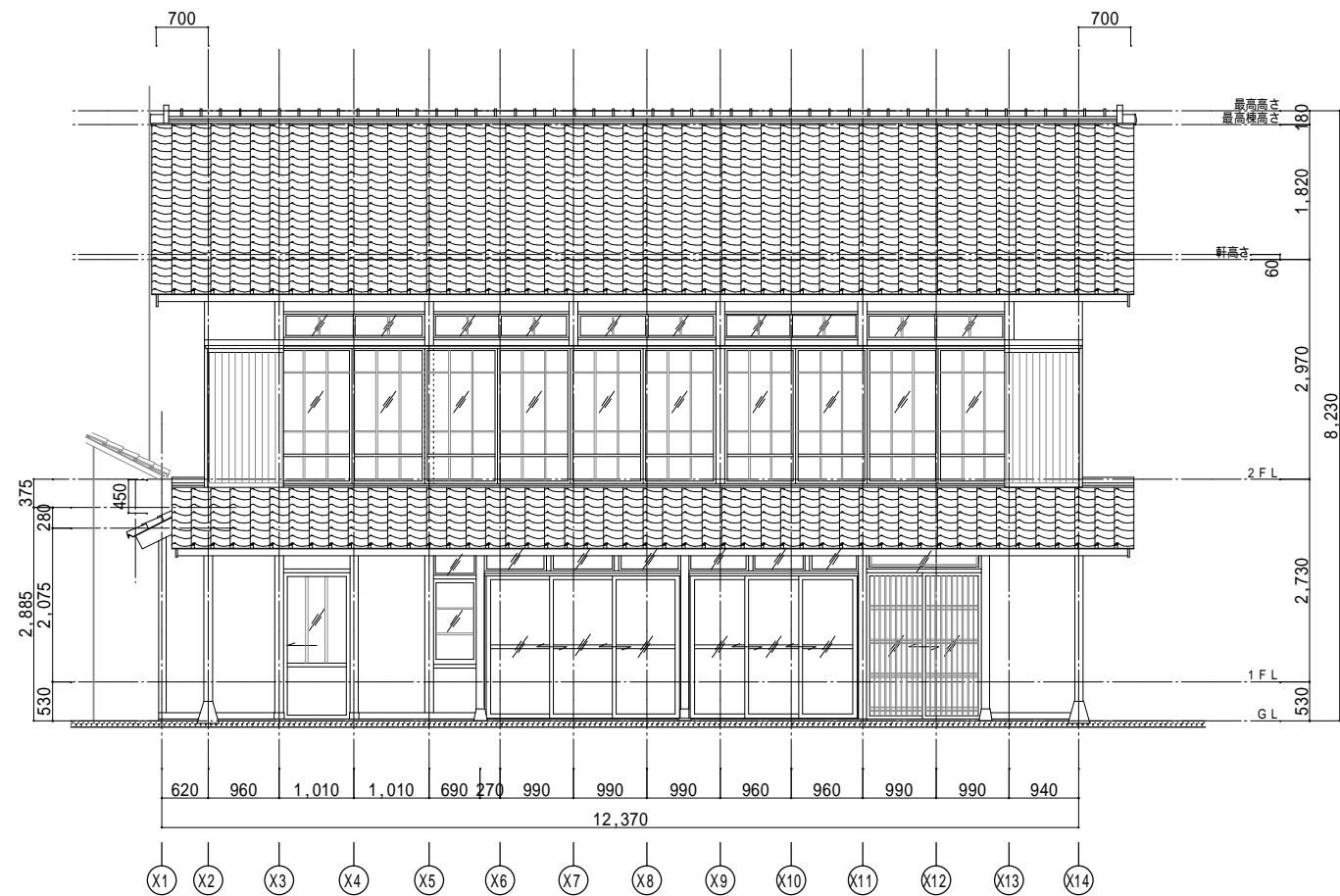
特記のない壁、下がり壁は既存のままとする
柱は全て既存のままとする
特記のない植栽は既存のままとする



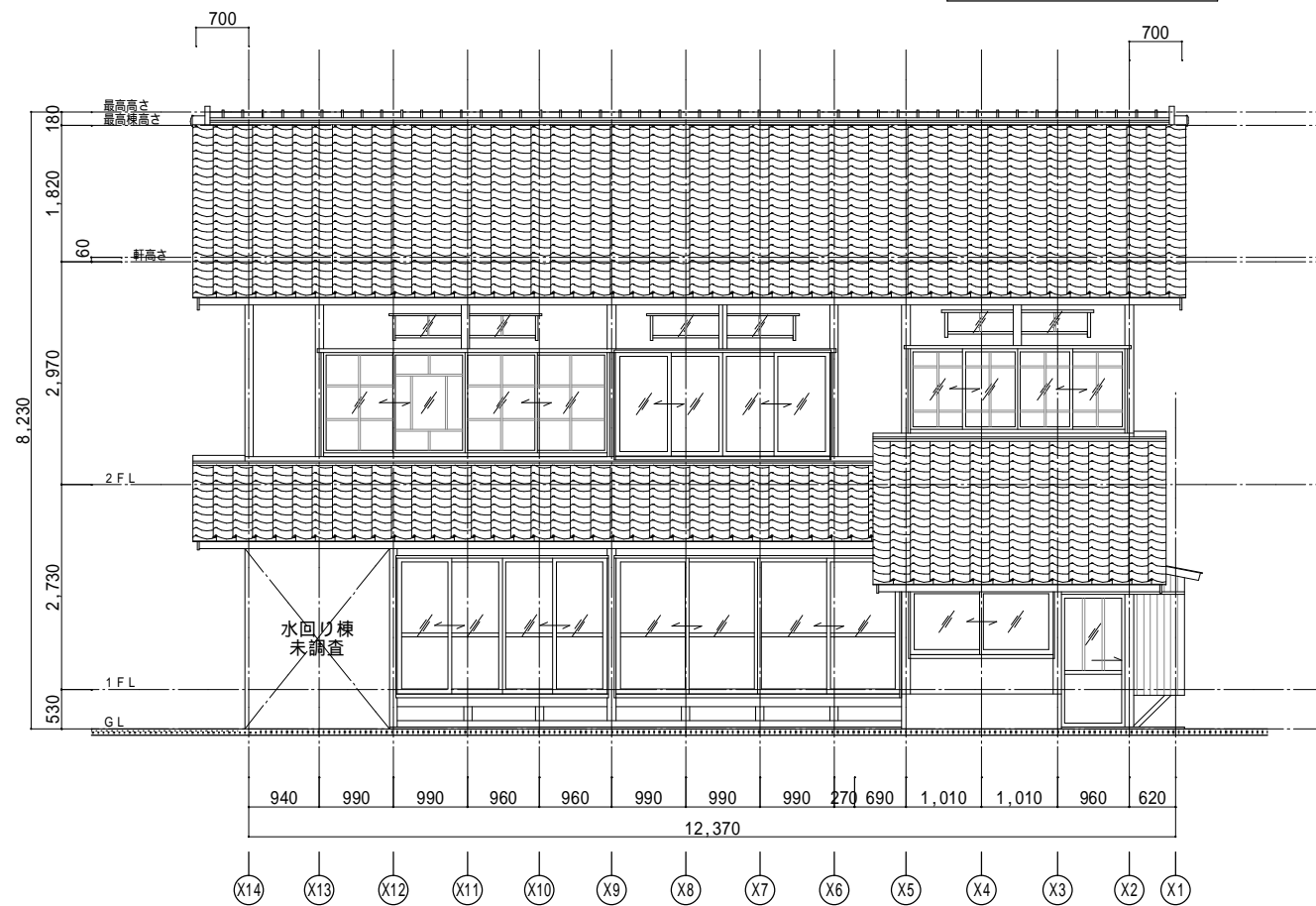
既存図



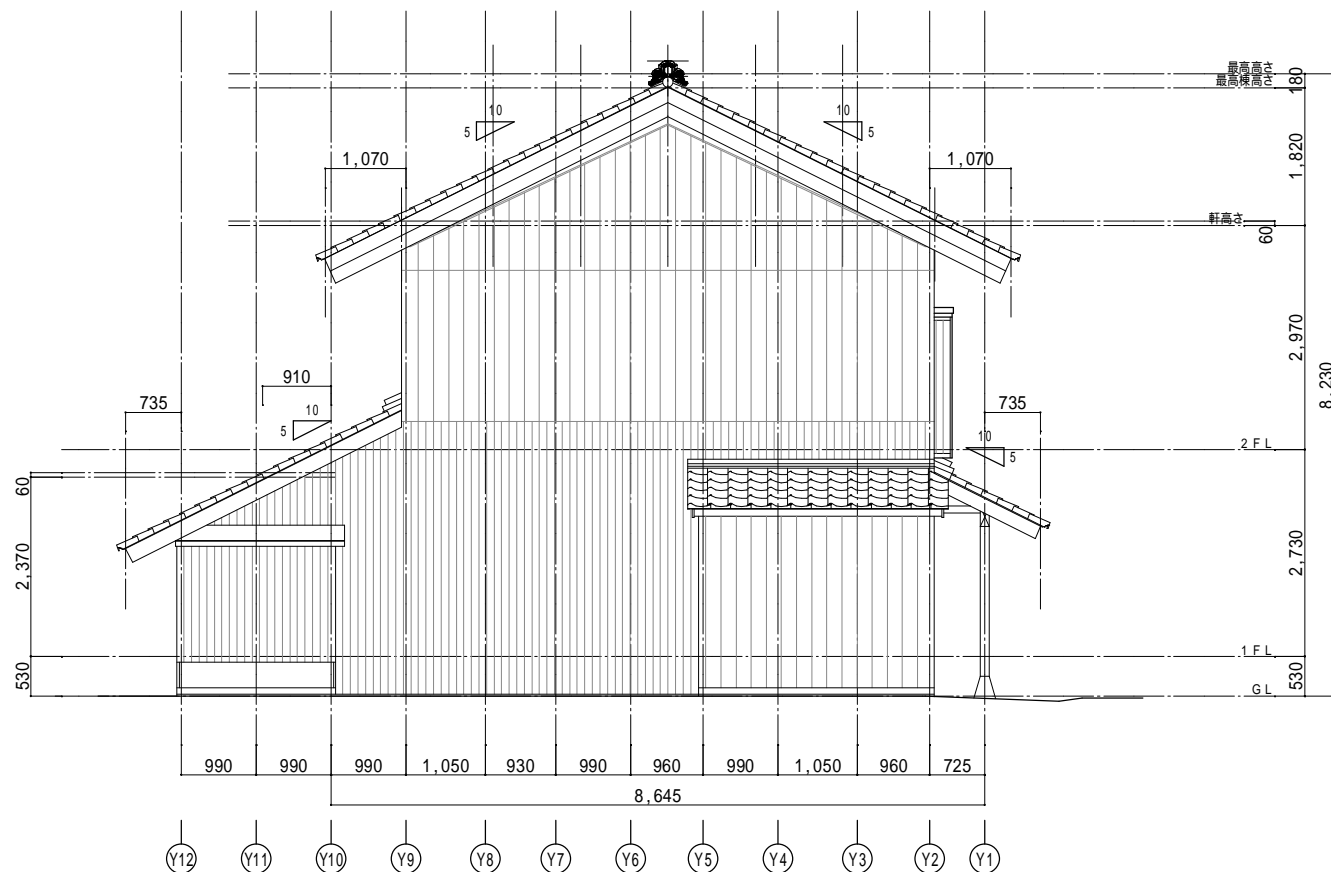
既存図



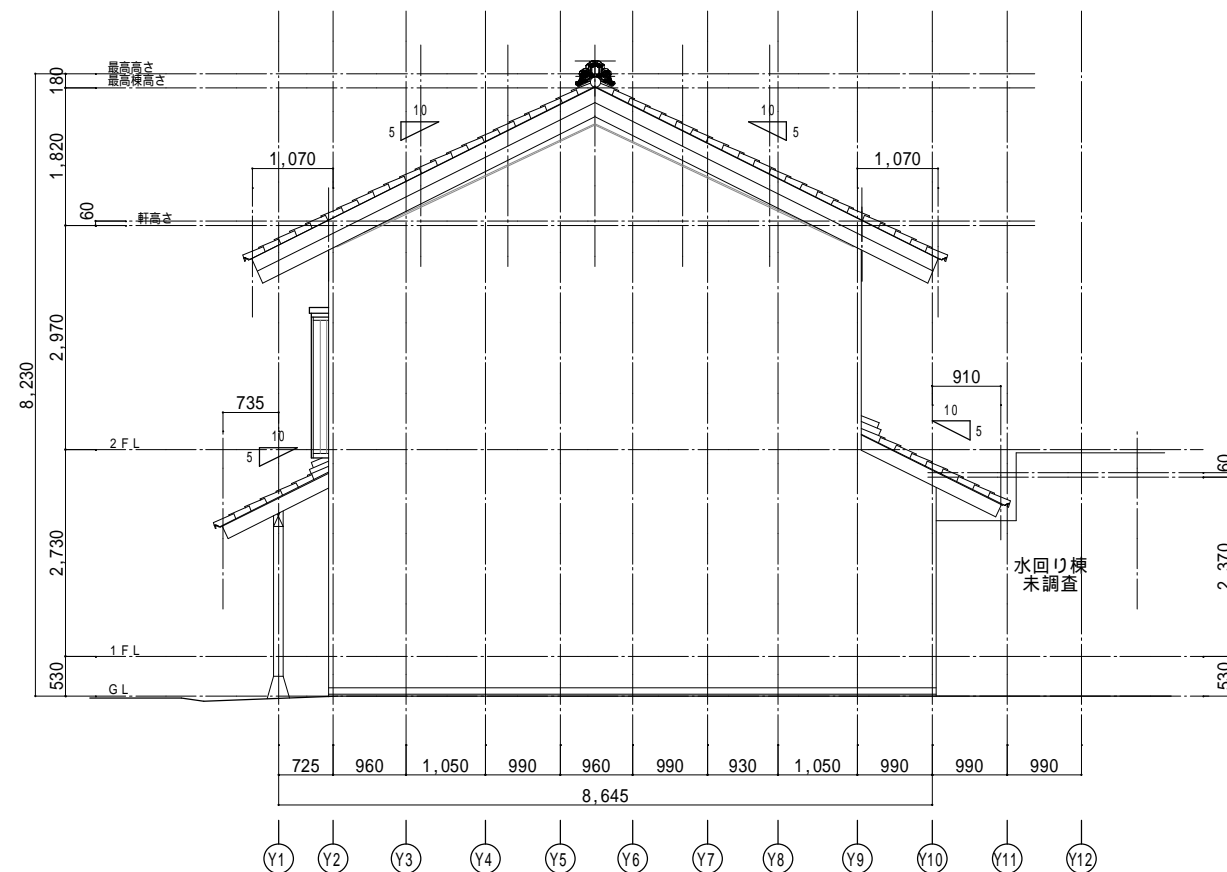
南西面



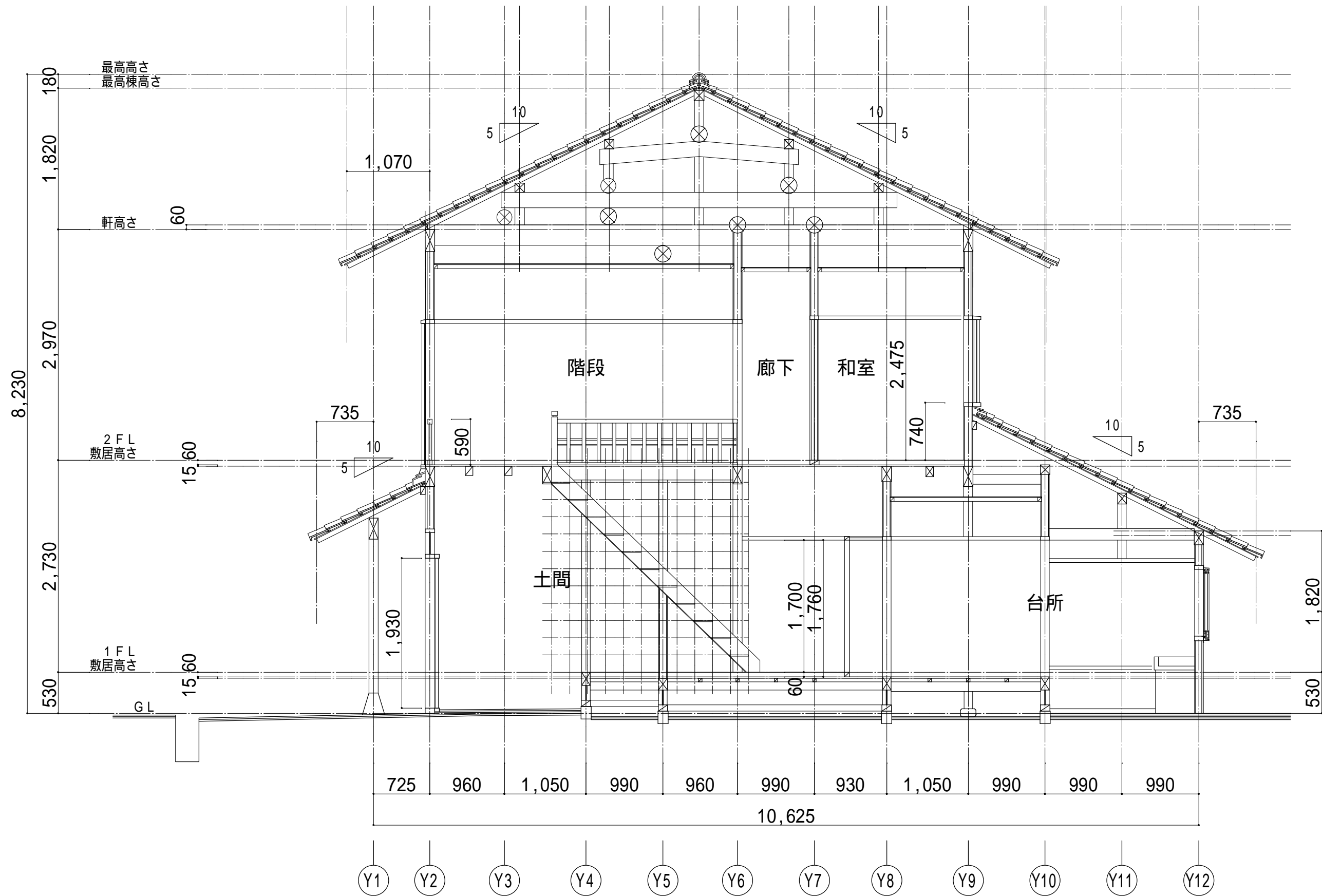
北東面



北西面

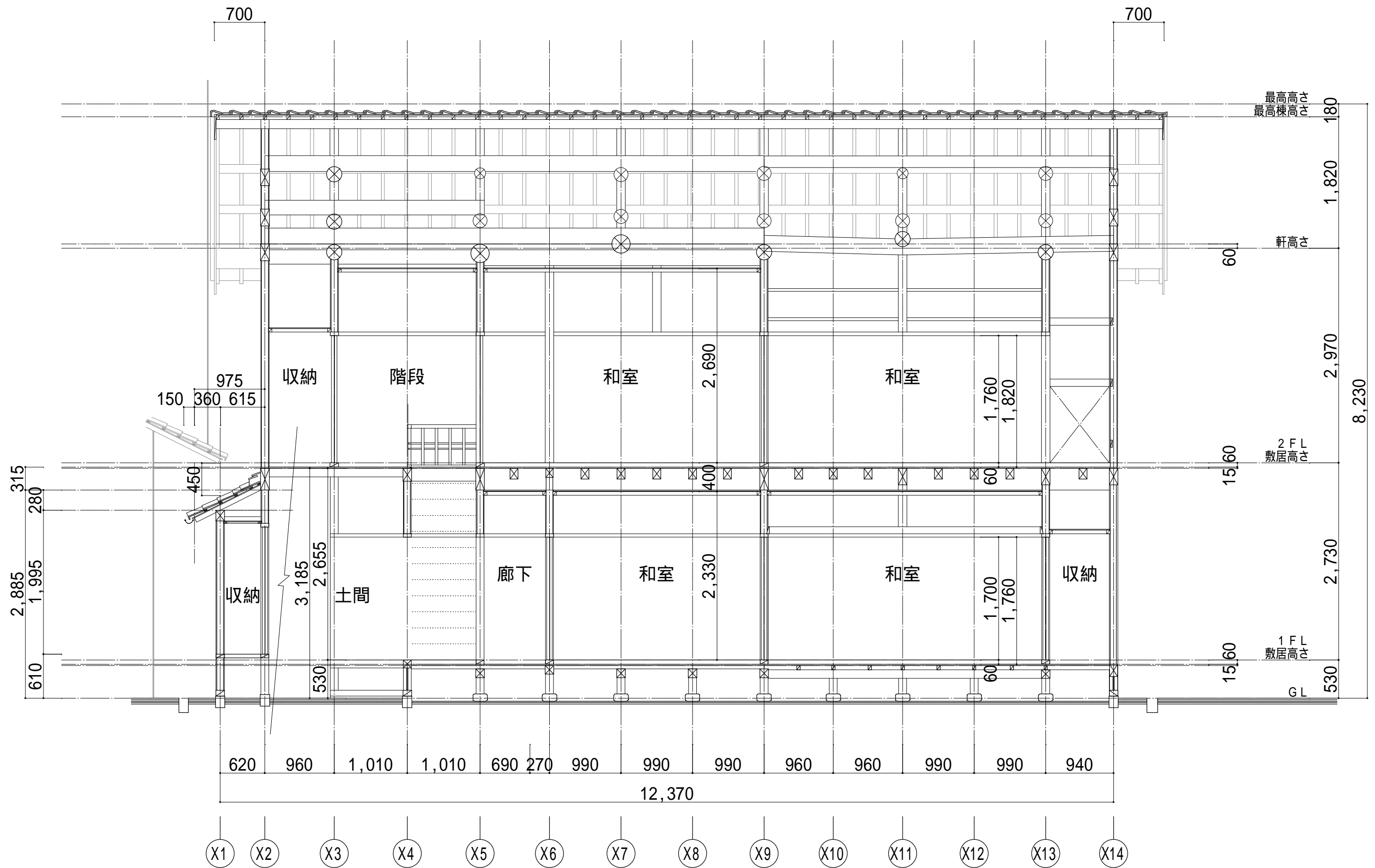


南東面

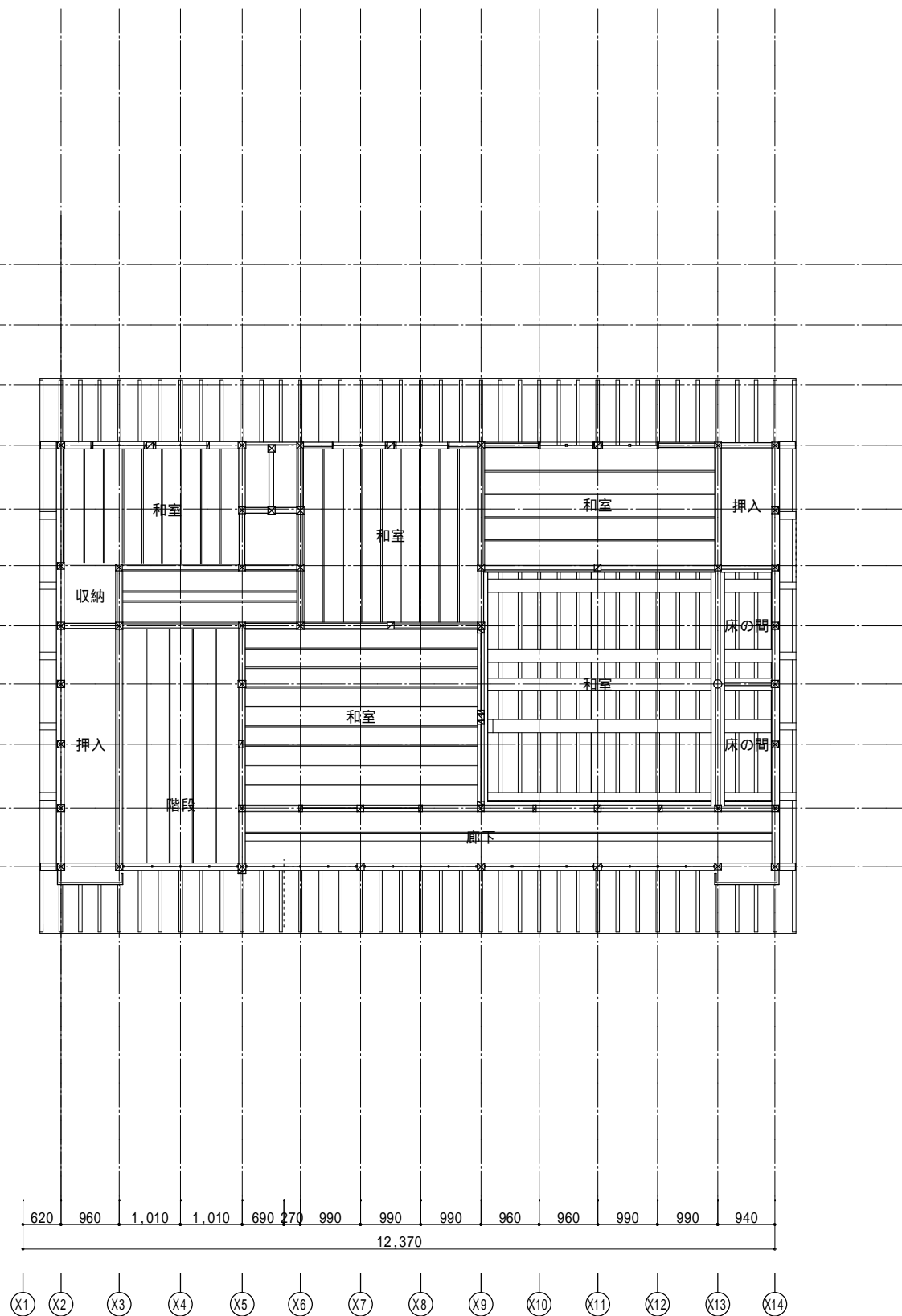
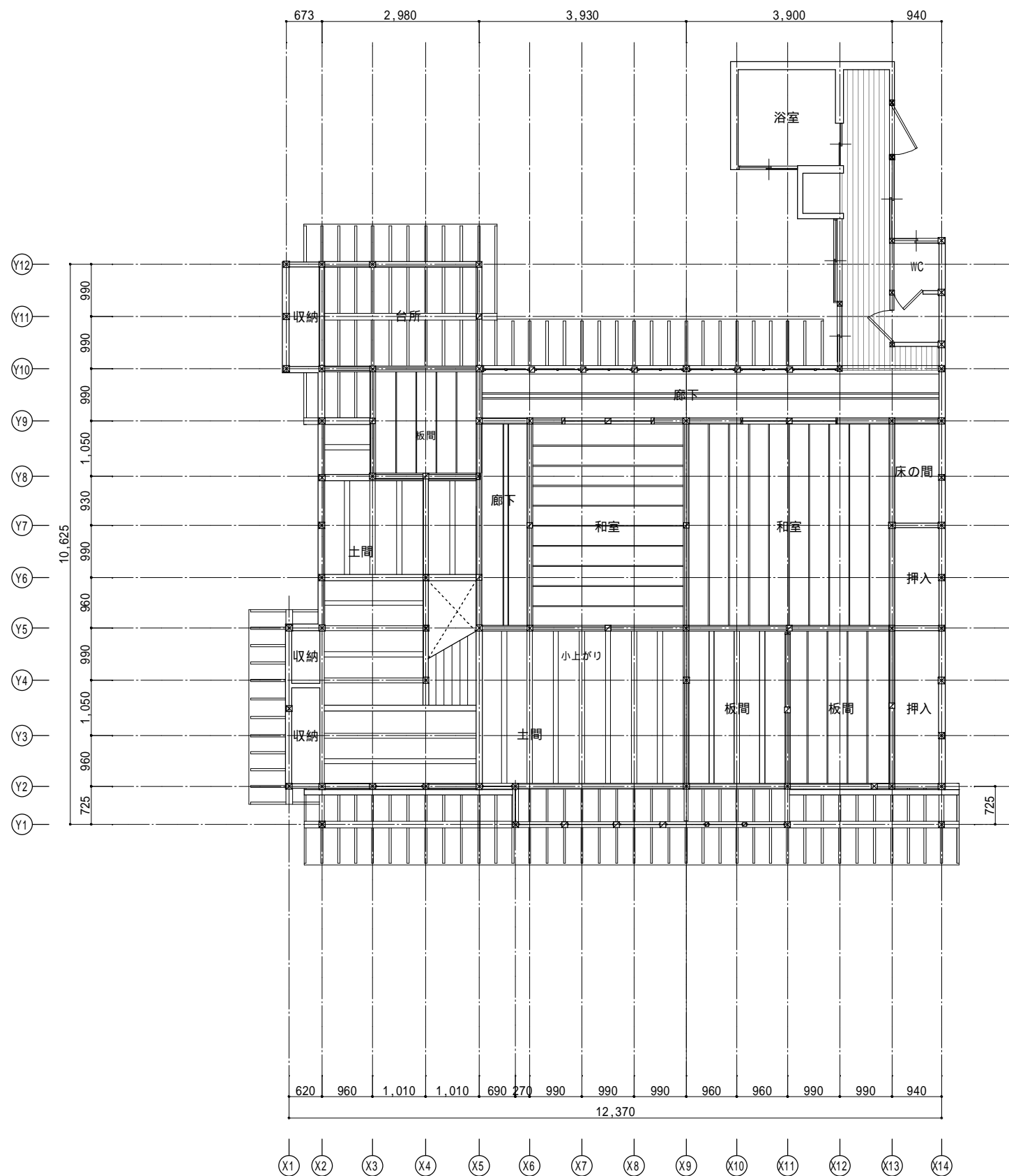




既存図



既存図



既存図

[凡例]

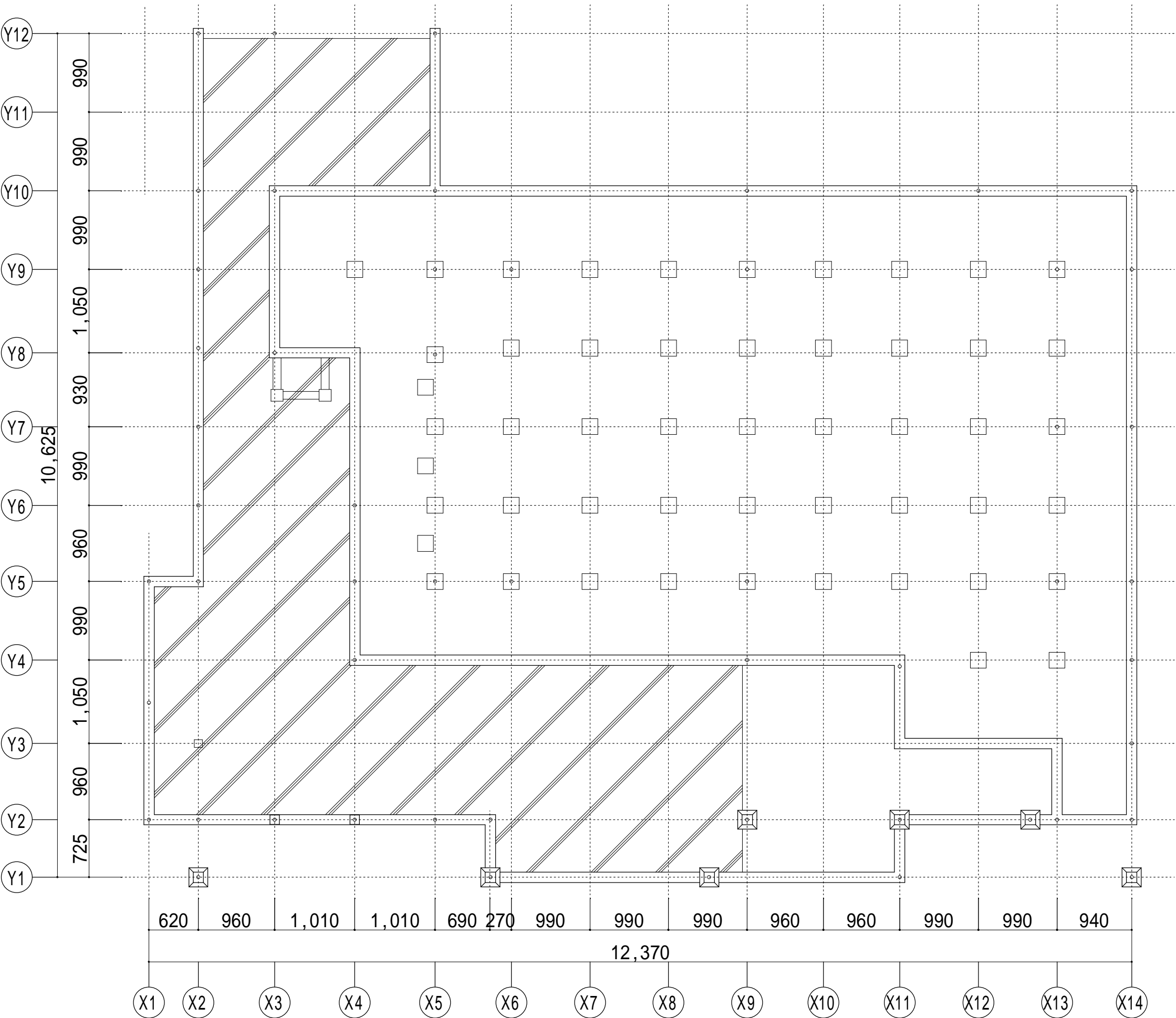
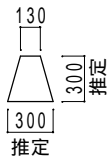
礎石基礎 (W 1 3 0 H 1 6 0)

束石

束石 (台形型)

上部柱

土間コンクリート



既存図

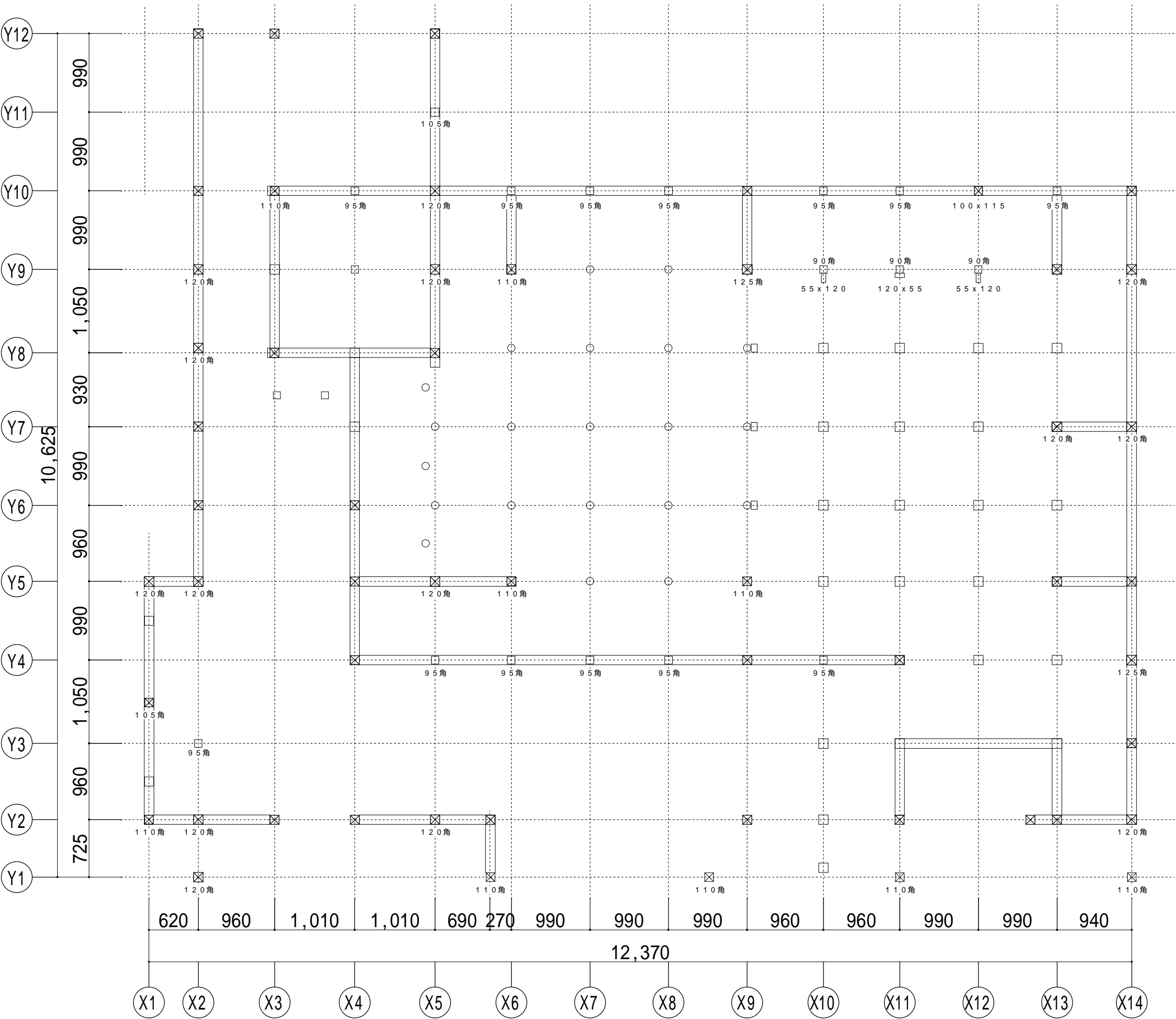
[凡例]

—— 土台 (W 1 2 0 H 8 0)

⊠ 柱 特記なき限り 1 1 5 角

□ 束 特記なき限り 1 2 0 角程度

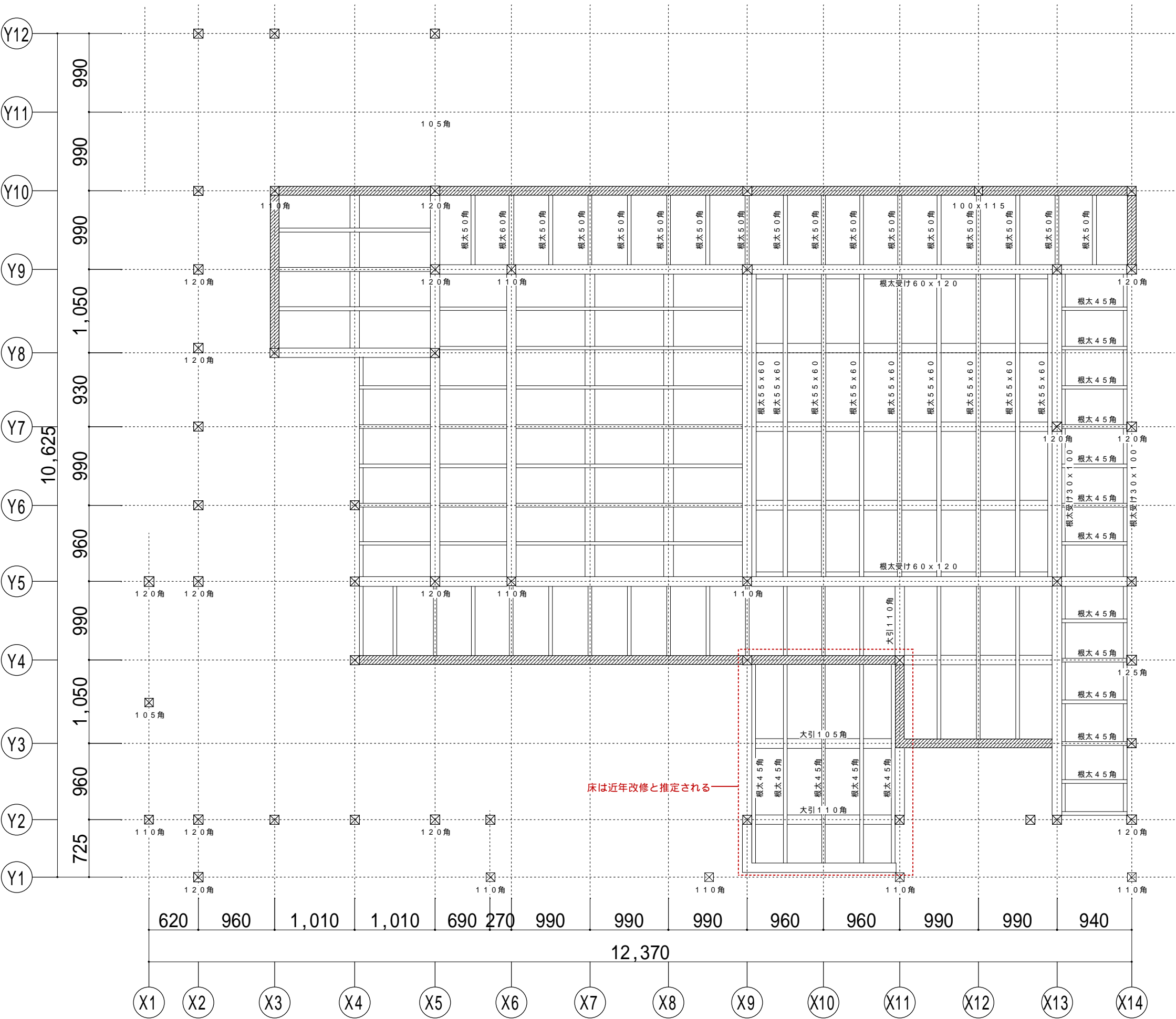
○ 束 特記なき限り 1 0 0 程度



既存図

[凡例]

- 床梁 (W110 H170)
- 大引 (特記なき限り120角)
- 根太 (特記なき限り45×50)
- 柱 特記なき限り115角



既存図

[凡例]

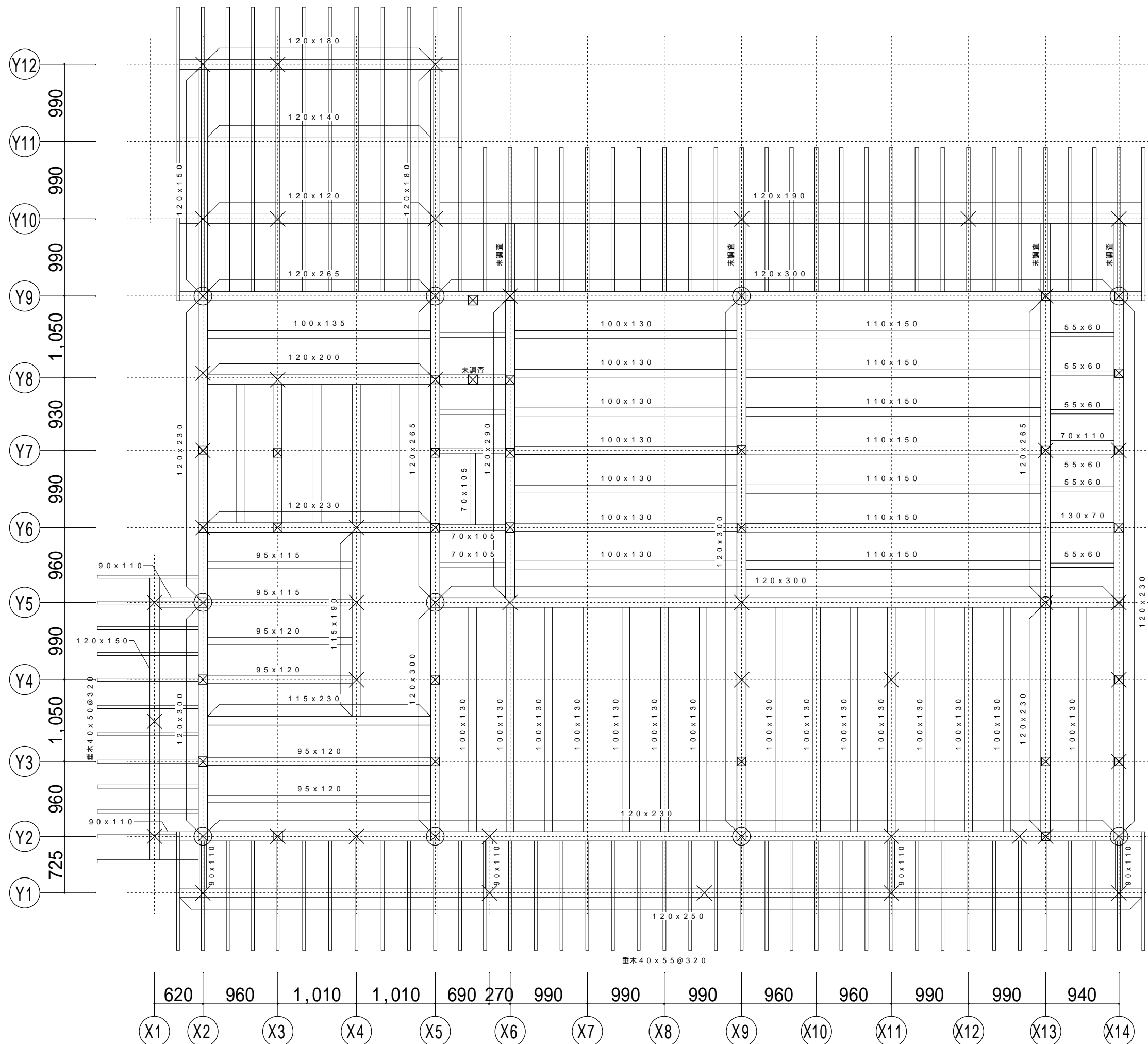
☒ 柱 特記なき限り 1 1 5 角

⊠ 通し柱

× 下部柱

—— 桁・梁（図示）

==== 垂木 (特記なき限り 45 x 55 @ 320)



既存図

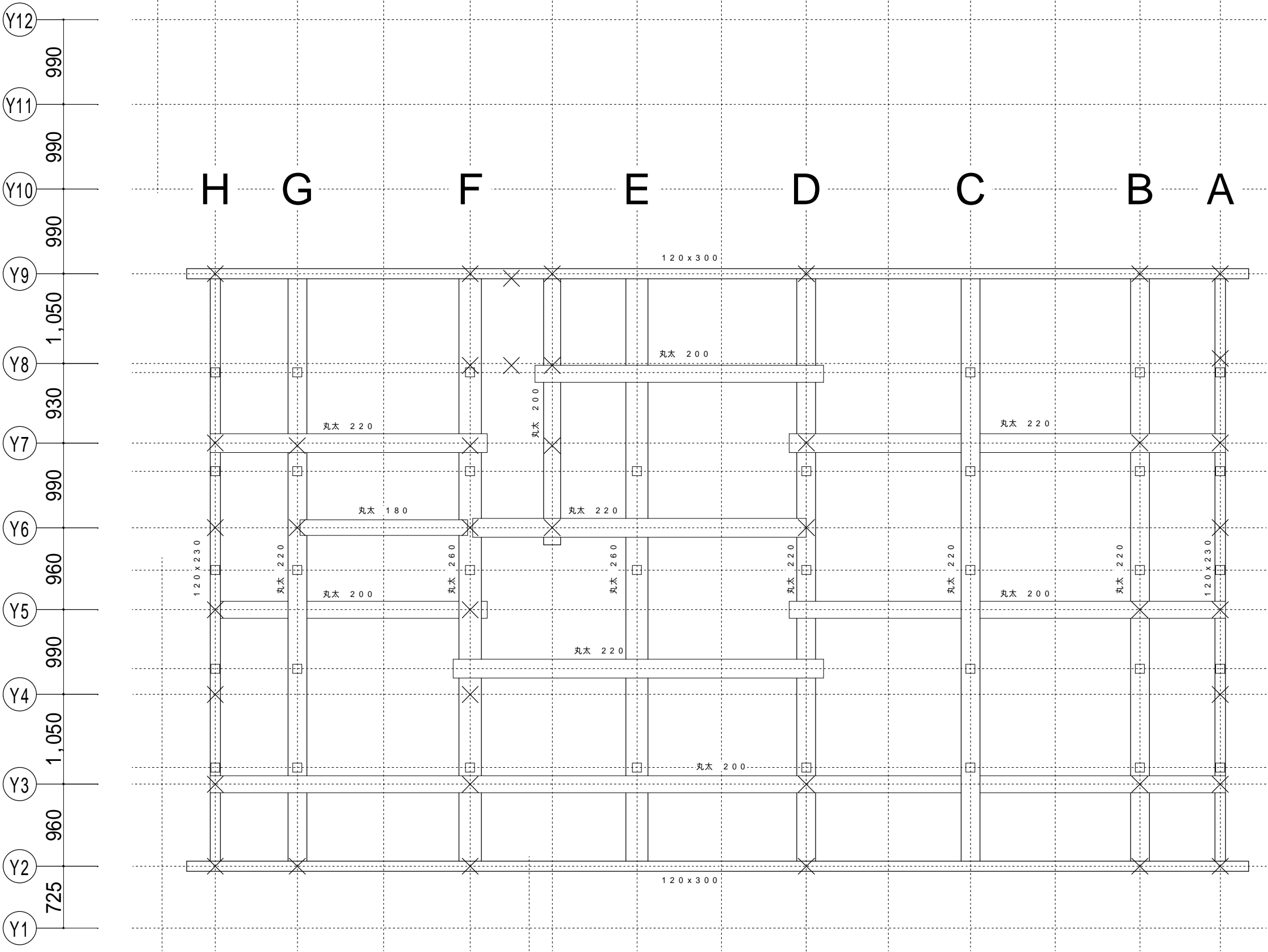
[凡例]

× 下部柱

桁・梁 (図示)

□ 束 (特記なき限り 1 0 5 角)

／ 下部束



2 F L + 3 0 3 0

既存図

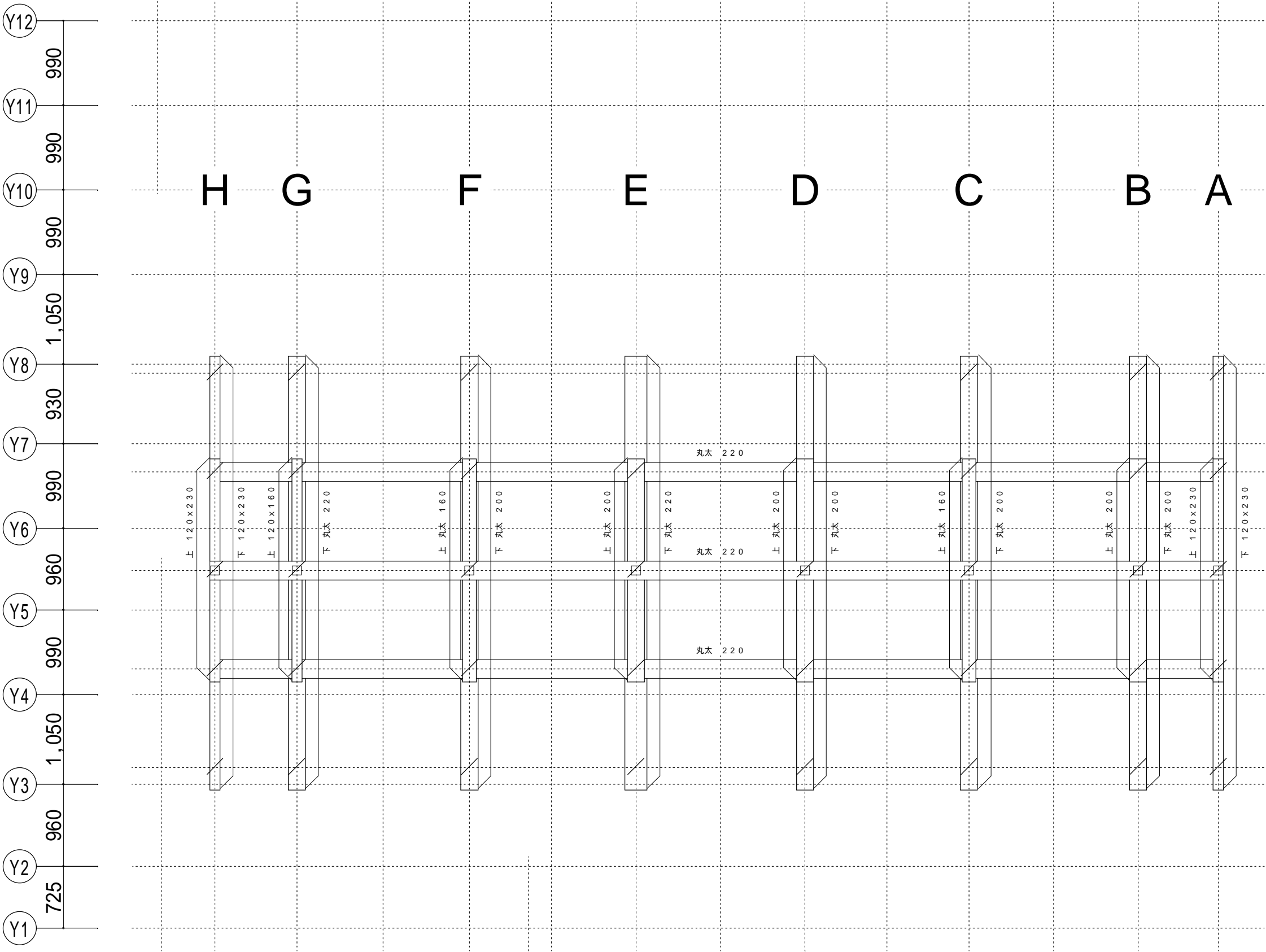
【 凡例 】

× 下部柱

桁・梁（図示）

束（特記なき限り 1 0 5 角）

下部束



1,155
1,155
1,155
1,155
1,155
1,155
1,155
1,155
1,155
1,155
1,155
1,155

2 F L + 3 5 1 0

既存図

[凡例]

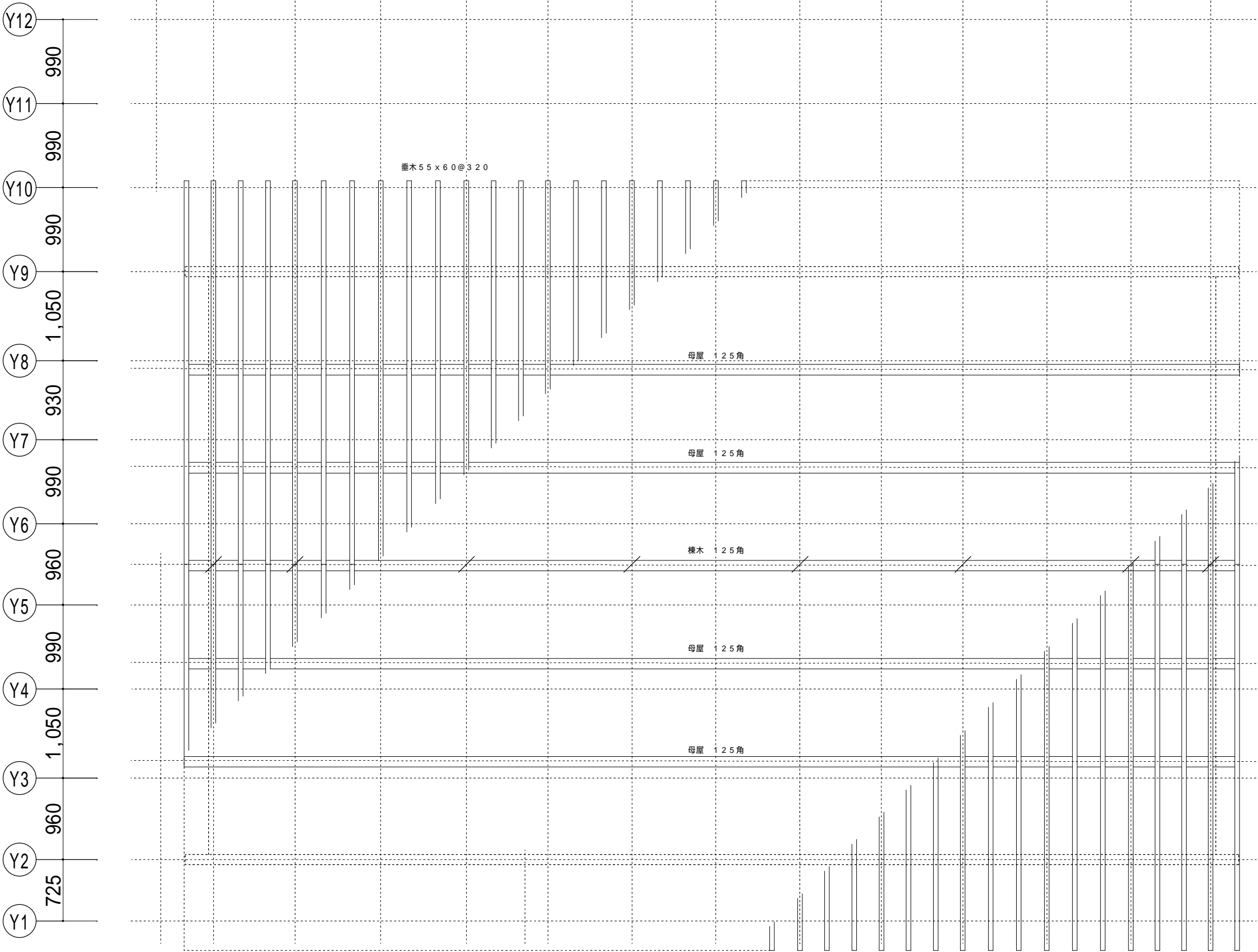
母屋 1 2 5 角

棟木 1 2 5 角

下部見え掛かり桁・梁

下部束

垂木 5 5 × 6 0 @ 3 2 0



屋根面

